令和3年度文化芸術による子供育成総合事業-巡回公演事業-公演団体一覧【Dブロック】

【A区分・B区分団体】

ブロック	分野	種目	公演団体名	対象学年				企画名	演目/企画	複数年度実施
				小(低)	小(中)	小(高)	中			
D	音楽	合唱	公益財団法人　東京二期会 (二期会合唱団)	○	○	○	○	二期会合唱団　公演	第1部 「花は咲く」「行け、我が想いよ、黄金の翼に乗って」 「フレンチ・カンカン」 「パプリカ」「希望の歌」 ※曲は一部変更になる可能性があります。 第2部 モーツァルト作曲　オペラ『魔笛』ハイライト	
D	音楽	オーケストラ等	新日本フィルハーモニー 交響楽団	○	○	○	○	新日本フィルハーモニー交響楽団 ―オーケストラ魅力発見コンサート―	J.ウィリアムズ：スター・ウォーズより「メイン・タイトル」 久石譲：オーケストラ・ストーリーズ「となりのトトロ」より、「さんぽ」ほか抜粋 ＜指揮者コーナー＞ドヴォルザーク：スラブ舞曲集第１集op.46より第1番ハ長調、 アンダーソン：トランペット吹きの休日 学校校歌 ＜アンコール＞　ロッシーニ：ウィリアム・テル序曲(スイス軍の行進)　等	
D	音楽	オーケストラ等	東京ニューシティ 管弦楽団	○	○	○	○	体を震わす響き！ オーケストラとオペラの音楽の華麗な世界	<第一部> 指揮者体験コーナー　使用曲　ビゼー：歌劇「カルメン」より前奏曲　　等 <第二部> ビゼー：歌劇　「カルメン」より-日本語またはフランス語歌唱-　メゾ・ソプラノ独唱　によるカルメンの世界 合唱で共演　　杉本竜一/「ビリーヴ」、平井夏美/「瑠璃色の地球」　等 吹奏楽で共演　　J.シュトラウスI世/ラデツキー行進曲（変ホ長調）　等	
D	音楽	オーケストラ等	ザ・カレッジ・オペラハウス 管弦楽団	○	○	○	○	♪心に響くハーモニー♪ オペラハウス専属オーケストラで聴くオペラの名曲！	●オープニング　　ワーグナー/歌劇「ローエングリン」より　第3幕への前奏曲 ●指揮者体験コーナー　　ビゼー/歌劇「カルメン」より　前奏曲 ●共演コーナー（吹奏楽または合唱）　スーザ/星条旗よ永遠なれ、久石　譲/君をのせて　等 ●オーケストラ演奏　　エルガー/行進曲「威風堂々」第1番 ◆アンコール　　ヴェルディ/歌劇「椿姫」より　乾杯の歌	
D	演劇	児童劇	有限会社　劇団あとむ	○	○	○	○	あとむの素劇ミュージカル	『あとむの時間はアンデルセン～遊びバージョン～』 原作／H．C．アンデルセン　　脚本／英昭・関矢幸雄 構成・演出／関矢幸雄　　音楽／クニ河内 美術／有賀二郎	
D	演劇	児童劇	人形劇団ひとみ座	○	○	○	－	大江戸人形喜劇 「弥次さん喜多さんトンちんカン珍道中」	大江戸人形喜劇 「弥次さん喜多さんトンちんカン珍道中」 原案／十返舎一九「東海道中膝栗毛」 脚本／佃典彦(劇団B級遊撃隊) 演出／山本コーゾー 人形美術／伊東亮 舞台美術／田坂晴男・本川東洋子 音楽／やなせけいこ 音響／田辺正晴 照明／石川哲次	R2 （継続）
D	演劇	演劇	劇団東京芸術座	○	○	○	○	みんなでチャレンジ　創造体験！	「Challeng・ed(チャレンジド)　－遠い水の記憶－」 原作 / 神品正子　　脚本・演出 / 印南貞人 作曲 / 川本哲　　照明 / 矢口雅敏 音響 / 中嶋直勝　　衣裳 / 山田靖子	
D	演劇	ミュージカル	オペラシアターこんにゃく座	○	○	○	－	オペラ『森は生きている』	オペラ『森は生きている』 原作：サムイル・マルシャーク(訳：湯浅芳子) 作曲：林光 台本：林光 演出：眞鍋卓嗣 振付：白神ももこ	
D	舞踊	バレエ	一般社団法人 法村友井バレエ団	○	○	○	○	バレエを学んで体験「くるみ割り人形～クララの夢～」スペシャル公演	「くるみ割り人形～クララの夢～」スペシャル公演 作曲：チャイコフスキー 原振付：プティパ 改訂振付：法村友井バレエ団	
D	伝統芸能	歌舞伎・能楽	公益財団法人鎌倉能舞台	○	○	○	○	【字幕解説付き】 わかりやすい能・狂言鑑賞体験教室 ～日本の伝統文化を知ろう～	■狂言「柿山伏」 ■能「小鍛冶」	
D	伝統芸能	歌舞伎・能楽	一般社団法人善竹狂言事務所	○	○	○	○	能 & 狂言 を忘るべからず	■大藏流 狂言『柿山伏』 ・種類：鬼・山伏狂言、分類：山伏狂言 ・監修：善竹十郎 ■大藏流 狂言『菌』(代表生徒・児童との共演) ・種類：鬼・山伏狂言、分類：山伏狂言 ・監修：善竹十郎 ■能仕舞『羽衣』 クセ・キリ	
D	伝統芸能	邦楽	太鼓芸能集団　鼓童	○	○	○	○	鼓童の交流学校公演	❶太鼓演奏（大太鼓[鼓童編曲]、屋台囃子[鼓童編曲]ほか全体で5～6曲） ❷太鼓体験 ❸トーク（メンバー自己紹介、楽器の紹介など）	
D	伝統芸能	演芸	めばえ寄席「○○亭」	○	○	○	○	めばえ寄席 「○○亭」 ＊○○は生徒さんの公募により決定。	❶落語 ❷色物 ❸上方落語(刻うどん、動物園　等) ❹大喜利 ❺色物(曲ゴマ　等) ❻落語(転失気、牛ほめ　等)	

【C区分団体】

B・C・D・F	音楽	オーケストラ等	ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団	○	○	○	○	♪心に響くハーモニー♪ オペラハウス専属オーケストラで聴くオペラの名曲！	●ビゼー/歌劇「カルメン」より　前奏曲 ●楽器紹介 ●マスカーニ/歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」より間奏曲 ●オペラ・アリア ●校歌合唱 ●指揮者体験コーナー　ビゼー/歌劇「カルメン」より　前奏曲 ●共演コーナー　杉本　竜一/ビリーヴ ●チャイコフスキー　/バレエ組曲「くるみ割り人形」より　” 花のワルツ ” ●シュトラウスⅠ世　/ラデツキー行進曲　等	
D・E・F	演劇	児童劇	劇団うりんこ	○	○	○	○	ともだちや　－あいつもともだち－	「ともだちや　－あいつもともだち－」 原作：内田麟太郎　（「ともだちや」「あいつもともだち」「ともだちごっこ」偕成社） 脚本・演出：佃　典彦(B級遊撃隊) 美術：青木拓也　　衣装：木場絵里香　　音楽：内田アダチ　音響：椎名KANS　　振付：下出祐子	
D・E	演劇	児童劇	劇団風の子	○	○	○	－	みて、さわって、あそべる、ソノヒカギリ美術館OPEN!!	「ソノヒカギリ美術館」 原案/村井昌世 作/ソノヒカギリ美術館製作委員会 構成・演出/大淵弘幸　　美術/ナカムラジン 身体表現/若林こうじ　　音楽/青柳拓次 制作/浅野井優子	
A・D	伝統芸能	演芸	パントマイム＆クラウン 「劇団汎マイム工房」	○	○	○	○	あらい汎の「マイム・ひとり旅」	あらい汎の「マイム・ひとり旅」 構成・演出　あらい汎	

※新型コロナウイルス感染症拡大予防対策については，実施決定後に令和3年4月以降の状況及び令和3年度予算等を勘案し，文化庁(事務局)，実施団体，実施校間において，必要事項を検討・調整の上で実施予定です。このため，各企画の出演希望調書では通常規模の公演を想定した企画内容を記載しています。

※複数年度実施欄に「R1」の記載がある団体は令和元年度から，「R2」の記載がある団体は令和2年度から，「R3」の記載がある団体は令和3年度から3年間同じブロックで公演を行う団体です。

※http://www.kodomogeijutsu.go.jp/junkai/kouen.htmlから、団体のホームページや現在実施されている令和2年度の情報を閲覧することができます。

		A・B区分団体												C区分団体			
		D102	D226	D229	D233	D405	D1604	D517	D604	D707	D904	D921	D1104	D1306	K256	K430	K438	K1326
		公益財団法人 東京二期会 （二期会合唱団）	新日本フィル ハーモニー交響楽団	東京ニューシティ 管弦楽団	ザ・カレッジ・ オペラハウス 管弦楽団	有限会社 劇団あとむ	人形劇団ひとみ座	劇団東京芸術座	オペラシアター こんにゃく座	一般社団法人 法村友井バレエ団	公益財団法人 鎌倉能舞台	一般社団法人 善竹狂言事務所	太鼓芸能集団　鼓童	めばえ寄席 「○○亭」	ザ・カレッジ・ オペラハウス 管弦楽団	劇団うりんこ	劇団風の子	パントマイム＆ クラウン 「劇団汎マイム工房」
巡回ブロック		D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	B/C/D/F	D/E/F	D/E	A/D
種目		合唱	オーケストラ等	オーケストラ等	オーケストラ等	児童劇	児童劇	演劇	ミュージカル	バレエ	歌舞伎・能楽	歌舞伎・能楽	邦楽	演芸	オーケストラ等	児童劇	児童劇	演芸
前日仕込みの有無		なし	なし	なし	なし	なし	なし	あり	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし
6月1日	火						○				○	○		○				●
6月2日	水						○				○	○		○				○
6月3日	木						○				○	○		○				○
6月4日	金						○				○	○		○				○
6月5日	土											●						
6月6日	日										●	●						
6月7日	月						○				○	○		○				○
6月8日	火						○				○	○		○				○
6月9日	水						○				○	○		○				○
6月10日	木						○				○	○		○				○
6月11日	金						○				○	○		○				○
6月12日	土											●						
6月13日	日											●						
6月14日	月						○					○		○				○
6月15日	火						○					○		○				○
6月16日	水						○					○		○				○
6月17日	木						○					○		○				○
6月18日	金						○					○		○				○
6月19日	土											●				●		
6月20日	日										●	●				●		
6月21日	月						○				○	○		○		●	●	○
6月22日	火						○				○	○		○		○	○	○
6月23日	水						○				○	○		○		○	○	○
6月24日	木						○				○	○		○		○	○	○
6月25日	金						○					○		○		○	○	○
6月26日	土															○	○	
6月27日	日										●	●				○		
6月28日	月										○	○		○		○	○	○
6月29日	火										○	○		○		○	○	○
6月30日	水										○	○		○		○	○	○
7月1日	木										○	○		○		○	○	○
7月2日	金										○	○		○		○	○	○
7月3日	土											●				○	○	
7月4日	日										●	●				○		
7月5日	月										○	○		○		○	○	○
7月6日	火										○	○		○		○	○	○
7月7日	水										○	○		○		○	○	○
7月8日	木										○	○		○		○	○	○
7月9日	金											○		○		○	○	○
7月10日	土											●				○	○	
7月11日	日										●	●				○		
7月12日	月										○	○		○		○	○	○
7月13日	火										○	○		○		○	○	○
7月14日	水										○	○		○		○	○	○
7月15日	木										○	○		○		○	○	○
7月16日	金										○	○		○		○	●	○
7月17日	土											●						
7月18日	日																	
7月19日	月																	
7月20日	火																	
7月21日	水																	
7月22日	木																	
7月23日	金																	
7月24日	土																	
7月25日	日																	
7月26日	月																	
7月27日	火																	
7月28日	水																	
7月29日	木																	
7月30日	金																	
7月31日	土																	
8月1日	日																	
8月2日	月																	
8月3日	火																	
8月4日	水																	
8月5日	木																	
8月6日	金																	
8月7日	土																	
8月8日	日																	
8月9日	月																	
8月10日	火																	
8月11日	水																	
8月12日	木																	
8月13日	金																	
8月14日	土																	
8月15日	日																	
8月16日	月																	
8月17日	火																	
8月18日	水																	
8月19日	木																	
8月20日	金																	
8月21日	土																	
8月22日	日																	
8月23日	月										●	●						
8月24日	火										○	○		○			●	
8月25日	水										○	○		○			○	
8月26日	木										○	○		○			○	
8月27日	金										○	○		○			○	
8月28日	土											●					○	
8月29日	日										●	●						
8月30日	月						○				○	○		○			○	
8月31日	火				●		○				○	○		○	●		○	
9月1日	水				○		○				○	○		○	○		○	
9月2日	木				○		○				○	○		○	○		○	
9月3日	金				○		○				○	○		○	○		○	
9月4日	土				○							●			○	●	○	
9月5日	日				○						●	●			○	●		
9月6日	月				○		○	○			○	○	○	○	○	●	○	
9月7日	火				○		○	○			○	○	○	○	○	○	○	
9月8日	水				○		○	●			○	○	○	○	○	○	○	
9月9日	木				○		○	○			○	○	○	○	○	○	○	
9月10日	金				○		○	○				○	○	○	○	○	○	
9月11日	土				○			●				●			○	○	○	
9月12日	日				○			●			●	●			○	○		
9月13日	月			●	○		○	○			○	○	○	○	○	○	○	
9月14日	火	●		○	○		○	○			○	○	○	○	○	○	○	
9月15日	水	○		○	○		○	●			○	○	○	○	○	○	○	●
9月16日	木	○		○	○		○	○			○	○	○	○	○	○	○	○
9月17日	金	○		○			○	○			○	○	○	○		○	●	○
9月18日	土							●				●				○		
9月19日	日							●				●				○		
9月20日	月							●			●	●				○		
9月21日	火	●		○				○			○	○		○				○
9月22日	水	○		○				○			○	○		○				○
9月23日	木							●			●	●						
9月24日	金	●		●				○			○	○		○				○
9月25日	土							●				●						
9月26日	日							●			●	●						
9月27日	月	●	○	○			○	○			○	○		○				○
9月28日	火	○	○	○			○	○			○	○		○				○
9月29日	水	○	○	○	○		○	●			○	○		○	○			○
9月30日	木	○	○	○	○		○	○			○	○		○	○			○
10月1日	金	○		●	○		○	○			○	○			○			○
10月2日	土				○			●				●			○			
10月3日	日				○			●			●	●			○			
10月4日	月	●			○	○	○	●			○	○			○			○
10月5日	火	○			○	○	○	●			○	○			○			○

		A・B区分団体												C区分団体			
		D102	D226	D229	D233	D405	D1604	D517	D604	D707	D904	D921	D1104	D1306	K256	K430	K438	K1326
		公益財団法人 東京二期会 （二期会合唱団）	新日本フィル ハーモニー交響楽団	東京ニューシティ 管弦楽団	ザ・カレッジ・ オペラハウス 管弦楽団	有限会社 劇団あとむ	人形劇団ひとみ座	劇団東京芸術座	オペラシアター こんにゃく座	一般社団法人 法村友井バレエ団	公益財団法人 鎌倉能舞台	一般社団法人 番竹狂言事務所	太鼓芸能集団　鼓童	めばえ寄席 「○○亭」	ザ・カレッジ・ オペラハウス 管弦楽団	劇団うりんこ	劇団風の子	パントマイム＆ クラウン 「劇団汎マイム工房」
巡回ブロック		D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	B/C/D/F	D/E/F	D/E	A/D
種目		合唱	オーケストラ等	オーケストラ等	オーケストラ等	児童劇	児童劇	演劇	ミュージカル	バレエ	歌舞伎・能楽	歌舞伎・能楽	邦楽	演芸	オーケストラ等	児童劇	児童劇	演芸
前日仕込みの有無		なし	なし	なし	なし	なし	なし	あり	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし
10月6日	水	○			○	○	○	●				○			○			○
10月7日	木	○		●	○	○	○	●			○	○			○			○
10月8日	金	○		○	○	○	○	●				○			○			○
10月9日	土				○			●				●			○			
10月10日	日				○			●							○			
10月11日	月				○			●			●				○			
10月12日	火	●			○	○		○			○				○			○
10月13日	水	○			○	○		○			○				○			○
10月14日	木	○			○	○		●			○				○			○
10月15日	金	○			○	○		○			○				○			○
10月16日	土				○			●							○			
10月17日	日				○			●			●				○			
10月18日	月	●		○	○	○		○			○				○			○
10月19日	火	○		○	○	○		○			○				○			○
10月20日	水	○	○	○	○	○		●			○				○			○
10月21日	木	○	○	○	○	○		○			○				○			○
10月22日	金	○	○	○	○	○		○			○				○			○
10月23日	土				○			●							○			
10月24日	日				○			●			●				○			
10月25日	月	●	○	○	○	○		●			○				○			○
10月26日	火	○	○	○	○	○		●			○				○			○
10月27日	水	○	○	○	○	○		●			○				○			○
10月28日	木	○		○	○	○		●			○				○			○
10月29日	金	●		○	○	○		●			○				○			
10月30日	土				○			●							○			
10月31日	日				○			●			●				○			
11月1日	月				○	○		●		●	○		○		○			
11月2日	火				○	○		●		○	○		○		○			
11月3日	水				○			●			●		○		○			
11月4日	木			●	○	○		●		○	○		○		○			
11月5日	金			●	○	○		●		○	○		○		○			
11月6日	土				○			●							○			
11月7日	日				○			●			●				○			
11月8日	月			○	○	○		○	○	●	○		○		○			●
11月9日	火			○	○	○		○	○	○	○		○		○			○
11月10日	水			○	○	○		●	○	○	○		○		○			○
11月11日	木			○	○	○		○	○	○			○		○			○
11月12日	金			○	○	○		○	○	○	○		○		○			○
11月13日	土				○			●							○			
11月14日	日				○			●			●				○			
11月15日	月			○	○	○		○	○	●	○		○		○			○
11月16日	火			●	○	○		○	○	○	○		○		○			○
11月17日	水				○	○		●	○	○	○		○		○			○
11月18日	木				○	○		○	○	○	○		○		○			○
11月19日	金			●	○	○		○	○	○			○		○			○
11月20日	土				○			●				●			○			
11月21日	日				○			●				●			○			
11月22日	月			○	○	○	○	○	○			○		○	○			○
11月23日	火				○			●			●	●			○			
11月24日	水			○	○	○	○	○	○	●	○	○		○	○			○
11月25日	木			○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○			○
11月26日	金			○		○	○	●	○	○	○	○		○				○
11月27日	土							●				●						
11月28日	日							●			●	●						
11月29日	月			○		○	○	●	○	●	○	○		○				○
11月30日	火			○		○	○	●	○	○	○	○		○				○
12月1日	水			○		○	○	●	○	○	○	○		○				○
12月2日	木			○		○	○	○	○	○	○	○		○				○
12月3日	金			○		○	○	○	○	○	○	○		○				○
12月4日	土							●				●						
12月5日	日							●			●	●						
12月6日	月			○		○	○	○	○	●	○	○		○				○
12月7日	火			○		○	○	○	○	○	○	○		○				○
12月8日	水			●		○	○	●	○	○	○	○		○				○
12月9日	木					○	○	○	○	○	○	○		○				○
12月10日	金					○	○	○	○	○		○		○				○
12月11日	土							●				●						
12月12日	日							●			●	●						
12月13日	月			●		○	○	○	○	●	○	○		○				○
12月14日	火			○		○	○	○	○	○	○	○		○				○
12月15日	水			●	○	○	○	●	○	○	○	○		○	○			○
12月16日	木				○	○	○	○	○	○	○	○		○	○			
12月17日	金				○	○	○	○	○	○	○	○		○	○			
12月18日	土				○			●				●			○			
12月19日	日				○			●			●	●			○			
12月20日	月				○	○		○	○		○	○		○	○			
12月21日	火				○	○		○	○		○	○		○	○			
12月22日	水				○	○		●	○		○	○		○	○			
12月23日	木				○	○		○	○		○	○		○	○			
12月24日	金				○	○		○	○		○	○		○	○			
12月25日	土				○			●				●			○			
12月26日	日				○			●			●	●			○			
12月27日	月							○			○	○						
12月28日	火							○			○	○						
12月29日	水							●			○	○						
12月30日	木							○			○	○						
12月31日	金							○			○	○						
1月1日	土											●						
1月2日	日																	
1月3日	月										●	●						
1月4日	火										○	○						
1月5日	水										○	○						
1月6日	木				○						○	○			○			
1月7日	金				○							○			○			
1月8日	土				○							●			○	●		
1月9日	日				○										○	●		
1月10日	月				○						●	●			○	●		
1月11日	火				○	○					○	○		○	○	○		
1月12日	水				○	○					○	○		○	○	○		
1月13日	木				○	○					○	○		○	○	○		
1月14日	金				○	○						○		○	○	○		
1月15日	土				○							●			○	○		
1月16日	日				○						●				○	○		
1月17日	月				○	○					○			○	○	○		●
1月18日	火				○	○					○			○	○	○		○
1月19日	水				○	○					○			○	○	○		○
1月20日	木				○	○					○			○	○	○		○
1月21日	金				○	○					○			○	○	○		○
1月22日	土				○										○	○		
1月23日	日				○						●				○	○		
1月24日	月				○	○					○			○	○			○
1月25日	火				○	○					○			○	○			○
1月26日	水				○	○					○			○	○			○
1月27日	木				○	○								○	○			○
1月28日	金				○	○								○	○			○
1月29日	土				○										○			
1月30日	日				○						●				○			
1月31日	月				○						○			○	○			

Ⅵ 令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野，種目（該当する**種目**に○を付してください。）

分野	種目
【音楽】	(合唱，)オーケストラ等，音楽劇
【演劇】	児童劇，演劇，ミュージカル
【舞踊】	バレエ，現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽，人形浄瑠璃，邦楽，邦舞，演芸

申請する区分に，○を付してください。　(A区分のみ)　・　A区分とB区分の両方　・　C 区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)　(あ り)　・　な し

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)
(1) 公演の実施時期が重複しても，複数の企画を実施可能
(2) 公演の実施時期が重複しなければ，複数の企画を実施可能
(3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
(4) その他(　　)

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	こうえきざいだんほうじんとうきょうにきかい 公益財団法人東京二期会		
代表者職・氏名	理事長・清水雅彦		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 1-25-12(最寄り駅・JR 千駄ヶ谷駅)		
電話番号	03-3796-1818	ＦＡＸ番号	03-3796-4710
ふりがな 公演団体名	こうえきざいだんほうじんとうきょうにきかい(にきかいがっしょうだん) 公益財団法人東京二期会(二期会合唱団)		
代表者職・氏名	理事長・清水雅彦		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 1-25-12(最寄り駅・JR 千駄ヶ谷駅)		
制作団体設立年月	1952 年　2 月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	理事長 清水雅彦 **常務理事 黒田博** **常務理事 山口毅** **理事 13 名 評議員 16 名**	**団体構成員数 2749 名** **左記以外の主な団体構成員:声楽家** **加入条件:二期会オペラ研修所修了生会員推薦、幹事会推薦、入会オーディション**	
事務体制の担当	専任　・　(他の業務と兼任)	本事業担当者名	**山口毅**
経理処理等の監査担当の有無	(有)　・　無	経理責任者名	**竹下ゆかり**

制作団体沿革	1952 年、声楽全般にわたる研究と発表を目的に「二期会」が発足。1977 年、「財団法人二期会オペラ振興会」を設立し、大作や現代オペラの日本初演など、我が国におけるオペラ界の中核としてその成果に高い評価を得てきた。2005 年、声楽団体「二期会」と事業及び組織を再編・統合し、団体名を「財団法人東京二期会」と改称し、2010 年公益財団法人に移行した。

学校等における公演実績	2015 年 5 月 8 日	小金井市内中学校音楽鑑賞教室　武蔵野市民文化会館
	2015 年 5 月 27 日	南山高等・中学校男子部・東京二期会公演　愛知県芸術劇場コンサートホール
	2015 年 6 月 12 日	潤徳女子高等学校合唱祭　西新井文化ホール
	2016 年 5 月 13 日	小金井市内中学校音楽鑑賞教室　たましん RISURU ホール大ホール
	2016 年 5 月 10 日	小金井市内中学校音楽鑑賞教室　武蔵野市民文化会館
	2017 年 5 月 13 日	小金井市内中学校音楽鑑賞教室　武蔵野市民文化会館
	2018 年 5 月 11 日	小金井市内中学校音楽鑑賞教室　武蔵野市民文化会館
	2019 年 5 月 11 日	小金井市内中学校音楽鑑賞教室　武蔵野市民文化会館
	2019 年 6 月 22 日	潤徳女子高等学校合唱祭　西新井文化ホール

特別支援学校における公演実績	2002 年 10 月 24 日　本物の舞台芸術体験事業　東京都立北養護学校　1 公演 2002 年 10 月 25 日　本物の舞台芸術体験事業　東京都立葛飾養護学校　1 公演 2006 年 10 月 5 日　本物の舞台芸術体験事業　佐賀県立大和養護学校　1 公演 2013 年 10 月 15 日　次代を担う子どもの文化芸術体験事業　三重県立特別支援学校北勢きらら学園　1公演

参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	(有) ・ 無
		申請する演目の DVD または WEB 公開資料	(有) ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:
	A の提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:

公 演 ・ ワークショップの内 容　　**【公演団体名　公益財団法人東京二期会　】**

対　　象	小学生(低学年 ・ 中学年 ・ 高学年) ・ 中 学 生					
企画名	二期会合唱団 公演					
本公演演目 原 作 ／作 曲 脚　　本 演 出 ／振 付	第１部 「花は咲く」「行け、我が想いよ、黄金の翼に乗って」「フレンチ・カンカン」「パプリカ」「希望の歌」 ※曲は一部変更になる可能性があります。 第２部 モーツァルト作曲 オペラ『魔笛』ハイライト 公演時間(100 分)					
著作権		制作団体が所有	○	制作団体以外が所有する事項が含まれる	有	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無
演 目 概 要	第１部ではオペラ合唱の名曲、皆さんが知っている曲を二期会合唱団が披露します。オペラというとどんなイメージがあるでしょうか？オペラはアリアや重唱だけでなく、合唱も重要な役割を担っていて、聴きどころ満載です。「行け、我が想いよ、黄金の翼に乗って」はイタリアオペラの傑作『ナブッコ』からの 1 曲ですが、単独で取り上げられることも多く、合唱曲の金字塔でもあります。イタリア語で披露しますので、オペラの雰囲気をより味わっていただけます。「フレンチ・カンカン」は皆さんに「運動会の曲」としておなじみですが、実は『天国と地獄』というオペレッタの 1 曲です。プロの合唱団による振り付きの歌唱で、曲本来のおもしろさを実感してもらえます。「パプリカ」「希望の歌」は皆さんも加わっていただき、全体で大合唱をいたしましょう。 第 2 部では世界で最も上演されているオペラの一つ、モーツァルトの『魔笛』をハイライトでお送りします。弊財団が長年この事業で披露してきた演目ですが、この度アップデートを加え、アリア、重唱そして合唱でバランスよく構成いたします。弊財団公演で活躍するソリストの起用、合唱団含め出演者全員が衣裳を着用し、質の高いオペラ鑑賞機会を提供可能です。					
演目選択理由	オペラ団体として、オペラの名曲を披露し、その魅力を伝えることは重要な役割と考えます。そこに、よく知られていて、皆で歌える曲もプログラムに入れることで、音楽の楽しみを共有するとともに、歌う楽しみ、聴く楽しみ両方を味わっていただけるプログラムです。第 2 部ではオペラを披露しますが、物語を音楽に乗せた舞台がどんなに魅力的か感じてもらうのと同時に、本格的な衣裳を着けての歌唱は見た目にも楽しく、総合芸術としてのオペラの魅力の一端を、このような点でもアピールできるものです。					
児童・生徒の共演，参加又は体験の形態	ワークショップで取り組む合唱曲の成果発表も本公演の位置づけのひとつとなります。ワークショップの課題曲については、「パプリカ」「希望の歌」いずれか選択していただくことが可能ですが、前者は手拍子足拍子などもあり、主に低学年に適していると考えます。後者はベートーヴェンの「第九」によるもので、曲の習熟度によっては、シラーの詩の部分を原語(ドイツ語)で歌えるよう指導もいたしますので、音楽の世界を広げてもらうことができます。					
出　演　者	指揮:根本卓也　ピアノ:矢田信子 ソリスト:清野友香莉、盛田麻央、相山潤平、髙田智士 ※日程により、ソリストはダブルキャストになる場合があります。 合唱:二期会合唱団 ※上記出演者は、都合により変更になる場合があります。					
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出 演 者: 29名 ス タ ッ フ: 5名 合　　計: 34名			機 材 等 運搬方法	積載量 4t 車 長 7.6m 台 数 1 台	

【公演団体名　公益財団法人東京二期会　】

<table>
<tr><td>公演に当たっての会場条件</td><td>実施条件等確認書①をご確認ください。</td></tr>
<tr><td>会場設営の所要時間（タイムスケジュール）の目安</td><td>前日仕込み(有 ・ 無) 会場設営の所要時間(3 時間程度)
<table>
<tr><th>到着</th><th>仕込み／リハーサル</th><th>本公演</th><th>内休憩</th><th>撤去</th><th>退出</th></tr>
<tr><td>8:00</td><td>8:00～11:00/11:00～12:30</td><td>13:30～15:10</td><td>15 分</td><td>15:30～16:45</td><td>17:00</td></tr>
</table>
※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時 30 分からの概ね2時限分程度です。
※初回公演地では、前日仕込みとして、3 時間の確保を希望いたします。</td></tr>
<tr><td>児童・生徒の参加可能人数</td><td>
<table>
<tr><td>ワークショップ</td><td>各回 60 名(1 限分×3 まで可能)</td></tr>
<tr><td>本公演</td><td>500 名</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>ワークショップ実施形態及び内容</td><td>各回 60 名までを対象に 1 日 3 回まで実施可能です。主指導者 1 名と補助者 2 名(歌手、ピアニスト)で指導いたします。はじめに、オペラアリアまたは二重唱 1 曲を指導者が披露し、その後事前に提示した課題曲に一緒に取り組みます。主指導者が司会も務め、合唱の楽しみや曲の解説、発声の仕方などをアドバイスします。ここで取り組んだ合唱曲は本公演時に二期会合唱団と共に歌うことで、成果発表の機会ともなります。</td></tr>
<tr><td>ワークショップ実施形態の意図</td><td>指導者による目が行き届く規模を設定しています。各回の内容は基本的に同じですが、学年や習熟度に応じて回を分けていただくことも可能です。はじめにオペラからの 1 曲を聴いていただきますが、その際にも司会が聴く姿勢や聴きどころを解説しますので、このワークショップには鑑賞指導の側面もございます。その後の課題曲歌唱では、指導者からの具体的なアドバイスを含む実技指導となります。ここで歌の知識、技術が向上することで、音楽への更なる興味喚起が可能となると考えております。</td></tr>
<tr><td>特別支援学校での実施における工夫点</td><td>各校のご依頼に合わせ、曲の変更などは柔軟に対応することが可能です。想定している課題曲には、手拍子、足拍子をもともと含む曲もあり、一緒に歌うことが難しい場合でも、楽しみながら取り組んでいただけるものと考えています。</td></tr>
<tr><td>実施可能時期</td><td>実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</td></tr>
</table>

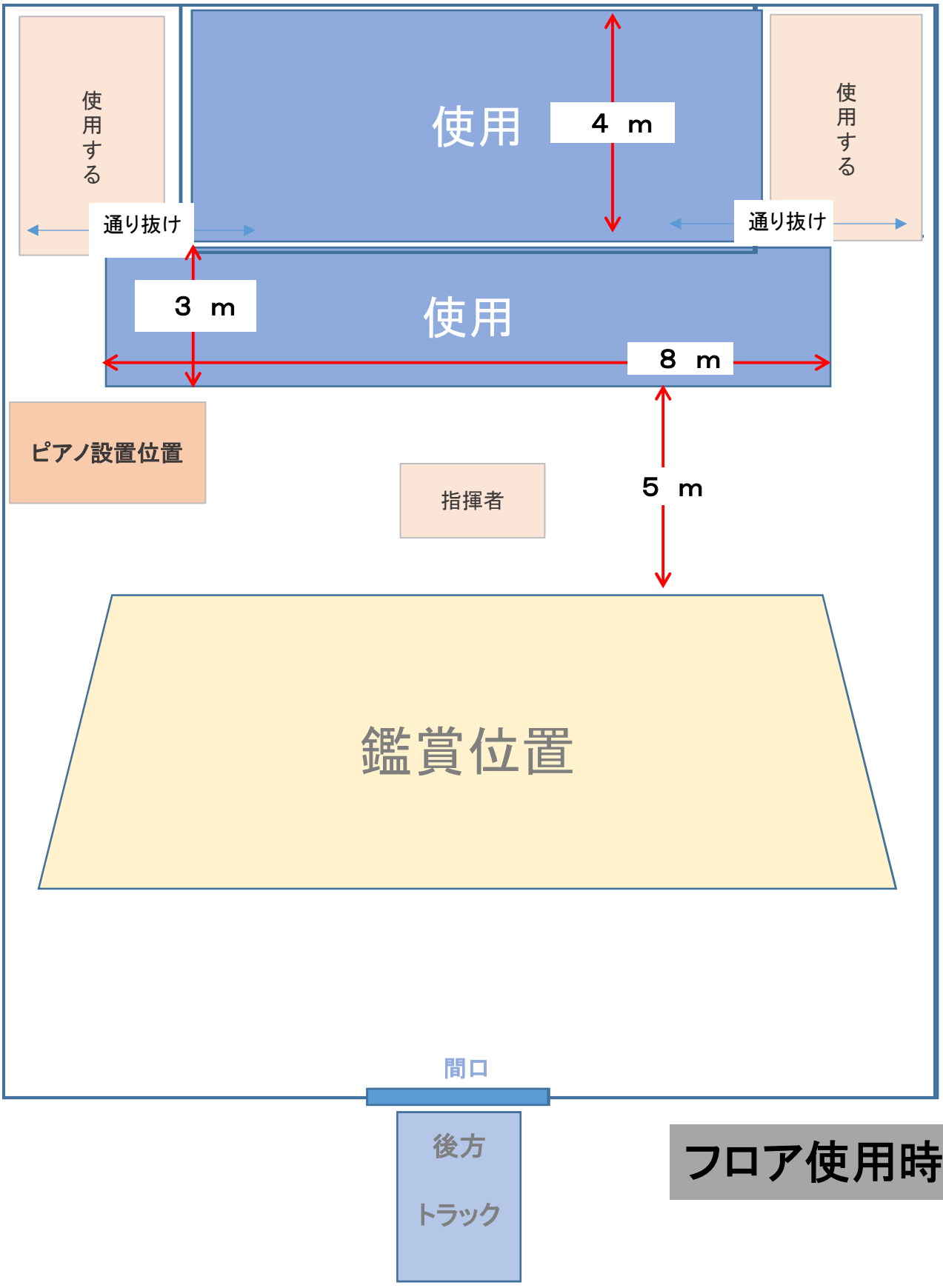
【令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	102	分野	音楽	種目	合唱	ブロック		区分	A区分
公演団体名	公益財団法人　東京二期会（二期会合唱団）			制作団体名	公益財団法人　東京二期会				

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数＊	3室	条件	指揮者1室、男性、女性の着替え用の各1部屋が希望です。				
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数＊			2～4tトラック1台				
	不可	来校する車両の内，横づけが必要な車両の大きさ			2～4tトラック				
	可	搬入車両の横づけの要否＊			要				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離＊			10m以内（近ければ近いほど良く、横づけが望ましい）				
	可	搬入経路の最低条件			・階段のない経路が望ましい ・屋根や泥はねのある経路が望ましい				
		理由			ひな壇・小道具・衣裳等の搬入をするため				
	可	設置階の制限＊			体育館が2階以上の場合、搬出・搬入に教職員の手伝いをお願いします。				
	不可	搬入間口について 単位：メートル	幅	2m	高さ	2m			
WSについて	可	参加可能人数		通常60名程度まで					
	可	学年の指定の有無＊		なし	指定学年＊	なし			
	可	所要時間の目安 単位：分		45～50分（各校1限分×3まで可能）					
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間（タイムスケジュール）の目安を御参照ください。					
	可	鑑賞可能人数		500名まで					
	可	舞台設置場所＊		ステージ上・フロアの両方					
	可	舞台設置に必要な広さ 単位：メートル	幅	8	奥行	7	高さ	指定なし	
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保＊	要					
	可		舞台袖スペースの条件＊	袖に荷物がない状態					
	可		緞帳＊	無くても可	バトン＊	無くても可			
	可	遮光（暗幕等）の要否＊		要	理由	演出・照明効果をあげる為			
	不可	ピアノの調律・移動の要否	指定位置へのピアノの移動＊	要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。				
	不可		ピアノの事前調律＊	要					
	可	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況＊	舞台前のものは引き上げ可能であること					
	可	公演に必要な電源容量		20A2系統	※主幹電源の必要容量				
	その他特記事項								
	不可	半年以内にピアノの調律を行っていない場合は、必ず本公演前に調律をお願いいたします。							
	可	ワークショップ開催の為の資料の作成及びワークショップ訪問時に本公演の打ち合わせ。							

会場図面(表記単位:メートル)



フロア使用時

搬入間口について	幅	2m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		10m以内(近ければ近いほど良く、横づけが望ましい)		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

Ⅵ 令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野，種目（該当する**種目**に○を付してください。）

分野	種目
【音楽】	合唱，(オーケストラ等)，音楽劇
【演劇】	児童劇，演劇，ミュージカル
【舞踊】	バレエ，現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽，人形浄瑠璃，邦楽，邦舞，演芸

申請する区分に，○を付してください。　(A区分のみ)・A区分とB区分の両方 ・ C 区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)　あ り ・(な し)

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)
(1) 公演の実施時期が重複しても，複数の企画を実施可能
(2) 公演の実施時期が重複しなければ，複数の企画を実施可能
(3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
(4) その他(　　)

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	こうえきざいだんほうじん　しんにほんふぃるはーもにーこうきょうがくだん 公益財団法人　新日本フィルハーモニー交響楽団		
代表者職・氏名	理事長・宮内　義彦		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒130-0013　東京都墨田区錦糸 1-2-3　すみだトリフォニーホール 7 階 (最寄駅:JR・東京メトロ半蔵門線「錦糸町駅」)		
電話番号	03-5610-3820	ＦＡＸ番号	03-5610-3825
ふりがな 公演団体名	しんにほんふぃるはーもにーこうきょうがくだん 新日本フィルハーモニー交響楽団		
代表者職・氏名	専務理事・林　豊		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒130-0013　東京都墨田区錦糸 1-2-3　すみだトリフォニーホール 7 階 (最寄駅:JR・東京メトロ半蔵門線「錦糸町駅」)		
制作団体設立年月	1972 年　9 月		
制作団体組織	役　職　員	団体構成員及び加入条件等	
	理事長/宮内義彦 副理事長/日枝久 専務理事/林豊 理事/泉各直木、門脇賀智志、國部毅、澤上篤人、澁谷哲一、 清水喜彦、 庄子幹雄、鈴木茂晴,、竹原一衛	(1)団体構成員 音楽監督:上岡 敏之 楽員 80 名　事務局員 31 名　計 111 名 (2)加入条件:楽員の採用は当団規定の要綱に従ったオーディションによる。事務局員の採用は当団規定の面接による。年齢・国籍などの条件なし。	
事務体制の担当	専任　・　(他の業務と兼任)	本事業担当者名	事業部　大貫篤

<table>
<tr><td>経理処理等の
監査担当の有無</td><td>有 ・ 無</td><td>経理責任者名</td><td>総務部 部長
新藤 猛</td></tr>
<tr><td>制作団体沿革</td><td colspan="3">1972 年、指揮者・小澤征爾のもと楽員による自主運営のオーケストラとして創立。97 年より墨田区に移転。同年オープンのすみだトリフォニーホールを活動の本拠地とし、日常の練習と公演を行うという日本初の本格的フランチャイズを導入。定期演奏会、特別演奏会を行うほか、地元の学校体育館や小中学校の音楽授業、各種施設を訪れるなど、地域に根ざした演奏活動も精力的に行っているのが特徴的。99 年、小澤征爾が桂冠名誉指揮者に就任。このほか 04 年に久石譲と立ち上げた“新日本フィル・ワールド・ドリーム・オーケストラ”で幅広い人気を集めている。近年の斬新な企画と優れた演奏は高く評価されており、2020 年 9 月からは Composer in Residence and Music Partner に就任。2016 年 9 月には上岡敏之が音楽監督に就任、精緻できめの細かい音楽性で聴衆の心を掴んでいる。</td></tr>
<tr><td>学校等における
公演実績</td><td colspan="3">・墨田区内の小中学校の体育館へ出向くコミュニティコンサート 30 回
<table>
<tr><th>1-15 回</th><th>会場</th><th>16-29 回</th><th>会場</th></tr>
<tr><td>1989/7/5</td><td>立花小学校、錦糸中学校</td><td>2005/10/23</td><td>寺島中学校、竪川中学校</td></tr>
<tr><td>1990/9/2</td><td>第三吾嬬小学校、竪川中学校</td><td>2006/11/5</td><td>東吾嬬小学校、言問小学校</td></tr>
<tr><td>1991/9/15</td><td>向島中学校、両国小学校</td><td>2007/10/14</td><td>隅田小学校、押上小学校</td></tr>
<tr><td>1992/10/10</td><td>外手小学校、吾嬬第三中学校</td><td>2008/10/26</td><td>鐘淵中学校、立花中学校</td></tr>
<tr><td>1993/7/11</td><td>吾嬬第二中学校、緑小学校</td><td>2009/11/26</td><td>第一寺島小学校、立花吾嬬の森小学校</td></tr>
<tr><td>1994/11/13</td><td>隅田第二小学校</td><td>2010/10/11</td><td>第三吾嬬小学校、梅若小学校</td></tr>
<tr><td>1995/10/15</td><td>第二吾嬬小学校、錦糸小学校</td><td>2011/10/30</td><td>緑小学校、言問小学校</td></tr>
<tr><td>1996/11/3</td><td>柳島小学校、隅田第二小学校</td><td>2013/9/29</td><td>桜堤中学校、吾嬬第一中学校</td></tr>
<tr><td>1997/7/13</td><td>菊川小学校</td><td>2014/9/21</td><td>中和小学校、隅田小学校</td></tr>
<tr><td>1998/6/14</td><td>両国小学校、隅田中学校</td><td>2015/10/12</td><td>第三吾嬬小学校、両国小学校</td></tr>
<tr><td>1999/10/31</td><td>第三寺島小学校、中和小学校</td><td>2016/10/16</td><td>東吾嬬小学校、梅若小学校</td></tr>
<tr><td>2000/9/24</td><td>両国小学校、小梅小学校</td><td>2017/10/7</td><td>本所中学校、吾嬬第二中学校</td></tr>
<tr><td>2001/10/28</td><td>第二寺島小学校、柳島小学校</td><td>2018/10/21</td><td>桜堤中学校、第三寺島小学校</td></tr>
<tr><td>2003/10/26</td><td>二葉小学校、第三寺島小学校</td><td>2019/10/20</td><td>中和小学校</td></tr>
<tr><td>2004/11/6</td><td>横川小学校、八広小学校</td><td>2020/10/11</td><td>寺島中学校</td></tr>
</table>
・その他、毎年区立の全小中学校で行っている室内楽形態のアウトリーチ授業
・地域拠点契約を結んでいる可児市で行っている室内楽形態のアウトリーチ授業</td></tr>
<tr><td>特別支援学校における公演実績</td><td colspan="3">2016 年 3 月 東京都立墨田特別支援学校
2017 年 2 月 東京都立江東特別支援学校
2018 年 2 月 東京都立小平特別支援学校
2018 年 12 月 東京都立光明学園
2019 年 11 月 東京都立光明学園</td></tr>
<tr><td rowspan="6">参考資料の
有無</td><td rowspan="4">A</td><td>申請する演目のチラシパンフレット等</td><td>有 ・ 無</td></tr>
<tr><td>申請する演目の DVD または WEB 公開資料</td><td>有 ・ 無</td></tr>
<tr><td>※公開資料有の場合 URL</td><td></td></tr>
<tr><td>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</td><td>ID:
PW:</td></tr>
<tr><td rowspan="2">A の提出が困難な場合</td><td>今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料</td><td>有 ・ 無</td></tr>
<tr><td>※公開資料有の場合 URL</td><td>https://www.youtube.com/watch?v=RWvgxbG6W7w&feature=youtu.be</td></tr>
</table>

			https://www.youtube.com/watch?v=defVe6ZC9rg&feature=youtu.be
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:

公　演　・　ワークショップの内　容　　**【公演団体名　新日本フィルハーモニー交響楽団】**

対　　象	小学生（低学年 ・ 中学年 ・ 高学年） ・ 中 学 生
企画名	新日本フィルハーモニー交響楽団 ―オーケストラ魅力発見コンサート―
本公演演目 原作／作曲 脚　　本 演出／振付	J.ウィリアムズ：スター・ウォーズより「メイン・タイトル」 (6 分) 久石譲：オーケストラ・ストーリーズ「となりのトトロ」より、「さんぽ」ほか抜粋 *楽器紹介 (15 分) マスカーニ：カヴァレリア・ルスティカーナ間奏曲 (4 分) ベートーヴェン：交響曲第 7 番イ長調 op.92 より、第 1 楽章 (11 分) 休憩（10 分） ＜指揮者コーナー＞ ドヴォルザーク：スラブ舞曲集第 1 集 op.46 より、第 1 番ハ長調 (15 分) アンダーソン：トランペット吹きの休日 (3 分) 学校校歌 (4 分) 外山雄三：管弦楽のためのラプソディ (7 分) アンコール)　ロッシーニ：ウィリアム・テル序曲(スイス軍の行進) (3 分) 公演時間(約 95 分、お話含む)
著作権	制作団体が所有：　制作団体以外が所有する事項が含まれる：○　有　（制作団体以外が所有する事項が含まれる場合）許諾の有無
演　目　概　要	代表的な映画音楽 J.ウィリアムズのスターウォーズから始まり、ジブリの代表作「となりのトトロ」より「さんぽ」他。ここでは作曲者自身が編曲したストーリーを追いながら楽器紹介もするオーケストラ・ストーリーズより抜粋する。いわゆるクラシック曲として弦楽器の美しい調べが印象的なマスカーニ、のだめカンタービレでもおなじみとなったベートーヴェンの交響曲第 7 番から第 1 楽章を。 後半冒頭ではリズムが特徴的なスラブ舞曲で指揮を体験してもらい、運動会などでお馴染みのトランペット吹きの休日、そして校歌をオーケストラ伴奏で。日本に古くから伝わる八木節を元ににぎやかに展開していく管弦楽のためのラプソディを終曲に、アンコールでは誰もが耳にしたことのあるロッシーニの名作オペラから最も有名な行進曲をお聴きいただく。
演目選択理由	初めてクラシックに接する子どもたちにも抵抗のないよう、緩急織り交ぜ、クラシックの古典的な名曲から民族色豊かな作品、民謡をもとにした日本人作曲家の作品まで幅広く取り上げた。比較的長時間の鑑賞で飽きがこないよう、映画音楽、CM 等で取り上げられたことのある耳なじみの作品をバランスよく配置し、楽器についても弦楽器中心のもの、管楽器、打楽器が活躍する作品とそれぞれの生徒の嗜好に合わせ興味を持ってもらえるよう工夫した。
児童・生徒の共演，参加又は体験の形態	・指揮者コーナー １曲の中で４名程度の生徒で指揮のリレーをして(２回で８名程度)、クラス対抗などゲーム性を取り入れる。どうしたらオーケストラを思うようにコントロール出来るかなどクラスのみんなで話し合い、協力する中で音楽の理解を深めてもらう狙いがあります。 ・学校校歌 普段おそらくはピアノ伴奏でしか歌うことのない校歌を、予めオーケストラ伴奏に編曲し、様々な楽器の音色と迫力を感じながらハーモニーの素晴らしさを感じてもらいます。

出　　演　　者	指揮者/1 名　未定 司会/1 名　未定 オーケストラ(61 名　2 管 10 型)　＊No.2 別紙メンバー表参照		
公演出演予定者数 （1公演あたり）	出 演 者:　63　名 ス タ ッ フ:　9　名 合　　計:　72　名	機 材 等 運搬方法	積載量　４ｔ 車 長　９ｍ 台 数　1台

Ａ区分・Ｂ区分・Ｃ区分共通

№3(実演芸術)

【公演団体名新日本フィルハーモニー交響楽団】

<table>
<tr><td>公演に当たっての
会　場　条　件</td><td colspan="2">実施条件等確認書①をご確認ください。</td></tr>
<tr><td>会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安</td><td colspan="2">前日仕込み(　有　・　無　)　会場設営の所要時間(　　1 時間 30 分程度　)
<table><tr><td>到着</td><td>仕込み</td><td>リハーサル</td><td>本公演</td><td>内休憩</td><td>撤去</td><td>退出</td></tr><tr><td>09:00</td><td>09:00～
10:30</td><td>11:30～
12:30</td><td>14:00～
15:30</td><td>10 分</td><td>15:30～
16:30</td><td>16:30</td></tr></table>※本公演時間の目安は、午後1時乃至2時からの概ね2時限分程度です。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">児　童　・生　徒の
参加可能人数</td><td>ワークショップ</td><td>約 50～400 人</td></tr>
<tr><td>本公演</td><td>約 50～400 人</td></tr>
<tr><td>ワークショップ
実　施　形　態
及　び　内　容</td><td colspan="2">本公演で行う、指揮者コーナーでの 4 名程度の指揮のリレー(2 回で 8 名程度)のための事前の練習をピアノ伴奏、もしくは学校で用意できる打楽器等を取り入れて行う。
事前に実際の指揮の動画を送付、授業等で研究しておいてもらう。ワークショップでは実際に指揮者の指導を受け、指揮をする生徒だけでなくどうしたうまくオーケストラを鳴らすことが出来るか考え、実践する。</td></tr>
<tr><td>ワークショップ
実施形態の意図</td><td colspan="2">クラス対抗などゲーム感覚を取り入れ、競いながらみんなで協力する中で音楽の理解を深めてもらうことを意図している。事前に送付した資料から各生徒が指揮には何が必要かを考え、ワークショップの場ではその疑問を実際に指揮者にぶつけ、そのやり取りや実際に指揮する中で音楽がどういうものかを実際に感じ取ってもらう。よりよい音楽にするためにはどうしたら良いか、自発的にまたそれぞれが協力しながら答えを見つけていく過程で、自然と音楽への興味が深まるように期待したい。</td></tr>
<tr><td>特別支援学校での実施における工夫点</td><td colspan="2">リラックスして楽しんで頂くことを優先し、演奏の楽しさを五感で感じられる場を提供する。特別支援学校での演奏経験を踏まえ、TV 等普段聴き馴染みのある楽曲を多く取り上げ、緩急織り交ぜたプログラムで飽きがこないような工夫をした。</td></tr>
<tr><td>実施可能時期</td><td colspan="2">実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</td></tr>
</table>

NEW JAPAN PHILHARMONIC
SUMIDA, TOKYO

★首席　☆副首席　○フォアシュピーラー　□契約団員　◆客員首席

創立1972年
公益財団法人
新日本フィルハーモニー交響楽団

■ 桂冠名誉指揮者
小澤 征爾

■ 音楽監督
上岡 敏之

■ Composer in Residence and Music Partner
久石 譲

■ ミュージック・アドヴァイザー
ゲルハルト・ボッセ

■ 永久指揮者
齋藤 秀雄

●フレンド・オブ・セイジ
ムスティスラフ・ロストロポーヴィチ

新日本フィル・
ワールド・ドリーム・オーケストラ

■ 音楽監督
久石 譲

■ 文芸部
吉井 澄雄（舞台照明家）
新井 鷗子（音楽作家）

●ソロ・コンサートマスター
崔 文洙

●ソロ・コンサートマスター
豊嶋 泰嗣

●コンサートマスター
西江 辰郎

●第1ヴァイオリン
白井 麻友 ○
堀内 麻貴 ○
山田 容子 ○
稲垣 桃子
岸田 晶子
古日山 倫世
澤田 和慶
塩澤 菜美
宗田 勇司
竹中 勇人
田村 直貴
松宮 麻希子
山口 幸子

●第2ヴァイオリン
ビルマン 聡平 ★
佐々木 絵理子 ○
今高 友香
小池 めぐみ
砂畑 佳江
田村 安紗美
中川 富美子
中矢 英視
深谷 まり
松崎 千鶴
山崎 恵子

●ヴィオラ
篠崎 友美 ★
脇屋 冴子 ○
岩井 香保里
醍醐 のり子
高橋 正人
濱本 実加
原 孝明
間瀬 容子
矢浪 礼子
吉鶴 洋一

●チェロ
長谷川 彰子 ★
桑田 歩 ★□
川上 徹 ○
飯島 哲蔵
サミュエル・エリクソン
多田 麗王
弘田 徹
森澤 泰
矢野 晶子

●コントラバス
菅沼 希望 ★
竹田 勉 ★
城 満太郎 ○
藤井 将矢
村松 裕子
原田 遼太郎 □

●フルート
野津 雄太 ★□
野口 みお

●フルート&ピッコロ
渡辺 泰

●オーボエ
古部 賢一 ◆
浅間 信慶

●オーボエ & イングリッシュホルン
森 明子

●クラリネット
重松 希巳江 ★
檀木 章 □
鈴木 良昭（楽友）

●クラリネット & Esクラリネット
中舘 壮志 ☆

●クラリネット & バスクラリネット
マルコス・ペレス・ミランダ ☆

●ファゴット
河村 幹子 ★
坪井 隆明 ★
石川 晃
佐久間 大作

●ホルン
笠松 長久 ★□
日高 剛 ★□
吉永 雅人 ☆
金子 典樹
田島 小春
田中 雅樹
藤田 麻理絵

●トランペット
市川 和彦 ☆
杉木 淳一朗

●トロンボーン
ザッカリー・ガイルス ★□
山口 尚人 ☆
奥村 晃

●バストロンボーン
鈴木 崇弘

●テューバ
佐藤 和彦 ★

●ティンパニ
川瀬 達也 ★
山内 創一朗 ★□

●パーカッション
腰野 真那
柴原 誠
山田 徹

●インスペクター
金子 典樹
多田 麗王
吉鶴 洋一

●ステージ・マネージャー
飯野 秀明
澤又 啓助

●ライブラリアン
林 知也

（2020年10月現在）

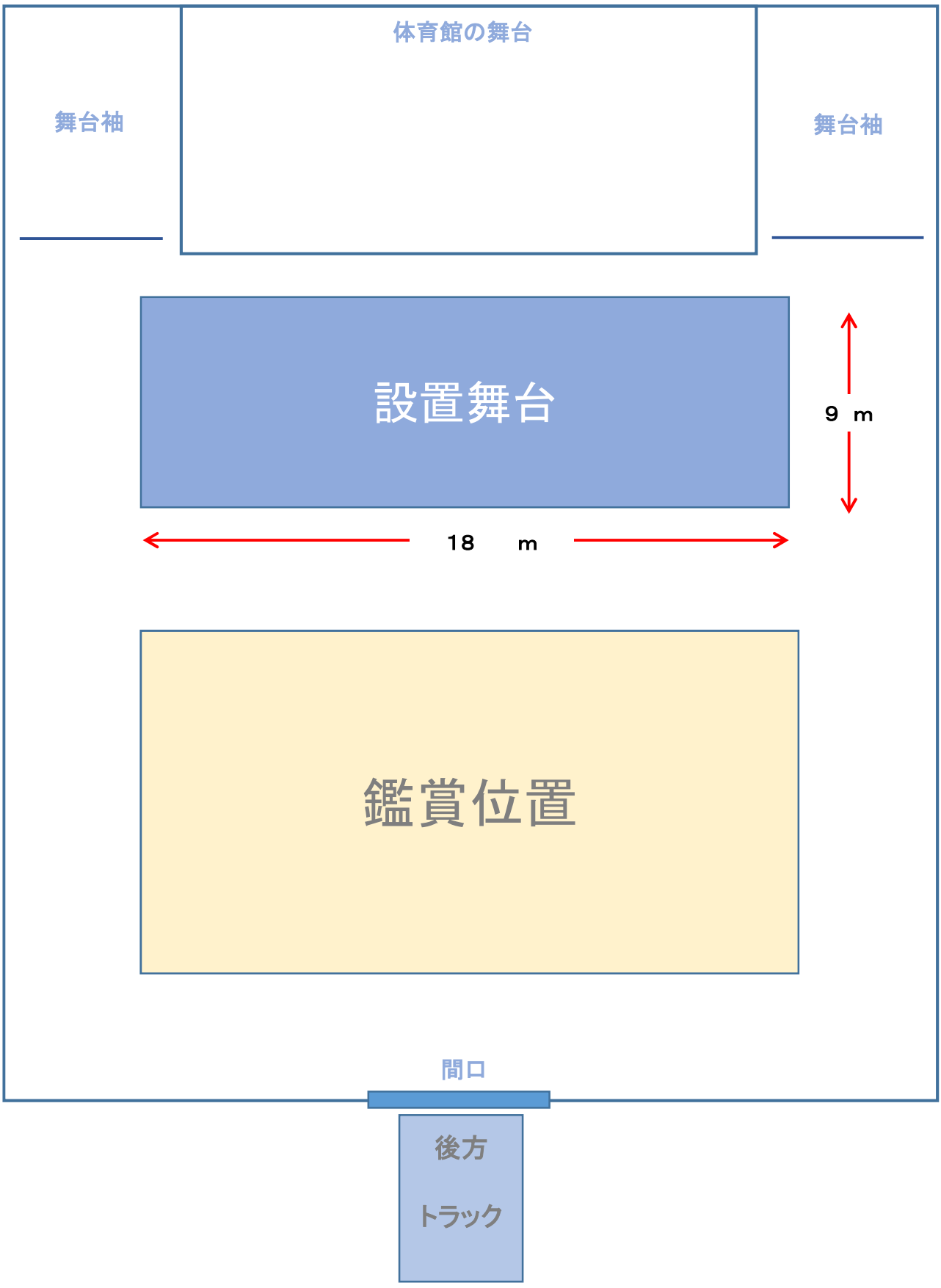
【令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	226	分野	音楽	種目	オーケストラ等	ブロック		区分	A区分
公演団体名	新日本フィルハーモニー交響楽団				制作団体名	公益財団法人　新日本フィルハーモニー交響楽団			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数＊	4室	条件	指揮者1室，コンサートマスター1室、男性，女性の着替え用であるためカーテンがある部屋が希望です。				
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数＊			4tトラック　1台	大型バス　2台			
	不可	来校する車両の内，横づけが必要な車両の大きさ			4tトラック				
	可	搬入車両の横づけの要否＊			要				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離＊			10m以内				
	可	搬入経路の最低条件			・学校周辺道路が大型車両の通行が可能であること。特に学校敷地内にトラックが入る際の曲がり口など十分な広さがあること。				
		理由			備品を運ぶ4tトラックでの搬入が必須のため				
	可	設置階の制限＊			会場が1階にあることが望ましい				
	不可	搬入間口について 単位：メートル	幅	2m	高さ	2m			
WSについて	可	参加可能人数		50～400人					
	可	学年の指定の有無＊		あり	指定学年＊	高学年			
	可	所要時間の目安 単位：分		90分程度					
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安を御参照ください。					
	可	鑑賞可能人数		50～400人					
	可	舞台設置場所＊		フロア					
	可	舞台設置に必要な広さ 単位：メートル	幅	18m	奥行	9m	高さ	指定なし	
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保＊	要					
	可		舞台袖スペースの条件＊	要					
	可		緞帳＊	不要	バトン＊	不要			
	―	遮光(暗幕等)の要否＊		不要	理由				
	不可	ピアノの調律・移動の要否	指定位置へのピアノの移動＊	要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。				
	不可		ピアノの事前調律＊	要					
	可	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況＊	格納されていれば可					
	―	公演に必要な電源容量		無し	※主幹電源の必要容量				
	その他特記事項								
	―	※ワークショップでピアノを使用する可能性があります。							
	―	※本公演では、ピアノは使用しませんが、公演中は、端に寄せておいてください。							

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	2m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		10m		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

Ⅵ 令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業」出演希望調書(実演芸術)

種　目(いずれかに○をつけて下さい。)

【 音　　楽 】	合唱,(オーケストラ)等, 音楽劇
【 演　　劇 】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【 舞　　踊 】	バレエ, 現代舞踊
【 伝統芸能 】	歌舞伎･能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。　(A区分のみ)・ A区分とB区分の両方 ・ C 区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)　(あ り)・ な し

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)
(1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
(2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
(3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
(4) その他(　　)

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	いっぱんしゃだんほうじん　とうきょう　にゅーしてぃ　かんげんがくだん 一般社団法人 東京ニューシティ管弦楽団		
代表者職･氏名	代表理事　日野洋一		
制作団体所在地 (最寄り駅･バス停)	〒178-0063　東京都練馬区東大泉 3-22-15 シンフォニープラザ2F (西武池袋線大泉学園駅北口徒歩 5 分)		
電話番号	03－5933－3222	ＦＡＸ番号	03－5935－6799
ふりがな 公演団体名	とうきょう　にゅーしてぃ　かんげんがくだん 東京ニューシティ管弦楽団		
代表者職･氏名	楽団長 齋藤正志		
公演団体所在地 (最寄り駅･バス停)	〒178-0063　東京都練馬区東大泉 3-22-15 シンフォニープラザ2F (西武池袋線大泉学園駅北口徒歩 5 分)		
制作団体設立年月	1990 年 4 月		
制作団体組織	役　職　員 会　長　三善 清達 理事長　日野 洋一 楽団長　齋藤 正志 理　事　松原 髙司 、他 12 名 監　事　荒木 達男	団体構成員及び加入条件等 エグゼクティヴコンダクター　内藤彰 正指揮者　曽我大介 楽団員50名 入団条件:オーディションその他、コンサートマスター他トップ奏者制度あり。	
事務体制の担当	専任 ・ (他の業務と兼任)	本事業担当者名	事業部長　山賀洋介
経理処理等の監査担当の有無	(有) ・ 無	経理責任者名	浅見透

<table>
<tr><td>制作団体沿革</td><td colspan="3">
1990 年 4 月創立。令和 3 年度で創立 31 年を迎える。
2019 年 7 月(株)FPC との提携により、経営基盤が盤石となる。
　定期演奏会、オペラ、バレエ、名曲コンサート、青少年向けコンサートのほか、ポップスから映画、アニメ等幅広い分野で活躍している。また TV 番組では、“NHK 大河ドラマ”他“題名のない音楽会”等様々な番組に出演してきた。2007 年には中国上海公演、2009 年にはベトナム公演を文化庁の二国間交流周年事業により成功させている。
　また、今まで世界中の常識として演奏されてきた有名曲の楽譜の誤記や演奏慣習の誤解を修正し、世界に発信していく画期的シリーズでは、近年各種専門雑誌や新聞紙上を賑わし、世界の学術誌でも取り上げられるようになってきた。このように学術的な面で世界のオーケストラ界に大きく新風を送り込んでいる点では、日本を代表するオーケストラの一つと言える。
公益社団法人日本オーケストラ連盟正会員</td></tr>
<tr><td>学校等における公演実績</td><td colspan="3">町田市、朝霞市、渋谷区、北区、荒川区、大田区、世田谷区、練馬区、八王子市、福生市、青梅市、小金井市、瑞穂町、他各地区の市区教育委員会主催鑑賞教室。単独の高校(中学含む)の公演；渋谷教育学園渋谷中学高校他毎年約10校
 </td></tr>
<tr><td>特別支援学校における公演実績</td><td colspan="3">平成21年度；松本聾学校、松本養護学校、寿台養護学校　平成22年度；広島特別支援学校
平成25年度；鹿児島県立出水養護学校</td></tr>
<tr><td rowspan="6">参考資料の有無</td><td rowspan="4">A</td><td>申請する演目のチラシパンフレット等</td><td>(有)　・　無</td></tr>
<tr><td>申請する演目の DVD または WEB 公開資料</td><td>(有)　・　無</td></tr>
<tr><td>※公開資料有の場合 URL</td><td>http://www.tnco.or.jp/bunka/</td></tr>
<tr><td>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</td><td>ID:
PW:</td></tr>
<tr><td rowspan="2">A の提出が困難な場合</td><td>今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料</td><td>有　・　無</td></tr>
<tr><td>※公開資料有の場合 URL</td><td></td></tr>
<tr><td></td><td>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</td><td>ID:
PW:</td></tr>
</table>

公 演 ・ ワークショップの内 容　　【公演団体名　東京ニューシティ管弦楽団】

対象	小学生(低学年 ・ 中学年 ・ 高学年) ・ 中 学 生
企画名	体を震わす響き！ オーケストラとオペラの音楽の華麗な世界

本公演演目　原作／作曲脚本演出／振付

〈第一部〉

ビゼーの歌劇カルメンを題材にして、オーケストラの魅力をさまざまな角度から掘り起こし、オーケストラとオペラの世界の魅力を存分に味わってもらいます。

ビゼー:歌劇「カルメン」より前奏曲 (3 分半)

「カルメン」を使ってオーケストラ大解剖

(ビゼー作曲:カルメン第一・第二組曲) (30 分)

前奏曲(5 分) (説明含め)

木管楽器・金管楽器・打楽器・弦楽器の各セクションがそれぞれ最初の 16 小節を演奏

1 第一組曲:アラゴネーズ(オーボエ) (4 分-楽器紹介を含め)
2 第一組曲:間奏曲 (フルート、クラリネット、ハープ) (6 分-楽器紹介を含め)
3 第一組曲:アルカラの竜騎兵(ファゴット) (4 分-楽器紹介を含め)
4 第二組曲:トレアドール(トランペット) (5 分-楽器紹介を含め)
5 第二組曲:夜想曲(ヴァイオリン・ホルン)-後半のみ(6 分-楽器紹介を含め)

指揮者体験コーナー「あなたもマエストロ」

使用曲 ビゼー:歌劇「カルメン」より前奏曲 (10 分) 3 人の体験

―――――――――― 休憩(15 分)-体験時間あり ――――――――――

休憩時間にはヴァイオリン、クラリネット、トランペットなど複数の楽器が用意され児童・生徒さん達が体験することができます。また遠くにあったハープ、チューバなども舞台前方で模範演奏が行われます。

〈第二部〉

オペラの世界を味わってみよう

ビゼー:歌劇 「カルメン」より

-日本語またはフランス語歌唱-

メゾ・ソプラノ独唱 によるカルメンの世界(8 分)

ハバネラ(2 分半) ロマの唄(5 分)

*歌唱言語は各校選択

みんなでオーケストラを体験しよう

(8 分−用意の時間も含め)

合唱または吹奏楽でオーケストラと共演。下記候補曲よりお選び下さい。

合唱で共演の場合(出演のメゾ・ソプラノ歌手と一緒に)

(1)ビゼー/**「カルメン」より　街のこども達と衛兵の交代**(日本語またはフランス語歌唱)
(2)平吉毅州/**「気球に乗ってどこまでも」**
(3)杉本竜一/**「ビリーヴ」**
(4)平井夏美/**「瑠璃色の地球」**
(5)菅野よう子/**「花は咲く」**
(6)村井邦彦/**「翼をください」**

吹奏楽で共演の場合

(1)スーザ/**行進曲「星条旗よ永遠なれ」**(吹奏楽の調)
(2)エルガー/**「威風堂々　第一番」**
(3)スーザ/**行進曲「雷神」**(吹奏楽の調)
(4)J.シュトラウスⅠ世/**ラデツキー行進曲**(変ホ長調)
　*ご希望により吹奏楽譜(曽我大介編曲)を配布いたします
(5)ホルスト/**第一組曲より第三楽章「マーチ」**

上記以外の曲にも柔軟に対応いたします。またリコーダー、鍵盤ハーモニカといった器楽合奏との共演も学校とのご相談により対応いたします。また、新たに曽我大介が編曲することも可能です。

物語のある音楽を聴こう

シベリウス:交響詩「フィンランディア」(10 分　説明込み)

各校校歌(オリジナルフルオーケストラ編曲)(5 分)

(先生や生徒の指揮も大歓迎です)
自身作曲家でもある、曽我大介が編曲するオリジナルの一曲です。

＜アンコール＞

外山雄三 「管弦楽のためのラプソディ」より(5 分)

(全員が簡単なボディーパーカッションで参加)

公演時間(95 分・休憩を含む)

著作権		制作団体が所有	◎	制作団体以外が所有する事項が含まれる	有	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無

演目概要

オーケストラ大解剖　──オーケストラサウンドのひみつ──

オペラの代名詞といっても良い「カルメン」。世界中でもっとも演奏回数の多いオペラ演目の一つと言っても良いでしょう。この名作オペラを使って前半ではオーケストラのあらゆる楽器のサウンドを解剖していきます。
よく行われている楽器紹介と違うのは、楽器の音色を聞いたのち、ビゼーがオーケストラの中でどのように楽器をフィーチャーしたのか、オーケストラの中で演奏すること。
これによって各楽器の役割や個性がより一層明快にわかるはずです。

オペラの世界を味わってみよう　──華やかなオペラの世界──

歴史に残る音楽の力あふれる大傑作を使って各方向から深く掘り起こすことで、ごった煮のプログラムより子供により判りやすい構成になっています。
後半ではカルメン役のオペラ歌手が登場、世界中で親しまれている華やかなオペラの世界が味わえます。

みんなでオーケストラを体験しよう！──体感できる音楽を──

提示の曲目は親しみやすい JPOP の曲やオーケストラと共演しやすい曲目などです。
各学校の諸事情に柔軟に対応したいと思います
また校歌演奏での各学校の先生や生徒さんの指揮も大歓迎です。
「あなたもマエストロ」では生徒さんの指揮がどのようにオーケストラが反応するか、皆さんに体験してもらいます。指揮をするのは 3 人だけですが、指揮の手ほどきは全員合同で行います。

物語のある音楽を聴こう　──オーケストラの音楽を深く理解するために──

クラシック・オーケストラの名作を演奏します。それに先立つ背景などはワークショップや配布資料で事前学習します。

アンコール　──ボディーパーカッションで全員一体の音楽を楽しもう──

簡単なボディーパーカッション付きで児童・生徒さんだけではなく、ご父兄、教師の皆さんなどみんなで参加できる一曲です。ラプソディには日本を代表するメロディとリズム：八木節が使われています。大いに盛り上がると思います。

演目選択理由	**ビゼー：歌劇「カルメン」より前奏曲** オーケストラのダイナミックなサウンドを楽しんでいただき、自然と体が動き出すような一曲。オーケストラ曲の代名詞に相応しい一曲です。 **楽器紹介(ビゼー作曲：カルメン第一・第二組曲を使って)** ビゼーはカルメンで各楽器の個性をその卓越した能力で際立たせました。 ここでは一般的な各楽器の音色を聴く楽器紹介だけではなく、作曲家のオーケストラの中でのスポットライトの当て方の解る曲として選択致しました。 **あなたもマエストロ(カルメン前奏曲)** 平易で指揮者の持ち味がわかりやすい一曲です。全員で身体を動かして指揮の動きを体験するのにもってこいの一曲でもあります。 **歌劇 「カルメン」より−オペラの世界を味わってみよう** **−日本語またはフランス語歌唱−** 実際に実力派オペラ歌手に共演してもらい、華やかなオペラの世界を味わってもらうためにプログラミングしました。歌唱言語はフランス語・日本語から各学校の事情に合わせて選択していただきます。 **みんなでオーケストラを体験しよう** *合唱または吹奏楽でオーケストラと共演していただきます。* **合唱で共演の場合**(出演のメゾ・ソプラノ歌手と一緒に) (1)ビゼー：「カルメン」より　街の子供達と衛兵の交代(日本語またはフランス語歌唱) (2)平吉毅州：「気球に乗ってどこまでも」 (3)杉本竜一：「ビリーヴ」 (4)平井夏美：「瑠璃色の地球」 (5)菅野よう子：「花は咲く」 (6)村井邦彦：「翼をください」 **吹奏楽で共演の場合** (1)スーザ：行進曲「星条旗よ永遠なれ」(吹奏楽の調) (2)エルガー：「威風堂々　第一番」 (3)スーザ：行進曲「雷神」(吹奏楽の調) (4)J.シュトラウスⅠ世：ラデツキー行進曲　(変ホ長調) (5)ホルスト：組曲第一番から「マーチ」 オーケストラで共演しやすい曲や、親しみやすい曲を選びましたが、各校の事情に応じて自身作曲家でもある曽我大介が編曲し対応もいたします。 **物語のある音楽を聴こう** シベリウス：交響詩「フィンランディア」 クラシックな管弦楽の代表作で、オーケストラのサウンドが充実し、更に歴史的背景や物語性のある一曲を選びました。 **オリジナルフルオーケストラ編曲：各校校歌**(先生や生徒の指揮も大歓迎です) オーケストラに編曲された校歌は胸を打つサウンドとなり、学校の記念となるでしょう。 **アンコール　外山雄三 「管弦楽のためのラプソディ」より** 日本の曲として海外で最も多い一曲を選びました。

児童・生徒の共演，参加又は体験の形態

指揮者体験コーナー「あなたもマエストロ」

児童・生徒さんから選ばれた 3 人の方に実際オーケストラの指揮をしていただきますが、本公演中になされる指揮指導では実際に全員が手を動かしてもらいます。おそらく小学生などでは指揮をする児童さんと一緒にみなさんも手を動かして体験してもらえると思います。

みんなでオーケストラを体験しよう

合唱や吹奏楽、器楽とオーケストラの共演です。各学校の要望にできる限り沿いながら、事情に合わせた素敵な共演体験を実現してほしいと思っています。

アンコール

曲に合わせた簡単なボディーパーカッションを会場全体で行います。
本番中に事前指導が行われ指揮者の合図で行います。
また希望校は拍子木、和太鼓など和楽器での共演も可能です。

休憩時間の楽器体験

休憩時間には体験用楽器を用意し、各楽器の奏者が指導に当たり、児童・生徒さんに実際の演奏体験をしていただくこともできます。またチューバやハープを、興味を持つ子供たちの間近で体験できる工夫もいたします。

出演者

指揮・司会　**曽我大介**

メゾ・ソプラノ　**野田千恵子**(新国立劇場合唱団)　**高野百合絵**　**浪川佳代**　他、調整中

東京ニューシティ管弦楽団

フルート 2　オーボエ 2　クラリネット 2　ファゴット 2　ホルン 4　トランペット 3　トロンボーン 3　チューバ 1
打楽器 4　弦楽器　1st ヴァイオリン10　2nd ヴァイオリン8　ヴィオラ6　チェロ 6　コントラバス 4
ハープ 1(楽団員一覧表別途添付)

公演出演予定者数 (1公演あたり)	出 演 者:　60 名 ス タ ッ フ:　4 名 合　　計:　64 名	機 材 等 運搬方法	積載量　2tロング 車　長　6m 台　数　1 台

【公演団体名　東京ニューシティ管弦楽団 】

<table>
<tr><td>公演に当たっての
会 場 条 件</td><td>実施条件等確認書①をご確認ください。</td></tr>
<tr><td>会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安</td><td>前日仕込み(有 ・ ㊡) 会場設営の所要時間(2 時間程度)
<table><tr><td>楽器搬入と
舞台設営</td><td>共演プログラムの
リハーサル</td><td>本公演</td><td>楽器搬出、撤去</td></tr><tr><td>8:00-10:30</td><td>10:30-12:30</td><td>13:30-15:00</td><td>15:00-17:00</td></tr></table>以上の時間はあくまでも目安で個別に調整させていただきます。
※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時 30 分からの概ね2時限分程度です。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">児 童 ・生 徒の
参加可能人数</td><td>ワークショップ</td><td>レクチャーとミニコンサートは全校生徒も可能
(会場のキャパシティと設備次第)
レッスンは共演者に限られると思われます。</td></tr>
<tr><td>本公演</td><td>全校生徒も可能(会場のキャパシティ次第)</td></tr>
<tr><td>ワークショップ
実 施 形 態
及 び 内 容</td><td>本楽団から指揮者・木管楽器・金管楽器・弦楽器各1名、ピアニスト、スタッフ１名が伺います。レクチャーと指導という二つの部分から成り立ちます。

<u>レクチャーとミニコンサート</u>

実質 1 時間から 1 時間 15 分の間でパソコンによるパワーポイントのスライドや動画、音源などを使い、コンサートの歴史、拍手やコンサートでの風習、楽器の仕組みや歴史を学びます。その間に各楽器がピアノとともに数曲の演奏をいたします。その中で音楽の三要素、リズム、メロディ、和音についての体験レクチャーもします。
人数にもよりますが、体験用楽器を用意し、実際に楽器の演奏体験してもらうことも可能です。

<u>事前共演指導(20-100 分程度)</u>

合唱や、吹奏楽、リコーダー、器楽などの事前共演指導のレッスンを行います。
歌唱指導では基本的な言葉の発音から、どうやって音楽が生まれてくるかも学びます。中学校の吹奏楽部の細かい技術指導などについては、時間の許す限り行います。
<u>大まかに分けてこの二つの内容は各学校の事情やスペースに合わせて、実施時間を調整いたします。</u>
また吹奏楽部や合唱部などの指導では、顧問の先生との連絡を密にして内容を練ってまいります。</td></tr>
</table>

ワークショップ 実施形態の意図	**音楽の時間と別の観点からの広い音楽へのシンパシーを感じてもらいたい** 普段音楽の時間では味わえない生の音に触れることによって、また様々なヴィジュアル・メディアも使った事前学習で、本公演に向けての興味を引き立てます。本公演に向けて身近にオーケストラの演奏を感じていただけるよう、派遣された一人一人が丁寧に努力いたします。小学校ではコンサートは演奏者、聴き手の両方の相乗効果で作られることを知ってもらい、音楽の時間と別の観点から本公演につながる広い音楽へのシンパシーを感じてもらうのが目的です。中学校ではより進んだ演奏技術の向上も目指します。
特別支援学校での実施における工夫点	身体の負担や、精神的な負担を考え各校事情に合わせます。 公演時間や共演内容の精査を学校との綿密な打ち合わせのうえ、決定します。 具体的には公演内容の縮小、楽器とのふれあいの時間を増やす、大きな音を控えるなどと言った対策も考えられます。
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。

A区分②　出演予定のメンバー表(58名)

【公演団体名　東京ニューシティ管弦楽団】

ｺﾝｻｰﾄﾏｽﾀｰ	執行　恒宏	ﾌﾙｰﾄ	立住　若菜
ヴァイオリン	中島ゆみ子	ﾌﾙｰﾄ	川野　さわか
ヴァイオリン	荒巻　泉	ｵｰﾎﾞｴ	徳田　振作
ヴァイオリン	伊東　佑樹	ｵｰﾎﾞｴ	池田　祐子
ヴァイオリン	上田　博司	ｸﾗﾘﾈｯﾄ	西尾　郁子
ヴァイオリン	小澤　郁子	ｸﾗﾘﾈｯﾄ	松元　香
ヴァイオリン	剣持　由紀子	ﾌｧｺﾞｯﾄ	藤田　旬
ヴァイオリン	小林　妙子	ﾌｧｺﾞｯﾄ	松里　俊明
ヴァイオリン	高階　久美子	ﾎﾙﾝ	小林　裕治
ヴァイオリン	大塚　杏奈	ﾎﾙﾝ	猪俣　和也
ヴァイオリン	大澤　美香	ﾎﾙﾝ	古谷　幸子
ヴァイオリン	中村　朱見	ﾎﾙﾝ	根本　めぐみ
ヴァイオリン	萩野　恵美子	ﾄﾗﾝﾍﾟｯﾄ	依田　泰幸
ヴァイオリン	有村　実保子	ﾄﾗﾝﾍﾟｯﾄ	後藤　慎介
ヴァイオリン	河合　晃太	ﾄﾗﾝﾍﾟｯﾄ	守岡　未央
ヴァイオリン	寺田　久美子	ﾄﾛﾝﾎﾞｰﾝ	渡部　善行
ヴァイオリン	秀川　みずえ	ﾄﾛﾝﾎﾞｰﾝ	田中　洋実
ヴァイオリン	升本　理央	ﾄﾛﾝﾎﾞｰﾝ	恵藤　康充
ヴィオラ	中山　良夫	ﾁｭｰﾊﾞ	若林　毅
ヴィオラ	浅川　文	ティンパニ	井沼　　弘能
ヴィオラ	宇佐美　久恵	打楽器	新田　初美
ヴィオラ	久郷　寿実子	打楽器	倉長　淳
ヴィオラ	沼田　由恵	打楽器	三浦　肇
ヴィオラ	三品　芽生	ﾊｰﾌﾟ	篠田　恵里
ﾁｪﾛ	町田　正行		
ﾁｪﾛ	平山　正三		
ﾁｪﾛ	榊原　糸野		
ﾁｪﾛ	望月　直哉		
ﾁｪﾛ	関根　優子		
ﾁｪﾛ	松谷　明日香		
ｺﾝﾄﾗﾊﾞｽ	佐々木　等		
ｺﾝﾄﾗﾊﾞｽ	青山　幸成		
ｺﾝﾄﾗﾊﾞｽ	岡田　有希		
ｺﾝﾄﾗﾊﾞｽ	飯田　克哲		

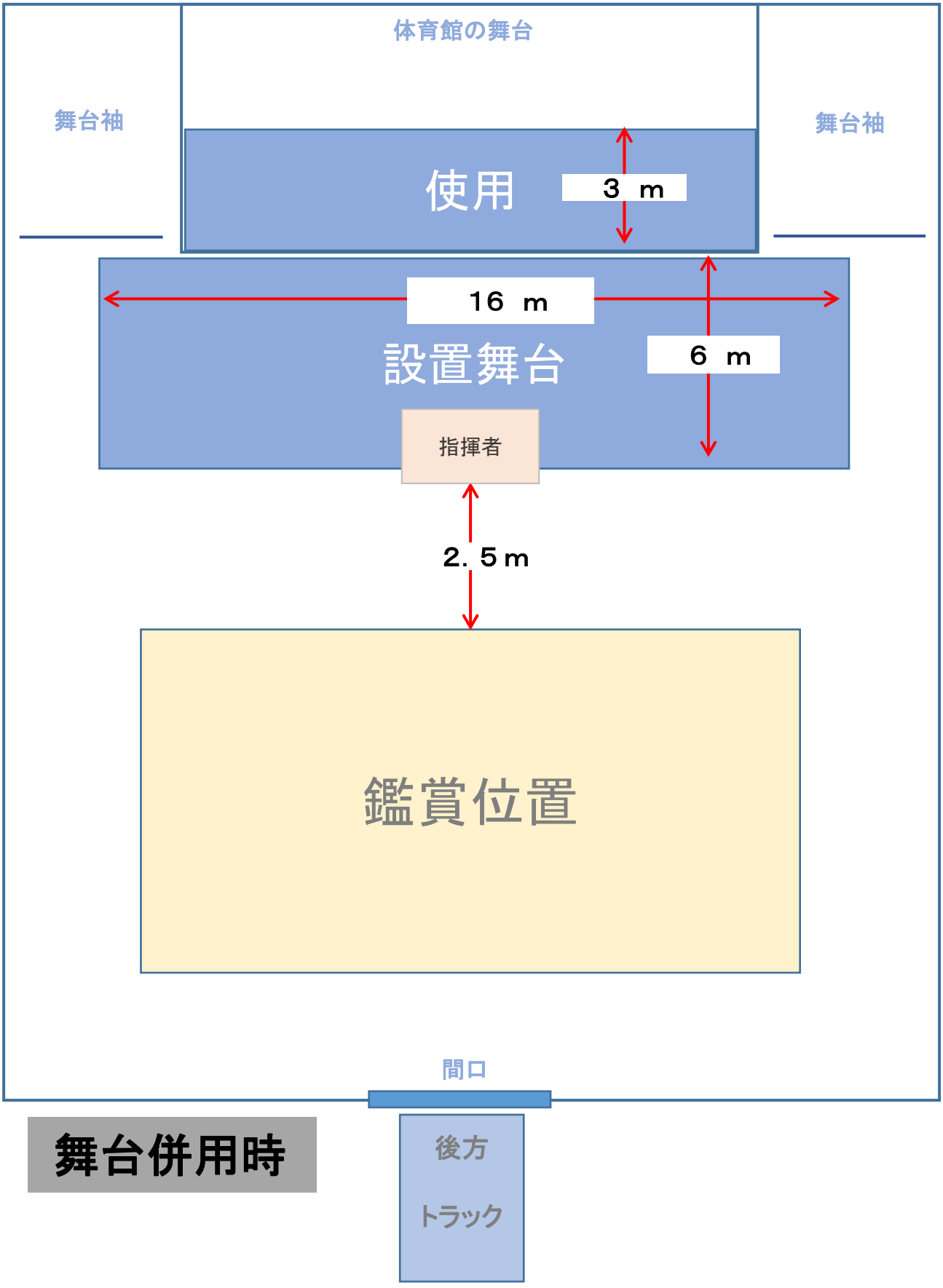
【令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	229	分野	音楽	種目	オーケストラ等	ブロック		区分	A区分
公演団体名	東京ニューシティ管弦楽団				制作団体名	一般社団法人　東京ニューシティ管弦楽団			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数＊	3室	条件	指揮者1室，男性，女性の着替え用であるためカーテンがある部屋が希望です。				
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数＊			2tトラック　1台		大型バス　2台		
	不可	来校する車両の内，横づけが必要な車両の大きさ			2tトラック				
	可	搬入車両の横づけの要否＊			要				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離＊			5m以内				
	可	搬入経路の最低条件			・できる限り階段のない経路が望ましい。 ・屋根のある経路が望ましい。				
		理由			大型楽器やひな壇等の搬入をするため				
	―	設置階の制限＊			問わない				
	不可	搬入間口について 単位：メートル	幅		1．5m	高さ	1．8m		
WSについて	可	参加可能人数			共演は100名程度、レクチャーとミニコンサートは300名程度まで				
	可	学年の指定の有無＊			なし	指定学年＊	なし		
	可	所要時間の目安 単位：分			90分程度				
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安を御参照ください。				
	可	鑑賞可能人数			全校生徒（会場のキャパシティ次第）				
	可	舞台設置場所＊			ステージ上・フロアの両方				
	可	舞台設置に必要な広さ 単位：メートル	幅		16m	奥行	9m	高さ	指定なし
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保＊		要				
	可		舞台袖スペースの条件＊		整理整頓、数名の待機が可能				
	―		緞帳＊	不要	バトン＊	不要			
	可	遮光(暗幕等)の要否＊		要	理由	陽射しで楽譜が見にくい場合のみ			
	可	ピアノの調律・移動の要否	指定位置へのピアノの移動＊	不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。				
	―		ピアノの事前調律＊	不要					
	可	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況＊	格納されていれば可					
	―	公演に必要な電源容量		※主幹電源の必要容量					
	その他特記事項								

会場図面(表記単位:メートル)



舞台併用時

搬入間口について	幅	1.5m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		5m		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

文化芸術による子供育成総合事業

東京ニューシティ管弦楽団

体を震わす響き！

オーケストラとオペラの音楽の華麗な世界

ビゼーの歌劇カルメンを題材にして、
オーケストラの魅力をさまざまな角度から掘り起こし、
オーケストラとオペラの世界の魅力を存分に味わってもらいます。

- ♬ ビゼー：歌劇「カルメン」より前奏曲
- ♬「カルメン」を使ってオーケストラ大解剖
- ♬ 指揮者体験コーナー「あなたもマエストロ」
- ♬ メゾ・ソプラノ独唱によるカルメンの世界
  ハバネラ／ロマの唄
- ♬ みんなでオーケストラを体験しよう
- ♬ 物語のある音楽を聴こう
  シベリウス：交響詩「フィンランディア」
- ♬ 各校校歌（オリジナルフルオーケストラ編曲）

Ⅵ 令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野，種目（該当する**種目**に○を付してください。）

分野	種目
【音楽】	合唱，(オーケストラ等)，音楽劇
【演劇】	児童劇，演劇，ミュージカル
【舞踊】	バレエ，現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽，人形浄瑠璃，邦楽，邦舞，演芸

申請する区分に，○を付してください。　(A区分のみ)・A区分とB区分の両方・C区分

複数申請の有無（該当する方に○を付してください。）　(あり)・なし

複数の企画が採択された場合の実施体制（該当する選択肢のいずれかに○を付してください。）
(1) 公演の実施時期が重複しても，複数の企画を実施可能
(2) 公演の実施時期が重複しなければ，複数の企画を実施可能
(3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
(4) その他（　　）

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	がっこうほうじん　おおさかおんがくだいがく 学校法人　大阪音楽大学		
代表者職・氏名	理事長　中村　孝義		
制作団体所在地 （最寄り駅・バス停）	〒561-8555　大阪府豊中市庄内幸町１丁目１番８号 （最寄り駅：阪急宝塚線　庄内駅）		
電話番号	06-6336-2001（直通）	ＦＡＸ番号	06-6331-4300
ふりがな 公演団体名	かんげんがくだん ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団		
代表者職・氏名	ザ・カレッジ・オペラハウス館長　中村　孝義		
公演団体所在地 （最寄り駅・バス停）	〒561-8555　大阪府豊中市庄内幸町１丁目１番８号 （最寄り駅：阪急宝塚線　庄内駅）		
制作団体設立年月	1988年　4月		
制作団体組織	役職員 理事長　中村　孝義 副理事長　本田　耕一 常任理事　十川　輝明 福井　慎吾 岡野　幸義	団体構成員及び加入条件等 ■大阪音楽大学 教職員数　628名　学生数　1,077名 （令和2年7月1日現在） ■ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団 別紙参照 （令和2年4月1日現在）	
事務体制の担当	専任・(他の業務と兼任)	本事業担当者名	オーケストラマネージャー 齋藤　秀之
経理処理等の監査担当の有無	(有)・無	経理責任者名	連携・演奏事務部門長 江良　成人

制作団体沿革	# ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団 「大阪音楽大学ザ・カレッジ・オペラハウス」の専属管弦楽団として、1988 年 4 月に組織。定期演奏会は 2019 年 11 月で 56 回となった。 ザ・カレッジ・オペラハウス主催オペラ公演の管弦楽を担当。また発足当初より学生の研究、学習をサポート。学外では 1999 年ザ・カレッジ・オペラハウスの引っ越し公演として、東京文化会館と滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールにおいて黛敏郎《金閣寺》の管弦楽を担当。この公演を含む多彩な演奏活動が認められ、2000 年第 20 回音楽クリティック・クラブ賞を受賞。以降も多くのオペラの成功に貢献している。 2005 年 9 月新国立劇場における「地域招聘公演」第 1 回として松村禎三《沈黙》の管弦楽を担当、公演は大きな反響を呼んだ。2005 年 10 月ザ・カレッジ・オペラハウスでの《沈黙》および 2011 年 10 月の 20 世紀オペラ・シリーズ、B.ブリテン《ねじの回転》の公演では文化庁芸術祭大賞を受賞。2013 年同シリーズ、B.ブリテン《ピーター・グライムズ》の公演では第 22 回三菱 UFJ 信託音楽賞を受賞し、1997 年ザ・カレッジ・オペラハウスにおける黛敏郎《金閣寺》の公演での第 6 回三菱信託音楽賞受賞に続く快挙を果たした。 さらに 2014 年 10 月の同シリーズ、鈴木英明《鬼娘恋首引》および B.ブリテン《カーリュー・リヴァー》の公演は、狂言と能を題材にした内容と上質な演奏が高く評価され 3 度目の文化庁芸術祭大賞を受賞。2015 年創立 100 周年記念オペラ公演、G.ヴェルディ《ファルスタッフ》の公演では文化庁芸術祭優秀賞を受賞。以上、数々の受賞に貢献している。 名誉指揮者に飯森範親、山下一史、チャン・ユンスン、正指揮者に大勝秀也、牧村邦彦を擁している。公益社団法人日本オーケストラ連盟準会員。 《 オペ管 》の愛称で親しまれている。 [ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団オフィシャルホームページ] https://www.daion.ac.jp/campus/opera/opera-orchestra/

<table>
<tr><td>学校等における公演実績</td><td colspan="3">◇学校等公演実績
桜ヶ丘幼稚園創立 50 周年記念演奏会、大阪府立交野高等学校創立記念式典、摂津市立第四中学校音楽鑑賞会、大阪府立吹田東高等学校創立 30 周年記念演奏会、摂津市立第一中学校音楽鑑賞会、山陽女子高等学校音楽鑑賞会、豊中市立第十二中学校音楽鑑賞会、神戸市立六甲アイランド高等学校音楽鑑賞会、石巻市立門脇小学校・門脇中学校、石巻専修大学、女川町立第一小学校・第二小学校・第四小学校、女川町立第一中学校・第二中学校、大阪府立大学工業高等専門学校音楽鑑賞会、大阪府高齢者大学校、その他大阪市内小学校公演（大阪市・青少年芸術体験事業）など
◇文化庁巡回公演事業
・平成 25 年度「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」にて 24 公演を実施。
・平成 26 年度「文化芸術による子供の育成事業」にて 19 公演を実施。
・平成 27 年度「文化芸術による子供の育成事業」にて 17 公演を実施。
・平成 28 年度「文化芸術による子供の育成事業」にて 17 公演を実施。
・平成 29 年度「文化芸術による子供の育成事業」にて 8 公演を実施。
・平成 30 年度「文化芸術による子供の育成事業」にて 12 公演を実施。
・令和元年度 「文化芸術による子供育成総合事業」にて 11 公演を実施。</td></tr>
<tr><td>特別支援学校における公演実績</td><td colspan="3">○平成 24 年度
大阪市・青少年芸術体験事業にて
実施校：平野特別支援学校
○平成 25 年度
「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」にて
実施校：富山県立富山視覚総合支援学校
○平成 26 年度
「文化芸術による子供の育成事業」にて
実施校：杉並区立済美養護学校
○平成 27 年度
「文化芸術による子供の育成事業」にて
実施校：宮崎県立日南くろしお支援学校
○平成 30 年度
「文化芸術による子供の育成事業」にて
実施校：広島県立庄原特別支援学校</td></tr>
<tr><td rowspan="7">参考資料の有無</td><td rowspan="4">A</td><td>申請する演目のチラシパンフレット等</td><td>有　・　無</td></tr>
<tr><td>申請する演目の DVD または WEB 公開資料</td><td>有　・　無</td></tr>
<tr><td>※公開資料有の場合 URL</td><td></td></tr>
<tr><td>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</td><td>ID:
PW:</td></tr>
<tr><td rowspan="3">A の提出が困難な場合</td><td>今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料</td><td>[有]　・　無</td></tr>
<tr><td>※公開資料有の場合 URL</td><td>https://www.youtube.com/watch?v=Sebu_YVVuRM</td></tr>
<tr><td>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</td><td>限定公開 URL の為、ID 及びパスワードの入力は必要ありません。</td></tr>
</table>

公 演 ・ ワークショップの内 容　　【 公演団体名：ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団 】

対　　象	小学生（ 低学年 ・ 中学年 ・ 高学年 ） ・ 中 学 生
企画名	♪心に響くハーモニー♪ オペラハウス専属オーケストラで聴くオペラの名曲！
本公演演目	**ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団 オーケストラ公演プログラム** ●オープニング ワーグナー ／ 歌劇「ローエングリン」より 第3幕への前奏曲 ●楽器紹介 ～弦楽器・木管楽器・金管楽器・打楽器をお話しと演奏を交えながら紹介していきます～ ●オペラ・アリア ～プロの歌手達による歌声を男性・女性2曲続けてお届けします～ ●オペラ・デュエット ～プロの歌手達によるオペラ・デュエット曲をお届けします～ － 休憩 15 分 － ●校歌合唱 ～オーケストラの華やかな伴奏で校歌を元気に歌いましょう！！～ ●指揮者体験コーナー ～君も未来のマエストロ♪オーケストラの指揮を体験♪～ ビゼー ／ 歌劇「カルメン」より 前奏曲 ●共演コーナー ～オーケストラと子供たちの夢の共演！！～ （下記の7曲から1曲を選択していただきます） A 吹奏楽部・金管バンドとの共演の場合 ウィルソン ／ 76本のトロンボーン ヤン・ヴァンデルロースト ／ アルセナール スーザ ／ 星条旗よ永遠なれ B 合唱共演の場合 杉本 竜一 ／ ビリーヴ 久石 譲 ／ 君をのせて 村井 邦彦 ／ 翼をください 松井 孝夫 ／ マイ バラード ●オーケストラ演奏 エルガー ／ 行進曲「威風堂々」第1番 ◆アンコール ～オペラ歌手達の歌声と共に華やかなアンコール～ ヴェルディ ／ 歌劇「椿姫」より 乾杯の歌 ※上記プログラムは一部変更になる可能性もあります。 公演時間（約 90 分） ※共演曲のアルセナールのみ許諾が必要になりますが、詳細確定後手続きいたします。

著作権		制作団体が所有	◯	制作団体以外が所有する事項が含まれる	◯	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無

演　目　概　要

ワーグナー　／　歌劇「ローエングリン」より　第3幕への前奏曲

演奏会のオープニングは、ワーグナー作曲の歌劇「ローエングリン」より第3幕への前奏曲で華やかにスタートいたします。全奏による爆発的な序奏は演奏会の幕開けにふさわしく子供たちをオーケストラの世界へグッと惹きつけます。

楽器紹介

オープニングの余韻に浸りながら、楽器紹介へと続いていきます。
弦楽器・木管楽器・金管楽器・打楽器を楽しいお話と演奏を交えながら紹介していきます。

オペラ・アリア　〔独唱＝ひとりで歌うこと〕

オーケストラの楽器紹介で楽しく会場が盛り上がった後はちょっと一息おいて、プロの歌手達による男性・女性それぞれの歌声によるオペラ・アリアを聴いて頂きます。
オーケストラの楽器とは違い身体が楽器となる声楽家の会場一杯に響き渡る甘く美しい歌声や表情と華やかな衣装などにも注目してみてください。

オペラ・デュエット　〔二重唱＝ふたりで歌うこと〕

オペラ・アリアに続いてオペラの中でも重要な場面で歌われるオペラ・デュエットを聴いて頂きます。まるでオペラハウスにいるかのような雰囲気に包まれる会場の空気を目と耳と心で感じていただきながら第1部のクライマックスへと導きます。

－　休憩　10～15 分　－

校歌合唱

休憩でリラックスしたあと、第2部は校歌斉唱からスタートいたします。
普段、ピアノ伴奏やCDなどに合わせて歌う校歌を、プロのオーケストラの演奏をバックに、児童・生徒のみなさんに歌っていただきます。
世界で一つだけの特別バージョンの校歌で想い出に華を添えます。

指揮者体験コーナー

指揮者から指揮についての役割などをわかりやすく説明していただき、児童・生徒のみなさんの中から代表で3名の方にオーケストラの指揮に挑戦していただきます。
曲目は、ビゼー作曲の歌劇「カルメン」より前奏曲です。
お客さんへお辞儀をして指揮台に乗ったときのドキドキ・ワクワクする緊張感、指揮棒を振りおろすと目の前でオーケストラが鳴り出す臨場感、曲の最後まで振り切った時の達成感などをより身近で体感していただきます。

共演コーナー

校歌・指揮者体験に続き、児童・生徒のみなさんに参加していただきます。
大きく2つの項目に分け、A）吹奏楽・金管バンドとの共演、B）合唱共演のどちらかの中から希望する曲目を1曲選択し本公演当日オーケストラと一緒に共演していただきます。
吹奏楽・金管バンドについては、楽員と一緒に演奏していただくことで、ただ共演するだけではなく、プロの演奏を間近で体感しながら演奏をすることができます。
合唱については、参加人数にもよりますが基本的にはその場で立っていただき、オーケストラと対面した状態で歌っていただきます。
曲の歌詞に思いを込めて校歌とはまた一味違うサウンドを楽しみながら、オーケストラと児童・生徒、会場の皆さんで一体となって共演していただきます。

エルガー ／ 行進曲「威風堂々」第1番

演奏会のフィナーレは、エルガー作曲の行進曲「威風堂々」第1番を華やかにお届けいたします。中間部のメロディは最も有名で曲の後半ではそのメロディが高らかに歌い上げられクライマックスを迎えます。某食品メーカーの CM で流れたことでも有名で一度はどこかで耳にしたことのある作品です。

ヴェルディ ／ 歌劇「椿姫」より 乾杯の歌

演奏会はフィナーレを迎えますが、アンコールの手拍子にのせてもう 1 曲。
ヴェルディ作曲の歌劇「椿姫」の中から有名な「乾杯の歌」を最後にお届けしします。
2人の歌手達が劇中さながらに「さあ友よ飲み明かそう！」と歌い・演じながら明るく楽しい華やかなパーティーの雰囲気に包まれコンサートは幕を閉じます。

【ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団オーケストラ公演演目について】

― 開催校からの感想より ―

「体育館いっぱいに響く素晴らしい演奏に大きな感動をいただいた。」
「初めてオーケストラ演奏を鑑賞する児童も多く、大変貴重な経験をさせてもらったと感謝している。」
「演奏曲も児童に馴染みのある曲が多く、楽器の紹介もわかりやすかった。さらにオーケストラとの「校歌」と「ビリーヴ」の共演では生き生きと楽しそうに歌う児童が印象的だった。」
「この経験をこれからの音楽教育に役立てていきたいと思う。」
「子供たちだけでなく、職員の中でも「今までで一番よかった！」「本物を聴けてよかった！」という声があちこちから聞こえ、いかに本公演が素晴らしかったかを改めて感じました。」

演目選択理由	未来の文化の担い手となる子ども達の発想力やコミュニケーション能力の育成・芸術鑑賞能力の向上など総合的な子供育成に寄与すると共に、本公演でオーケストラ鑑賞を体験した子ども達が将来芸術家を目指すきっかけ作りとなる事を願いプログラムを構成いたしました。 クラシック音楽をより親しみやすく感じていただけるように様々なシーンで聞かれることの多い名曲を選択いたしました。また、司会者によるわかりやすい曲目説明によって、初めて聴くオーケストラにも興味をもってもらえるようにいたします。 楽器紹介では弦楽器・木管楽器・金管楽器・打楽器のそれぞれの音色の違いについてお話とともに実際に音を聴いていただく事によって楽器の特徴を知り、興味を持って聴いてもらえるようにいたします。 『オペラ』を得意とする楽団の特色を活かし、オーケストラ伴奏と共にプロの歌手達がオペラ・アリアやオペラ・デュエットを歌います。 歌声が会場一杯に響き渡り体育館がまるで音楽ホール（オペラハウス）の様になるのを感じていただきます。 共演では普段歌っている校歌と選択による曲目をオーケストラと一緒に共演していただき一生の思い出となる体験をして頂きます。
児童・生徒の共演，参加又は体験の形態	コンサートの後半に3つの児童・生徒の皆さんに参加していただくコーナーをご用意しております。 *校歌合唱* 校歌をオーケストラ版にアレンジし、プロのオーケストラの演奏で児童・生徒の皆さんに歌っていただきます。普段歌っている校歌がオーケストラの伴奏でどのように変わるのかは演奏会当日までのお楽しみです。子供たちの心に残る一生の思い出になるでしょう。 *指揮者体験コーナー* 演奏会当日、3名の児童・生徒の皆さんにオーケストラの指揮に挑戦していただきます。 誰が選ばれるかはその時までのお楽しみです。指揮棒の動きに合わせて出てくるオーケストラの音の強弱やテンポ（速さ）の違いなど間近で体感していただきます。 【指揮者体験コーナーの場面より】 未来のマエストロ！ オーケストラの指揮に挑戦♪ 【指揮者体験コーナーの場面より】 指揮棒に合わせて曲の速さや大きさが変わり ドキドキワクワクの連続です♪ *共演コーナー* 吹奏楽・金管バンドとの共演、合唱共演の中から1曲を選択し、オーケストラと一緒に共演していただきます。 吹奏楽・金管バンド共演の場合は、 吹奏楽の作品の中でもよく知られている **「76本のトロンボーン」　「アルセナール」　「星条旗よ永遠なれ」** の3曲を取り上げ、 合唱共演の場合は、 **「ビリーヴ」　「君をのせて」　「翼をください」　「マイ バラード」** などのレパートリーを用意しております。

出　　演　　者	[指揮] 大勝　秀也　または　牧村　邦彦　他(予定) [歌と司会] 内藤　里美　と　清原　邦仁　　または　　北野　智子　と　竹内　直紀　他(予定) [管弦楽] ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団(3 管 10 型) 2.P,2.E,2.B,2.C-4,4,3,1-Timp,4Perc,Hp-Str(10-8-6-6-4)
公演出演予定者数 (1公演あたり)	指 揮 者 :　1 名 歌と司会 :　2 名　(男性=1、女性=1) 弦 楽 器 :　35 名　(Vn.Ⅰ=10、Vn.Ⅱ=8、Va.=6、Vc.=6、Cb.=4、Hp.=1) 管 楽 器 :　24 名　(Fl.[Picc.]=3、Ob.[Eh.]=3、Cl.[B.Cl.]=3、Fg.[C.Fg.]=3、Hr.=4、Tp.=4、Tb.=3、Tu.=1) 打 楽 器 :　5 名　(Timp.=1、Perc.=4) スタッフ :　8 名　(チーフマネージャー、オーケストラマネージャー、ステージマネージャー、ライブラリアン、舞台スタッフ) 合　計　:　75 名
機 材 等 運搬方法	積 載 量 :　4t 車　長　:　約 9.1m 車　高　:　約 3.4m 車　幅　:　約 2.3m 台　数　:　2 台 ※大型楽器(ティンパニ・ハープ・コントラバス)や舞台用ひな壇(平台)や大型パネル等を運搬しますので、4tトラックが体育館に横付けできることが望ましく、 **学校敷地内に4tトラックが乗り入れ可能であることを前提としてお考えください。** また、学校の周辺道路が**「トラック進入禁止」**などの規制がないことを事前にご確認頂きます様お願いいたします。

公演に当たっての会　場　条件	実施条件等確認書①をご確認ください。
会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安	前日仕込み(有 ・ 無) ***※基本的には前日仕込みはありませんが、会場条件によっては前日仕込みをさせて頂く場合がございます。*** ***例)午後の開催が難しく午前中の開催となる場合などは前日の仕込みが必要になります。*** 会場設営の所要時間(2 時間半～3 時間程度) **例)14:00 開演の場合** 07:30　楽器搬入、仕込み 11:30　リハーサル (金管バンド・吹奏楽共演の場合は、児童・生徒の皆さんにも参加していただきます。) 13:30　開場 14:00　開演 15:30　終演、バラシ 18:00　撤収完了(予定) 上記スケジュールは目安です。会場条件によって変更となる場合ございます。

児　童　・生　徒の参加可能人数	ワークショップ	特に制限なし(実施会場に入る範囲内で)
	本公演	特に制限なし(実施会場に入る範囲内で)

ワークショップ 実施形態 及び内容	*～前半はプロの楽団員によるオーケストラのお話や楽器の紹介、ミニコンサートなど～* 楽器紹介ではオーケストラが弦楽器・木管楽器・金管楽器・打楽器の4つのグループで出来ている事を説明し、楽器ごとに順番に紹介していきます。 子供たちが頭の中でイメージしやすいように、各楽器の実寸大のパネルを持ち込み楽器の形（長さ）や大きさや演奏方法の違いなどをわかりやすく説明いたします。 開場設備の条件にもよりますがプロジェクターを利用して画像投影を行う場合もあります。また、弦楽器の弓や弓の毛の材料、弦やコマなどの本物のパーツを用意し、バイオリン・ビオラ・チェロ・コントラバスの弦の太さやコマの大きさの違いなどを見比べて頂く事ができます。 日程によって楽器の組み合わせは様々となりますが、それぞれの楽器の演奏はもちろん、オリジナル編成でのアンサンブル演奏をお届けいたします。 指揮についても本公演の指揮者体験コーナーを見据え本公演の曲と同じ2拍子での指揮の練習を全体で行います。 ワークショップでは何名かの児童・生徒の皆さんに指揮に挑戦していただくことで本公演での指揮者体験に繋がるよう心がけます。 ***～後半はプロの楽員による合奏（パート）指導、またはプロのオペラ歌手による歌唱指導、ミニコンサートなど～*** 吹奏楽・金管バンドとの共演の場合は、各指導者が子供たちと一緒に演奏しながら指導をしたり、合奏しながらアンサンブルの楽しさなどを伝えていきます。 もちろん、パートでの指導も可能です。 合唱共演の場合は、身体の仕組みや発声に関する説明、呼吸法・体操なども交えながら歌唱指導を中心に行います。歌を通じて相手に対する思いやりや何かを伝えることの大切さなどを感じることができるよう心がけます。
ワークショップ 実施形態の意図	－子ども達が音楽を **目** と **耳** と **心** で楽しむ気持ちを育みたい－ ワークショップにて事前に本公演での共演曲目の指導を行うことで、本公演に向けての課題を明確にいたします。 オーケストラのお話や楽器紹介をする際には実寸大の楽器パネル（組立式）を持ち込み、楽器の実際の大きさを説明いたします。会場条件によってはプロジェクターを使っての画像投影や資料説明を行います。 また実際に本公演で使われる楽器の演奏を聴くことで子供たちに楽器や音楽に対して興味を持ってもらい、本公演がより充実する為のワークショップとなるよう努めてまいります。 ワークショップでは、より近い位置で鑑賞していただき楽器の形や奏者の息づかいなどを間近で感じられるよう意識して取り組んでおります。 歌唱指導では歌詞の意味、友達を思う心、一緒に歌う事の感動を大切に伝えれるように心がけております。
特別支援学校での実施における工夫点	基本的には変更なく実施できると思いますが、学校の先生方とよく話し合い、できる限りご要望に沿えるよう柔軟に対応させていただきます。
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。

令和3年度　文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

＜ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団＞(出演予定)　　指揮：大勝　秀也 または 牧村　邦彦　他(予定)

● コンサート・ミストレス：赤松　由夏　　● 歌と司会：内藤　里美 と 清原 邦仁　または　北野　智子 と 竹内 直紀 他(予定)

Violin Ⅰ
第1ヴァイオリン

赤松　由夏
中川　芙美
井上　なつき
三浦裕梨香
山根　朋子
袋井　杏子
吉川　　緑
平松　雅子
赤穂　夫美
農頭　奈緒

Violin Ⅱ
第2ヴァイオリン

景山　映子
池上　尚里
西山　佳代
石井　柳子
平野　有希
岡本　千英子
横田　詠美
山田　聖華

Viola
ヴィオラ

上野　亮子
森永　愛子
柳生　厚彦
福田　幸子
三上　　哲
灘儀　育子

Cello
チェロ

山岸　孝教
皆川　隼人
後藤　敏子
松村　和美
川畑　享子
柳瀬　史佳

Contrabass
コントラバス

林　　俊武
丹澤加奈子
増田　友男
林　　武寛

Flute
フルート

江戸　聖一郎
礒田　純子
菱田　弓子

Oboe
オーボエ

福田　由美
高橋　幸子
廣瀬　裕美

Clarinet
クラリネット

松尾　依子
吉延　勝也
山本　聡美

Fagot
ファゴット

岡本　真弓
松本　静香
黒田　景子

Horn
ホルン

川村　真菜美
西　　陽子
伏見　浩子
奥　祐里恵

Trumpet
トランペット

髙木　宏之
茶屋　淳子
肥後　徹士
講﨑　里穂

Trombone
トロンボーン

村井　博之
岡村　哲朗
織田　貴浩

Tuba
チューバ

澤村　　隼

Timpani
ティンパニ

安永　早絵子

Percussion
パーカッション

吉田　周平
中村　成範
大竹　秀晃
小西　里奈

Harp
ハープ

山根　祐美

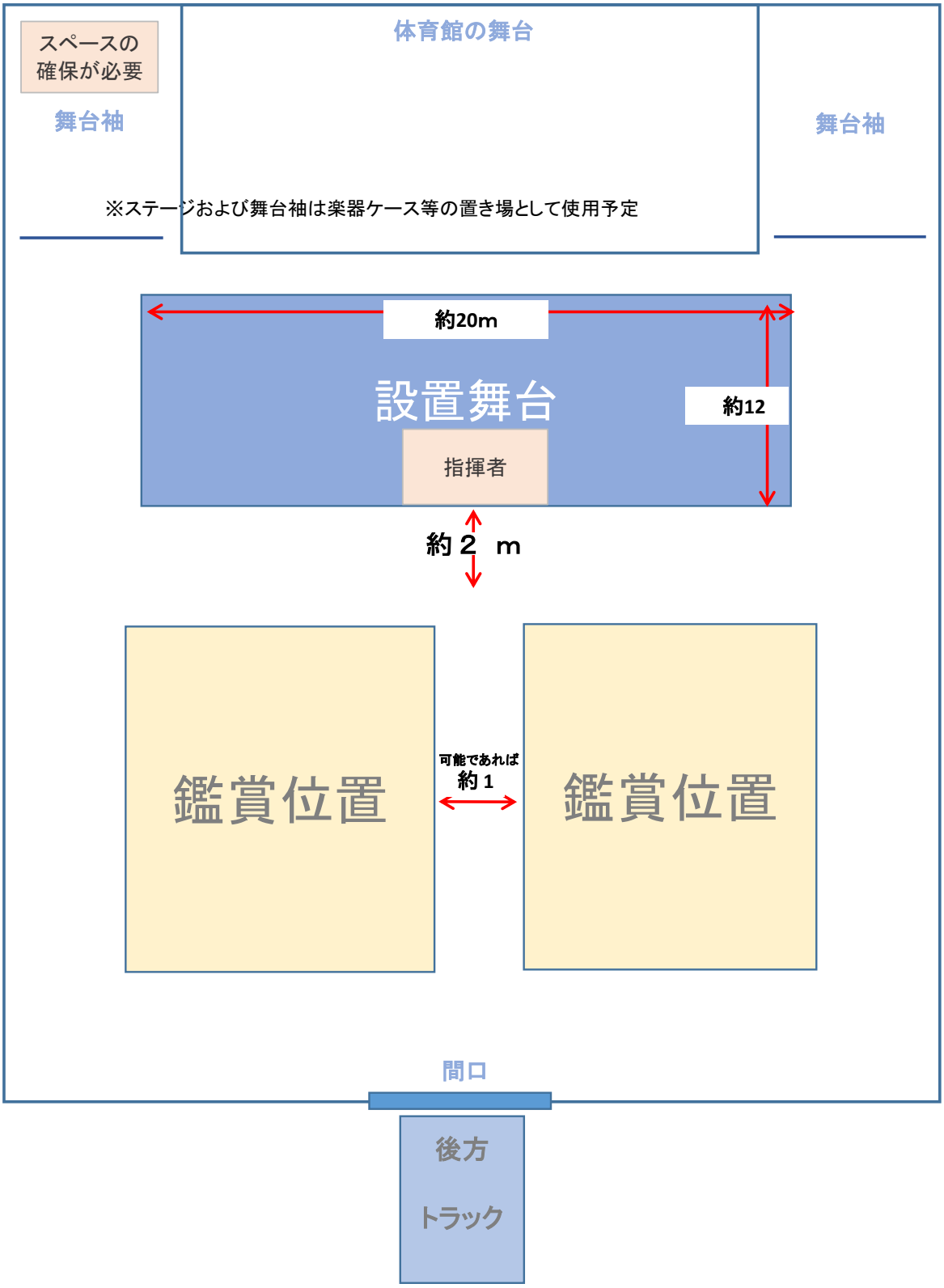
【令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	233	分野	音楽	種目	オーケストラ等	ブロック		区分	A区分
公演団体名	ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団				制作団体名	学校法人　大阪音楽大学			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数＊	5室	条件	指揮者1室、ソリスト（男女）2室、オケ（男性約30人）1室、オケ（女性約50人）1室の着替え用であるためカーテン等で目隠しが出来る部屋が希望です。				
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数＊			4tトラック　2台		大型バス　2台		
	不可	来校する車両の内，横づけが必要な車両の大きさ			4tトラック（ロング）車高3.4m 全長9.1m 車幅2.3m				
	可	搬入車両の横づけの要否＊			要				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離＊			5m以内				
	可	搬入経路の最低条件			4t×2台分の物量があり、すべて人力で持ち上げて移動させるため横付けできない場合は要相談となりますが、雨天時の対策が必要不可欠であること（3m50cm以上の屋根が必要）と、横付けできない場合は状況にもよりますが搬入・搬出時にお手伝いをお願いする場合があります。 ※調整の際に一度ご相談いただけましたら、検討させていただきます。				
	／	理由			ひな壇等舞台大道具の搬入をするため				
	可	設置階の制限＊			2階以上の場合、お手伝いをお願いすることもあります。				
	可	搬入間口について 単位：メートル	幅	1.8m以上が望ましい	高さ	2.2m以上が望ましい			
WSについて	可	参加可能人数		特に制限なし					
	可	学年の指定の有無＊		なし	指定学年＊	なし			
	可	所要時間の目安 単位：分		90分程度					
本公演について	／	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安を御参照ください。					
	可	鑑賞可能人数		特に制限なし					
	可	舞台設置場所＊		フロア					
	可	舞台設置に必要な広さ 単位：メートル	幅	20m	奥行	12m	高さ		
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保＊	要					
	可		舞台袖スペースの条件＊	袖に荷物がない状態					
	―		緞帳＊	不要	バトン＊	不要			
	可	遮光(暗幕等)の要否＊		要	理由	リハーサル・本番中に日差しが入ると公演の妨げになるため、カーテンがない場合は他のもので代用していただく必要があります。			
	―	ピアノの調律・移動の要否	指定位置へのピアノの移動＊	不要	舞台設置範囲外であれば移動不要ですが、舞台設置の妨げとなる場合移動要。				
	―		ピアノの事前調律＊	不要					
	可	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況＊	縦方向に固定で設置している場合は舞台の妨げになるため実施できません。（縦方向に昇降式であれば問題ございません。）					
	可	公演に必要な電源容量		－	※主幹電源の必要容量				
		その他特記事項							
	可	本公演時、ワイヤレスマイク 2本使用（機材は楽団持込）電源のみ借用いたします。（通常コンセントで対応可）							
	―	※ワークショップではピアノを使用いたします。（本公演では使用いたしません）							

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	1.8m以上が望ましい	高さ	2.2m以上が望ましい
搬入車両の横づけの要否	要 (応相談可)			
横づけができない場合の搬入可能距離	5m以内 (応相談可)			

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

プログラム

ドイツの作曲家リヒャルト・ワーグナーの華やかで堂々とした
旋律が印象的な作品でコンサートのオープニングを飾ります！！

●オープニング
ワーグナー　／歌劇「ローエングリン」より　第3幕への前奏曲

●楽器紹介
～弦楽器・木管楽器・金管楽器・打楽器をお話しと演奏を交えながら紹介していきます～

●オペラ・アリア〔独唱曲=ひとりで歌うこと〕
～プロの歌手達による歌声を男性・女性2曲続けてお届けします～

●オペラ・デュエット〔二重唱曲=ふたりで歌うこと〕
～プロの歌手達によるオペラ・デュエット曲をお届けします～

― 休憩 15分 ―

●校歌合唱
オーケストラの華やかな伴奏で校歌を元気に歌いましょう！！

君も未来のマエストロ♪オーケストラの指揮を体験♪

●指揮者体験コーナー
ビゼー　／歌劇「カルメン」より　前奏曲

●共演コーナー（下記の７曲から共演希望曲を１曲選択）
オーケストラと一緒に演奏してみよう！！

A．吹奏楽・金管バンド等との共演の場合
・ウィルソン　／76本のトロンボーン
・ヤン・ヴァンデルロースト／アルセナール
・スーザ　／星条旗よ永遠なれ

B．合唱共演の場合
・杉本　竜一　／ビリーヴ
・久石　譲　／君をのせて
・村井　邦彦　／翼をください
・松井　孝夫　／マイ バラード

オーケストラと子供たちによる夢の共演☆

イギリスの作曲家エドワード・エルガーの代表作で、中間部に出てくる
雄大なメロディはイギリスの第2の国歌としても親しまれています。

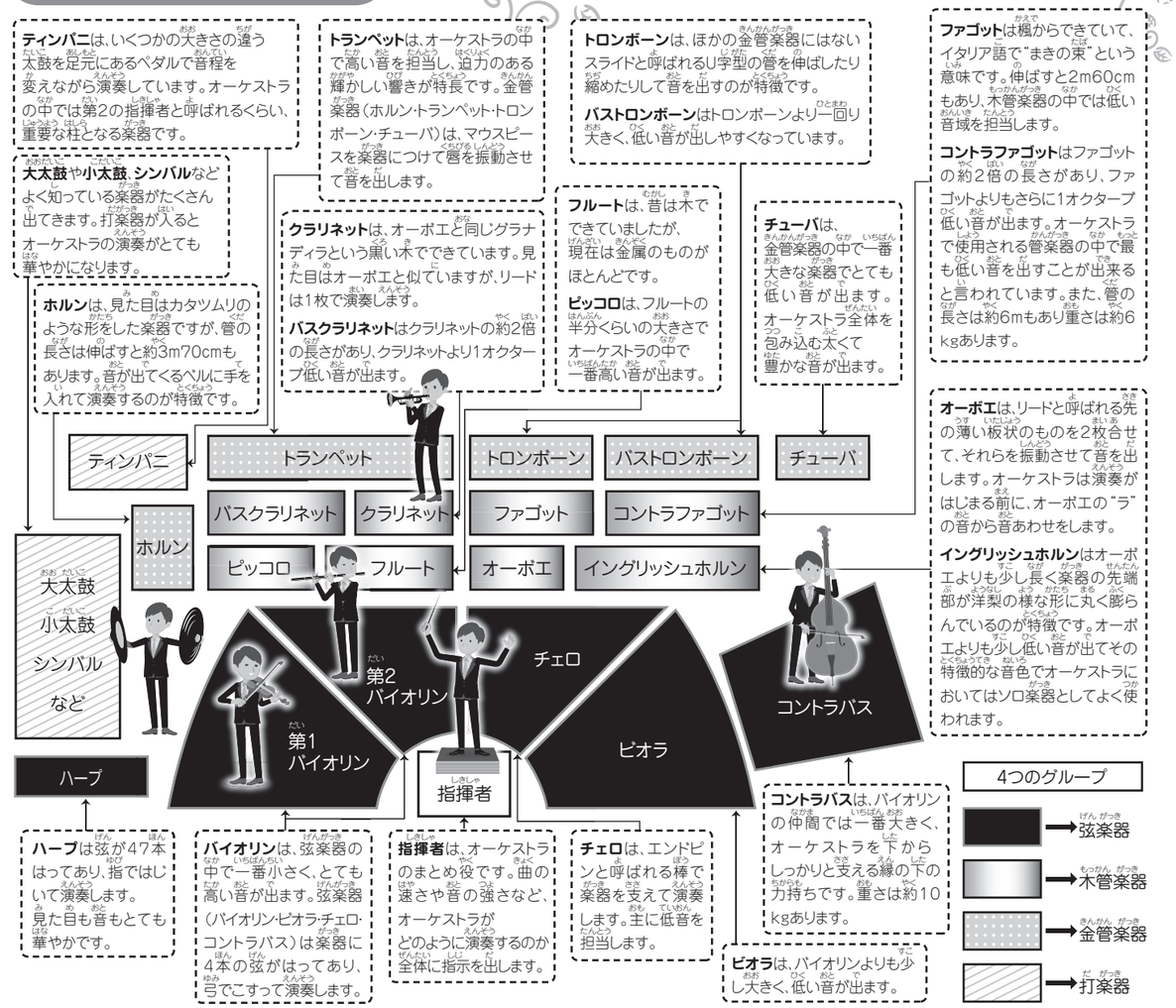
●オーケストラ演奏
エルガー　／行進曲「威風堂々」第1番

アンコールはイタリアの作曲家ジュゼッペ・ヴェルディが作曲した
歌劇「椿姫」より有名な「乾杯の歌」で華やかに演奏会を締めくくります。

◆アンコール
～オペラ歌手達の歌声と共に華やかなアンコール～
ヴェルディ　／歌劇「椿姫」より　乾杯の歌

※ 上記プログラムは一部変更になる可能性もあります。

オーケストラの配置



ティンパニは、いくつかの大きさの違う太鼓を足元にあるペダルで音程を変えながら演奏しています。オーケストラの中では第2の指揮者と呼ばれるくらい、重要な柱となる楽器です。

大太鼓や**小太鼓**、**シンバル**などよく知っている楽器がたくさん出てきます。打楽器が入るとオーケストラの演奏がとても華やかになります。

ホルンは、見た目はカタツムリのような形をした楽器ですが、管の長さは伸ばすと約3m70cmもあります。音が出てくるベルに手を入れて演奏するのが特徴です。

トランペットは、オーケストラの中で高い音を担当し、迫力のある輝かしい響きが特徴です。金管楽器（ホルン･トランペット･トロンボーン･チューバ）は、マウスピースを楽器につけて唇を振動させて音を出します。

クラリネットは、オーボエと同じグラナディラという黒い木でできています。見た目はオーボエと似ていますが、リードは1枚で演奏します。

バスクラリネットはクラリネットの約2倍の長さがあり、クラリネットより1オクターブ低い音が出ます。

トロンボーンは、ほかの金管楽器にはないスライドと呼ばれるU字型の管を伸ばしたり縮めたりして音を出すのが特徴です。

バストロンボーンはトロンボーンより一回り大きく、低い音が出しやすくなっています。

フルートは、昔は木でできていましたが、現在は金属のものがほとんどです。

ピッコロは、フルートの半分くらいの大きさでオーケストラの中で一番高い音が出ます。

チューバは、金管楽器の中で一番大きな楽器でとても低い音が出ます。オーケストラ全体を包み込む太くて豊かな音が出ます。

ファゴットは楓からできていて、イタリア語で“まきの束”という意味です。伸ばすと2m60cmもあり、木管楽器の中では低い音域を担当します。

コントラファゴットはファゴットの約2倍の長さがあり、ファゴットよりもさらに1オクターブ低い音が出ます。オーケストラで使用される管楽器の中で最も低い音を出すことが出来ると言われています。また、管の長さは約6mもあり重さは約6kgあります。

オーボエは、リードと呼ばれる先の薄い板状のものを2枚合せて、それらを振動させて音を出します。オーケストラは演奏がはじまる前に、オーボエの“ラ”の音から音あわせをします。

イングリッシュホルンはオーボエよりも少し長く楽器の先端部が洋梨の様な形に丸く膨らんでいるのが特徴です。オーボエよりも少し低い音が出てその特徴的な音色でオーケストラにおいてはソロ楽器としてよく使われます。

ハープは弦が47本はってあり、指ではじいて演奏します。見た目も音もとても華やかです。

バイオリンは、弦楽器の中で一番小さく、とても高い音が出ます。弦楽器（バイオリン･ビオラ･チェロ･コントラバス）は楽器に4本の弦がはってあり、弓でこすって演奏します。

指揮者は、オーケストラのまとめ役です。曲の速さや音の強さなど、オーケストラがどのように演奏するのか全体に指示を出します。

チェロは、エンドピンと呼ばれる棒で楽器を支えて演奏します。主に低音を担当します。

コントラバスは、バイオリンの仲間では一番大きく、オーケストラを下からしっかりと支える縁の下の力持ちです。重さは約10kgあります。

ビオラは、バイオリンよりも少し大きく、低い音が出ます。

ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団　The College Operahouse Orchestra

「大阪音楽大学ザ･カレッジ･オペラハウス」の専属管弦楽団として、1988年4月に組織された。定期演奏会は2019年11月で56回となった。ザ･カレッジ･オペラハウス主催オペラ公演の管弦楽を担当。また発足当初より学生の研究、学習をサポート。学外では1999年ザ･カレッジ･オペラハウスの引っ越し公演として、東京文化会館と滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールにおいて黛敏郎《金閣寺》の管弦楽を担当。この公演を含む多彩な演奏活動が認められ、2000年第20回音楽クリティック･クラブ賞を受賞。以降も多くのオペラの成功に貢献している。2005年9月新国立劇場における「地域招聘公演」第1回として松村禎三《沈黙》の管弦楽を担当、公演は大きな反響を呼んだ。2005年10月ザ･カレッジ･オペラハウスでの《沈黙》および2011年10月の20世紀オペラ･シリーズ、B.ブリテン《ねじの回転》の公演では文化庁芸術祭大賞を受賞。2013年同シリーズ、B.ブリテン《ピーター･グライムズ》の公演では第22回三菱UFJ信託音楽賞を受賞し、1997年ザ･カレッジ･オペラハウスにおける黛敏郎《金閣寺》の公演での第6回三菱信託音楽賞受賞に続く快挙を果たした。さらに2014年10月の同シリーズ、鈴木英明《鬼娘恋首引》およびB.ブリテン《カーリュー･リヴァー》の公演は、狂言と能を題材にした内容と上質な演奏が高く評価され3度目の文化庁芸術祭大賞を受賞。2015年創立100周年記念オペラ公演、G.ヴェルディ《ファルスタッフ》の公演では文化庁芸術祭優秀賞を受賞。以上、数々の受賞に貢献している。

名誉指揮者に飯森範親、山下一史、チャン･ユンスン、正指揮者に大勝秀也、牧村邦彦を擁している。公益社団法人日本オーケストラ連盟準会員。《オペ管》の愛称で親しまれている。

オフィシャル･ホームページ:https://www.daion.ac.jp/campus/opera/opera-orchestra/
ツイッター:https://twitter.com/ohorchestra
フェイスブック:https://www.facebook.com/operahouseorchestra/
YouTube:https://www.youtube.com/channel/UC2ra5QQCh41CVJVcu7247Sg

Ⅵ 令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野，種目（該当する**種目**に○を付してください。）

分野	種目
【音楽】	合唱，オーケストラ等，音楽劇
【演劇】	(児童劇)，演劇，ミュージカル
【舞踊】	バレエ，現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽，人形浄瑠璃，邦楽，邦舞，演芸

申請する区分に，○を付してください。　(A区分のみ)・ A区分とB区分の両方 ・ C 区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)　あ り ・ (な し)

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)
(1) 公演の実施時期が重複しても，複数の企画を実施可能
(2) 公演の実施時期が重複しなければ，複数の企画を実施可能
(3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
(4) その他(　　)

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	ゆうげんがいしゃ　げきだんあとむ 有限会社　劇団あとむ		
代表者職・氏名	代表取締役　秋山京子		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 1-4-18 稲穂ビル 202 (JR 高田馬場駅・地下鉄東西線早稲田駅)		
電話番号	TEL03-6380-2852	ＦＡＸ番号	FAX03-6380-2853
ふりがな 公演団体名	ゆうげんがいしゃ　げきだんあとむ 有限会社　劇団あとむ		
代表者職・氏名	代表取締役　秋山京子		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 1-4-18 稲穂ビル 202 (JR 高田馬場駅・地下鉄東西線早稲田駅)		
制作団体設立年月	1984年　1　月		
制作団体組織	役　職　員 代表取締役　秋山京子 取締役 楠定憲・小嶋京子・大場寿子	団体構成員及び加入条件等 ◎ 構成員 劇団員 20名（公演班15名 演出部2名 制作2名 総務 1名)◎ 加入条件 研究生を経る	
事務体制の担当	専任 ・ (他の業務と兼任)	本事業担当者名	秋山京子
経理処理等の監査担当の有無	(有) ・ 無	経理責任者名	秋山京子

制作団体沿革	１９８４年１月、演出家関矢幸雄氏を創造リーダーに、クニ河内氏を音楽監督に迎え発足。『想像力の涵養こそ、生きる力に繋がる』という信念のもとに、ジャンルにとらわれず自由な発想を以て、舞台劇であり、音楽劇であり、人形も使うという、作品づくりをしています。 作品は、「厚生労働省社会保障審議会推薦児童福祉文化財」・推薦・特別推薦です。
学校等における公演実績	◎『あとむの時間はアンデルセン』 小学校 394 校 ◎デンマーク公演６都市１７ステージ ◎『あとむの時間はアンデルセン～遊びバージョン～』小学校 483 校 児童館 220 館 ◎『気のいいイワンと不思議な小馬』 小学校 301 校 ◎『あとむのお話コンサート』小学校 95 校 ◎『走れメロス』小学校　35 校
特別支援学校における公演実績	養護学校・特別支援学校 『あとむの時間はアンデルセン～遊びバージョン～』38 校 特別支援学校は各校、人数(50 人～300 人)・学年(小学生～高校生)差違があります。 ・障害の違いは、全員車椅子・盲・聾の障害が多い・知能障害、等々非常に多様です。 たいていの学校は先生方や付き添いの方々が多人数で見守っていられます。 各学校の違いによって、先生方とよく相談して、ワークショップも本公演も客席も工夫します。先生の希望により、台本を送り、手話通訳の方を付けることも何度もありましたが、 たいていの場合、本番中にまもなく通訳を止めておられました。 通訳を見ず、舞台の表現＝「展開・手話等を含めたうごき」を観て、子ども達が解っている、楽しんでいると、先生方が実際に認識して下さいます。 支援学校のこどもたちは特に、みんな音楽が好きで、ハーモニーが好きです。 ハーモニーは音楽だけでなく、おしばいは全部ハーモニーですから、音楽いっぱいで語り紡ぐお芝居は、気に入ってくれていると、確信しています。 一切電気音(マイク・電子楽器)を使わない生の音・音楽も大きな評価を得ています。

参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	㊒ ・ 無
		申請する演目の DVD または WEB 公開資料	㊒ ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	https://youtu.be/khcU0h98G7I ダイジェスト版＋本編
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID:なし PW:なし
	A の提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:

公 演 ・ ワークショップの内 容　　【公演団体名　有限会社　劇団あとむ　】

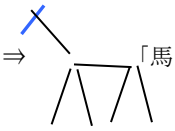
対　　象	小学生（ 低学年 ・ 中学年 ・ 高学年 ） ・ 中 学 生
企画名	あとむの素劇ミュージカル SUGEKI
本公演演目 原作／作曲 脚　　本 演出／振付	『あとむの時間はアンデルセン～遊びバージョン～』 原作　　H. C. アンデルセン 脚本　　秋山英昭・関矢幸雄 構成・演出　関矢幸雄 音楽　　クニ河内 美術　　有賀二郎　　公演時間（ 70 分）

著作権		制作団体が所有	○	制作団体以外が所有する事項が含まれる	有	（制作団体以外が所有する事項が含まれる場合）許諾の有無

演　目　概　要	☆ **構成・あらすじ 《 音楽劇 》9人の妖精がお話を運ぶ** ① **劇『パンをふんだ女の子』** 靴を汚さないよう、ぬかるみにパンを置いて渡ろうとした女の子インゲル。 沼の底に沈み、地獄まで堕ちます。インゲルを救えるのは、誰なのか・・？ ② **子どもたち参加『 アニメイムで遊ぼう 』** まず、アニメイムのユニークなパフォーマンス、遊び、子どもたちが参加します。 ③ **劇『父さんのすることはみんなよし』** 要らない馬を、何かいいものと取り換えようと、父さんは市場に出かけます。 いろいろなものに取り替えていき、ついには腐ったリンゴになっちゃった。 さあ、家で待つ母さんはどうするか。ほんとうの値打ちとは？
演目選択理由	**アンデルセンの、弱者に焦点をあわせた人生観、価値観が、童話を通し、楽しく、優しく子どもの心に届くように、ユニークで斬新な表現、工夫を重ねた作品です。** **＜アニメイム＞**棒とボールと輪っかを使い、複数の人数で、空中に、瞬時に動物や風景を描く手法。人が息を合わせて、ひとつの「もの」を創り、命を吹き込む、関矢幸雄演出オリジナルの想像遊びを盛り込みました。 **＜アカペラコーラス＞** ３声～５声のハーモニーで、台詞、歌、擬音、すべて生の声で、演じます。音楽は多様であること、人間の身体能力の可能性は無限であることを、伝え、感じてもらいます。 **＜手話＞** 手話は、記号ではなく、意味を伝える美しい動きとして、より力強く語りかけます。効果的であり、魅力的な表現のひとつであることを伝えます。
児童・生徒の共演，参加又は体験の形態	【アニメイム】で遊ぶ　共演は演目概要 ② の「遊び」の部分で、舞台に出て貰い、即興の呼吸を体験。自由な発想のきっかけを呼び起こします。 劇団員とともに、棒とわっかとボールで、動物や、物の形をつくってみます。 海の波動や、ものの連動など、大勢で伝えていき、息を合わせて動かします。
出　　演　　者	織田晴光　林　大介　原田邦治　野口 徹　楠 定憲 三浦美穂子 京本幸子 高橋由布子 黒木幸枝　藤石夏菜

公演出演予定者数（1公演あたり）	出 演 者:　10　名 ス タ ッ フ:兼務 合　　計:　10　名	機 材 等 運搬方法	積載量　2　t 車 長　5　m 台 数　1　台

【公演団体名　有限会社 劇団あとむ 】

<table>
<tr><td>公演に当たっての会場条件</td><td>実施条件等確認書①をご確認ください。</td></tr>
<tr><td>会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安</td><td>
※午前開演の場合　目安は、午前 10 時 30 分からの概ね2時限内で可能です。
<table>
<tr><td>到着</td><td>仕込み/リハーサル</td><td>本公演</td><td>内休憩</td><td>撤去/積込</td><td>退出</td></tr>
<tr><td>7:30</td><td>7:30～10:30</td><td>10:50～12:00</td><td>無し</td><td>13:00～14:30</td><td>15:00</td></tr>
</table>
※午後開演の場合 時間の目安は、午後の2時限内で可能です。
<table>
<tr><td>到着</td><td>仕込み/リハーサル</td><td>本公演</td><td>内休憩</td><td>撤去/積込</td><td>退出</td></tr>
<tr><td>9:00</td><td>9:00～12:00</td><td>13:00～</td><td>無し</td><td>15:以降～</td><td>17 時</td></tr>
</table>
※　前日仕込み(有 ・ (無)) 会場設営の所要時間(3 時間程度)
※午前中の対応も可能ですが、基本は午後公演となります。
</td></tr>
<tr><td rowspan="2">児童・生徒の参加可能人数</td><td>ワークショップ</td><td>1回の人数は、全員が実に触り、動くには理想は３０人～５０人
例・1時限ずつ、2回（５０人×２回＝１００人）の実施が可能です。</td></tr>
<tr><td>本公演</td><td>フロア客席に続けて学校舞台も客席に使用の場合500人</td></tr>
<tr><td>ワークショップ実施形態及び内容</td><td colspan="2">
《アニメイム》
○ 棒、ボール、輪をつかった造形を手遊びから、表現へ繋げます。
つくりかたの発想を児童、先生方に、提案・指導します。
○ 音楽も、動きから自然に生まれるリズムや、曲想を楽しむ、解放された音楽にふれる機会にします。
○ 体験する児童だけでなく、体育・総合教育の時間にも相応しい内容です。
○ 全校生徒多数の場合は、学校の舞台に一部生徒を選出参加の形で可能です。
☆90 ㎝の棒 6 本 ＋45 ㎝の棒1本で ⇒  「馬」になります。3人～4人で持って繋ぎ、動かし歩かせたり、乗ってみたりします。
</td></tr>
<tr><td>ワークショップ実施形態の意図</td><td colspan="2">【ひとつのものを複数の人でつくる時、相手へのおもいやりこそが必要だ】を、伝えます。
【想像する楽しさ⇒かたちにする面白さ】を伝えます。
【身近にあるもので遊べる・考える・工夫する】ことを面白いと感じるようにしたいです。
【大勢で遊ぶ・なにかをする】を、楽しいと感じてもらいます。</td></tr>
<tr><td>特別支援学校での実施における工夫点</td><td colspan="2">◎ 特別支援学校では、生徒の体力など可能な参加状況を把握し、相談の上、
多様なプログラムから自在に撰び、組むことが可能です。
客席も各校独自にプランをたて設置します。</td></tr>
<tr><td>実施可能時期</td><td colspan="2">実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</td></tr>
</table>

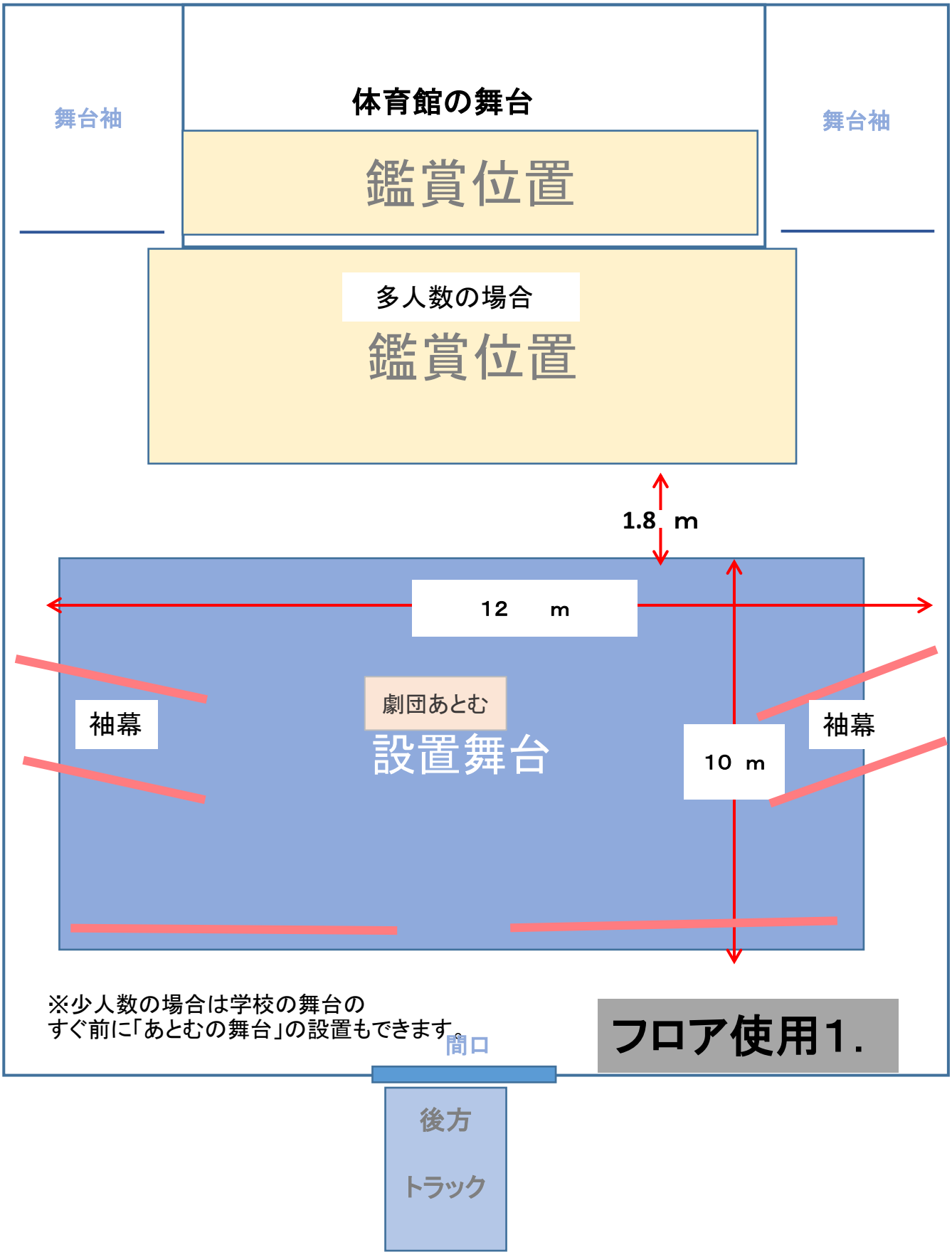
【令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	405	分野	演劇	種目	児童劇	ブロック		区分	A区分
公演団体名	有限会社　劇団あとむ				制作団体名	有限会社　劇団あとむ			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数＊	1室	条件	体育館に近い1室を希望します。				
搬入について	可	来校する車両の大きさと台数＊			2tトラック　1台	バン　1台			
	可	来校する車両の内，横づけが必要な車両の大きさ			2tトラック　長さ5m　幅2m　高さ　3m				
	可	搬入車両の横づけの要否＊			要　但し　対応可能です				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離＊			問わない				
	可	搬入経路の最低条件			雨天時は、屋根のある経路を望みます。				
		理由			道具類の水濡れを避けたい為。				
	可	設置階の制限＊			エレベーターの設置等があれば2階以上も可				
	可	搬入間口について 単位：メートル	幅	1．8m	高さ	1．8m			
WSについて	可	参加可能人数		児童全員が物に触れ動く為には理想は1回30人。(2回で60人)					
	可	学年の指定の有無＊		なし	指定学年＊	なし			
	可	所要時間の目安 単位：分		1回1校時×2回　又は1回で2校時（休憩10分）					
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安を御参照ください。					
	可	鑑賞可能人数		フロア客席に続けて学校舞台も客席に使用の場合500人					
	不可	舞台設置場所＊		フロア					
	可	舞台設置に必要な広さ 単位：メートル	幅	12m	奥行	10m	高さ	指定なし	
	―	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保＊	不要					
	―		舞台袖スペースの条件＊	不要					
	―		緞帳＊	不要	バトン＊	不要			
	可	遮光(暗幕等)の要否＊		要	理由	舞台照明の効果の為。 完全遮光でなくとも可。			
	―	ピアノの調律・移動の要否	指定位置へのピアノの移動＊	不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。				
	―		ピアノの事前調律＊	不要					
	可	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況＊	格納されていれば可					
	可	公演に必要な電源容量		100A　60Aでも可　※主幹電源の必要容量					
	その他特記事項								
	可	あとむの舞台設置は多人数の場合は学校の舞台も客席としての使用を許可戴きたいです。							
	可	少人数の場合は図と同様の設置でも、逆の設置（学校舞台の前にあとむの舞台）でも可能です。							

会場図面(表記単位:メートル)



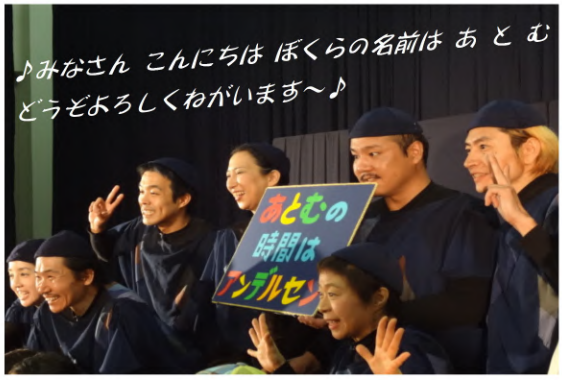
搬入間口について	幅	1.8m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの要否		要　但し対応可能です		
横づけができない場合の搬入可能距離		問いません。		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

あとむの時間は 遊びバージョン アンデルセン

本番の日の体育館・あとむの舞台と客席の様子

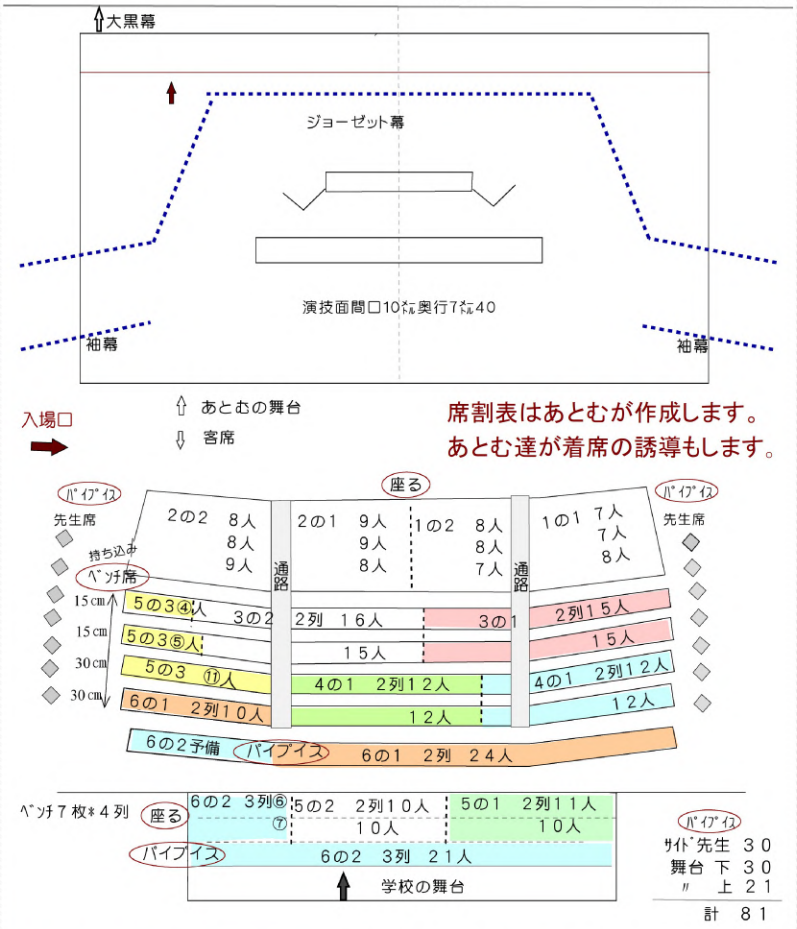
開演間近の風景です。入場した子どもたちは、まずびっくり！
歓声があがります。体育館間口いっぱいのあとむの舞台です。



あとむの時間は 遊びバージョン アンデルセン

体育館見取り図. 席割表

主催　○市立Ｔ小学校
期日令和元年　月　日　開演１０時５０分
遊Version　開場１０時４０分



席割表はあとむが作成します。
あとむ達が着席の誘導もします。

※入場は各クラス身長順1列でお入り下さい。
※当日客席は微調整の場合があります。

『学校のステージも観客席に』

←外側四角の輪郭を体育館全体と見て下さい。
客席は学校の舞台も使い、スロープ状に作ります。
この席割図は約250名・6段階のスロープ。
☆上演時間は70分、休憩無し。10名編成。
仕込時間は（1F）約3時間。撤収は1時間

『学校のステージも観客席に』

ベンチ・照明器財は持ち込みです。

笑顔、笑顔、 *《thank you！》*

劇団 あとむ SINCE 1984
〒169-0051　東京都新宿区西早稲田1-4-18　稲穂ビル202
TEL 03-6380-2852　FAX 03-6380-2853
URL http://www.atomw.co.jp E-Mail atomw@pop12.odn.ne.jp

音楽劇 あとむの時間は 遊びバージョン アンデルセン

子どもにも大人にも、楽しい時、悲しい時、さびしい時があるものです。そんな人々のお話を、アンデルセンはたくさん童話や物語にかきました。「色んなことがあるけど、人々が元気で生きていけるように」と。
歌もいっぱい、アニメイムもいっぱいの楽しいお芝居を、みなさんへおくります。

”アニメイム”ってなに？

”アニメイム”というのは演出家関矢幸雄氏の考案によるもので「アニメーション」と「パントマイム」からの造語です。身近にある棒とボールと輪という単純なものをつかって、みんなのみている前で空間に風景や動物の絵を描いていきます。
さあ、動物たちも、風景も、動き出しますよ！

we are atomic wonder's

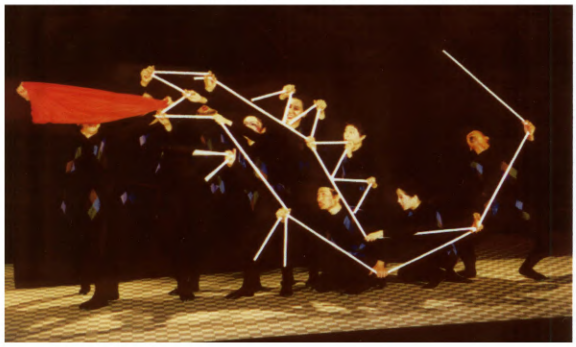
ものがたりは？

はじめのお話は◆『パンをふんだ女の子』

綺麗だけれど生意気でわがままなインゲル。
靴を汚したくないためにぬかるみにパンを置き、ふんで渡ろうとしたのですが、沼の底に沈み、果ては地獄まで堕ちていく。インゲルを救ったのは、誰･･･？

つづいて ◆『アニメイムで遊ぼう！』

さあ、アニメイムで遊ぼう！
“輪くぐり” “ネズミレース”の参加ゲーム、元気な子出ておいで！



棒とボールと輪っかで、
空中にアニメイム！
動物たちのオンパレードだ。

棒とボールと輪で遊ぶアニメイム！

さあ、
何の絵ができるかな？
カメとウサギ、ダチョウ、
キリン、カニ、ゾウ、
ライオン、
そしてみんなの好きな怪獣が、
舞台せましと走り回る！

おしまいのお話は
家でいらなくなった馬を、なにかいいものととりかえようと、出かけたとうさん。途中、色々なものにとりかえていき、最後はくさったリンゴに･･･？
さあ、家で待つ母さんはどうするか！

劇団 あとむ 〒169-0051 東京都新宿区西早稲田1-4-18 稲穂ビル202 TEL 03-6380-2852 FAX 03-6380-2853
URL http://www.atomw.co.jp E-Mail atomw@pop12.odn.ne.jp

Ⅵ 令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野，種目（該当する**種目**に○を付してください。）　　B区分（令和2年度採択 延長）

分野	種目
【音楽】	合唱，オーケストラ等，音楽劇
【演劇】	(児童劇)，演劇，ミュージカル
【舞踊】	バレエ，現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽，人形浄瑠璃，邦楽，邦舞，演芸

申請する区分に，○を付してください。　　Ａ区分のみ　・(Ａ区分とＢ区分の両方)　・　Ｃ区分

複数申請の有無（該当する方に○を付してください。）　　あ り　・(な し)

複数の企画が採択された場合の実施体制（該当する選択肢のいずれかに○を付してください。）
（1）公演の実施時期が重複しても，複数の企画を実施可能
（2）公演の実施時期が重複しなければ，複数の企画を実施可能
（3）提案したいずれか1企画のみ実施可能
（4）その他（　　）

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	ゆうげんがいしゃひとみざ 有限会社ひとみ座		
代表者職・氏名	代表取締役　倉正人		
制作団体所在地 （最寄り駅・バス停）	〒211－0035 神奈川県川崎市中原区井田3－10－31（東急東横線「元住吉」駅）		
電話番号	044－777－2225	ＦＡＸ番号	044－766－0249
ふりがな 公演団体名	にんぎょうげきだんひとみざ 人形劇団ひとみ座		
代表者職・氏名	代表　中村孝男		
公演団体所在地 （最寄り駅・バス停）	〒211－0035 神奈川県川崎市中原区井田3－10－31（東急東横線「元住吉」駅）		
制作団体設立年月	1964年　4月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役　倉正人 取締役　中村孝男・田坂晴男 甲斐勝行・石川哲次 監査　税理士法人昴星　岩田克夫	（1）団体構成員　計56名 劇団員44名、団友8名、嘱託4名 （2）加入条件　ひとみ座研究所を卒業後入団	
事務体制の担当	(専任)・　他の業務と兼任	本事業担当者名	取締役 石川哲次
経理処理等の監査担当の有無	(有)　・　無	経理責任者名	経理 宇野かよ

<table>
<tr><td>制作団体沿革</td><td colspan="3">昭和23年「劇団ひとみ座」を鎌倉市で創立、翌年「人形劇団ひとみ座」に名称変更をする。小学校の芸術鑑賞教室、幼稚園・保育園での鑑賞会、全国ホールでのツアーなど、人形劇の専門劇団としての活動を展開する。

川崎市に本拠地を移し、昭和39年に「有限会社ひとみ座」を設立。同年、NHK テレビ人形劇「ひょっこりひょうたん島」が放映開始、人形美術・製作・操演の全てを担当する。
昭和58年に神奈川県文化賞と川崎市文化賞を受賞。他これまで作品での受賞多数。
かわさき市民プラザ人形劇まつり、いいだ人形劇カーニバルの立ち上げに参加、地域を人形劇で結びつける活動をプロデュース、分野全体の発展に寄与する活動を展開する。
平成17年より日生劇場プロデュースの人形劇ミュージカルに、出演・人形美術及び製作で参加。これまで12作品の公演に関わり、令和元年度は「ムーミン谷の夏まつり」に参加、日生劇場を含む全国9カ所での公演を実施予定。

平成18年・21年・24年に、創立60周年記念シェイクスピア三部作を公演(「リア王」新国立劇場、「マクベス」俳優座劇場、「テンペスト」全労済ホール／スペース・ゼロ)。平成28年度より4年間連続で文化庁舞台芸術創造活動活性化事業の年間活動支援団体として採択継続中。平成30年度には、「まっぷたつの子爵」県民共済みらいホール公演、「どろろ」川崎市アートセンター公演を創立70周年記念事業として実施した。</td></tr>
<tr><td>学校等における公演実績</td><td colspan="3">首都圏を中心に全国の小学校での巡回公演を、創立以来当劇団の中心的事業として、多彩な作品を制作・公演。例年200～300公演を実施。
平成30年度は、学校独自の事業に加えて、各市町村の教育委員会等主催による事業、僻地支援を趣旨とする日本児童青少年演劇協会主催による事業にも参加。
～平成30年度学校公演実績(本事業を除く)～
「弥次さん喜多さんトンちんカン珍道中」 61校89公演
「ズッコケ時間漂流記」 38校59公演
「岸辺のヤービ」 37校41公演
「美女と野獣」 22校35公演</td></tr>
<tr><td>特別支援学校における公演実績</td><td colspan="3">徒歩圏内に川崎市立中原養護学校があり、公演実績はもちろん、劇団訪問(町探検・職場体験等)やワークショップなどを含めた日常的な交流を実施。

他、川崎市立田島養護学校、川崎市立川崎養護学校など、主に神奈川県内の養護学校で多数の実績あり。障害の度合いに応じたプログラムを企画して対応する。

令和元年度文化芸術による子供育成総合事業では、栃木県立足利中央特別支援学校で公演を予定。対面を含む準備や打ち合わせを行っている。</td></tr>
<tr><td rowspan="7">参考資料の有無</td><td rowspan="4">A</td><td>申請する演目のチラシパンフレット等</td><td>(有) ・ 無</td></tr>
<tr><td>申請する演目の DVD または WEB 公開資料</td><td>(有) ・ 無</td></tr>
<tr><td>※公開資料有の場合 URL</td><td>DVD を提出します。</td></tr>
<tr><td>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</td><td>ID:
PW:</td></tr>
<tr><td rowspan="3">A の提出が困難な場合</td><td>今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料</td><td>有 ・ 無</td></tr>
<tr><td>※公開資料有の場合 URL</td><td></td></tr>
<tr><td>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</td><td>ID:
PW:</td></tr>
</table>

公 演 ・ ワークショップの内 容　　【公演団体名　人形劇団ひとみ座】

対　　象	小学生(低学年 ・ 中学年 ・ 高学年)　・　中 学 生
企画名	大江戸人形喜劇「弥次さん喜多さんトンちんカン珍道中」
本公演演目 原作／作曲 脚　　本 演出／振付	大江戸人形喜劇「弥次さん喜多さんトンちんカン珍道中」 原案／十返舎一九「東海道中膝栗毛」 脚本／佃典彦(劇団Ｂ級遊撃隊)　演出／山本コーゾー 人形美術／伊東亮　舞台美術／田坂晴男・本川東洋子 音楽／やなせけいこ　音響／田辺正晴　照明／石川哲次　公演時間(　100　分)
著作権	○ 制作団体が所有　　制作団体以外が所有する事項が含まれる　　(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合)許諾の有無
演　目　概　要	本作は「弥次さん喜多さん」で知られる、江戸時代に書かれた『東海道中膝栗毛』の人形劇作品です。映画や舞台など様々なジャンルで知られる二人の冒険譚を、小学生対象の人形劇作品として、平成26年度に文化庁トップレベルの舞台芸術創造事業採択で制作、平成27年度より全国の小学校や公立文化施設にて巡演、ここまで累計500ステージの上演を重ねてきました。 **～二人の楽しい珍道中を通して　生きることの素晴らしさを伝える～** 原案の『東海道中膝栗毛』は、旅行を題材にした大江戸コメディーです。当時は、街道や宿場町が整備され、庶民の間にも徒歩旅行が広まり始めた時代でした。本作のテーマであり、今も旅行の定番として生き続ける「お伊勢参り」がブームとなったことは、戦国時代の後に訪れた天下泰平の世で、庶民が「明日生きていられるだろうか」から「明日をどうやって豊かに生きよう」と考えられるようになった証でもありました。 そんな世の中だからこそ、弥次さんと喜多さんは幾度となく大失態を演じながらも、気にせず元気に旅を続けることが出来ます。今日の失敗より明日の成功を素直に思い描ける主人公達の物語を通して、たった一度の失敗に折れてしまいがちな現代の子供達に、生きることの素晴らしさを伝えていきます。 **～庶民の文化『伝統芸能』に触れながら　自分の住む地域の魅力を再発見する～** 歌舞伎・講談・お囃子など、日本には全国各地に様々な形で伝統芸能が生き続けています。今の児童にとって堅苦しいと捉えられがちなそれらも、当時を生きた人々にとっては身近な文化でした。そしてそれらの芸能は、たくさんの人が集まる場所で行われる、地域の人と人をつなぐコミュニケーションの潤滑油のような役割を果たしていました。だからこそ各地域の特色が伝統芸能には強く表れていて、一人の世界で遊びが完結してしまうスマホやゲームにはない魅力が溢れています。 本作には、様々な伝統芸能のパロディーが登場します。弥次さん喜多さんの愉快な旅路を彩るたくさんの魅力的な芸能を通して、児童がこの国の文化芸術の礎である伝統芸能を気軽に楽しむと同時に、自分の住んでいる地域の芸能や歴史を再発見する機会を作り出していきます。

	～あらすじ～ 江戸に住む弥次さんと喜多さんは、まんじゅうの大食い大会で起こした大失敗で、江戸を逃げるように離れることになる。それでも逃げるだけではつまらないと、当時大流行していたお伊勢参りをするために、西へ向かって徒歩旅行に出る。 小田原で五右衛門風呂の入り方がわからず下駄を履いたまま入浴して浴槽を壊したり、大井川を自力で渡ろうとして大迷惑をかけたり、台詞も覚えず歌舞伎の興行に出演したりと、二人の行く先々では必ず大騒動が起こるが、二人はその度にピンチを切り抜けていく。 そんな中、夢敗れて故郷に帰ろうとする力士や、全国を行脚する旅一座、二人を執拗に追い回す役人など、二人には旅で出会った仲間が出来る。仲間達の手を借りながら、やがて辿り着いた伊勢神宮では、全員で旅の成功を祝う。
演目選択理由	本作は、平成30年度人形劇団ひとみ座の小学校公演数最多作品で、初演以来大変高い評価を得てきました。 その理由の一つは、「生きることの素晴らしさ」と同時に、「誰もが豊かに生きることの出来る社会と価値観」が強調された本作の内容です。弥次さん喜多さんがどんなに失敗しても周囲から許容される、そんなゆったりとした価値観が本作の背景として表現されています。これから益々多様な価値観が交錯する時代を生きる児童にとって、あらゆる人や生き方を受容する『社会包摂』の理念は、今非常に重要なテーマの一つです。 そしてもう一つの理由は、「自分の住む地域の魅力を再発見する楽しさ」です。物語としては、日本橋(東京)から伊勢(三重)までの主人公達の旅路を演じますが、その途中で【ご当地シーン(弥次さん喜多さんが何故か実施校地域にやってくる場面)】が挿入されています。

	ワークショップでは、人形劇の人形を遣う、観客に自分の意思が伝わるように表現するなどの、人形劇の基礎的体験のほかに、「自分の住む地域の特長について考える」作業がポイントとなってきます。 日本の大きな課題の一つに『地方創生』が挙げられますが、「地元を愛する児童を育む」ことは各地域の発展に必要不可欠な要素です。何も知らなければ地元に愛着も湧きません。本作を通して、地域の歴史や文化に楽しみながら触れる機会を作り出していきます。 地元への愛情を基盤としながら、同時に他地域の多様な文化を楽しむことをテーマとして扱っている本作は、本事業に非常に相応しい作品だと考えています。
児童・生徒の共演，参加又は体験の形態	**～共演する内容～** 実施校地域を舞台とする【ご当地シーン】が児童の共演する場面です。 児童は「ご当地に住む江戸時代の子供」の役を人形を遣って演じます。ご当地の特色(芸能・お祭り・歴史・名産・自然など)について、児童は弥次さん喜多さんに、次々とクイズ形式で尋ねていきます。他所から来た弥次さんと喜多さんは答えを間違えてしまいますので、児童がその解説をしていきます。 このクイズや答えは、ワークショップを通して各校毎に完全にオリジナルの内容を作っていきます。児童と先生と講師で「地域の特長」について知恵を出し合い、そこから生まれた台本を使って共演場面を作り上げていきます。 **～その他の体験する内容～** 各実施校と時間や人数などの調整が必要ですが、終演後の児童から出演者への質問コーナー、舞台の裏側を覗くバックステージツアーなどを積極的に実施しています。また、実施校の希望に応じて、共演参加をする児童との給食交流も実施することで、生の舞台芸術ならではの「人と人との出会い」を大事にしていきます。
出　演　者	来住野正雄・齋藤俊輔・小林加弥子・勝又茂紀・西田由美子・日比英理子・田川陽香 蓬田雅代・女部田麻緒

公演出演予定者数 （1公演あたり）	出 演 者: 9 名 スタッフ: 1 名 合計: 10 名	機材等 運搬方法	積載量　4 t 車 長　8 m 台 数　1 台

【公演団体名　人形劇団ひとみ座】

<table>
<tr><td>公演に当たっての会場条件</td><td>実施条件等確認書①をご確認ください。</td></tr>
<tr><td>会場設営の所要時間（タイムスケジュール）の目安</td><td>前日仕込み（ 有 ・(無) ） 会場設営の所要時間（ 3時間程度 ）
<table>
<tr><th>到着</th><th>仕込み
／リハーサル</th><th>本公演</th><th>内休憩</th><th>撤去</th><th>退出</th></tr>
<tr><td>8:30</td><td>8:30～11:30(仕込)
11:30～12:10(リハ)</td><td>13:00～14:40</td><td>10 分</td><td>15:00～17:00</td><td>17:00</td></tr>
</table>
※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時 30 分からの概ね2時限分程度です。</td></tr>
<tr><td>児童・生徒の参加可能人数</td><td>ワークショップ：100名まで。
本公演：500名まで。500名を超える場合は、2公演実施可。</td></tr>
<tr><td>ワークショップ実施形態及び内容</td><td>○事前に製作する人形の材料・見本・作り方をお渡ししますので、ワークショップ当日までに1人につき1体の人形を製作していただきます。作るキャラクターは「実施校地域に住む江戸時代の子供」です。
人形は、製作方法や操作方法は容易ですが、人形劇特有のユニークな動きを最も出しやすい平面人形です。

○ワークショップ当日の実施内容
①生徒が遣う人形の操作方法などを指導します。
②次に講師が児童や先生からアイデアを募りながら、地元の特色を挙げていきます。次にその中から面白いものを選び、他所から旅をして来る弥次さんと喜多さんへのクイズを考えて、その答えと解説を作ります。
③セリフを児童に割り振り、共演場面の練習をします。</td></tr>
<tr><td>ワークショップ実施形態の意図</td><td>○住んでいる地域の魅力を再発見する
行動範囲の狭い児童は、地元と他地域を比較する機会に恵まれないため、地元の歴史や文化を敢えて魅力として感じる機会は少ないものです。しかし、お祭りなどの地域の伝統行事・特産品・自然風土などに、児童は意識せずとも触れながら生活をしています。本事業の実施により、児童が地元の魅力を再発見する契機を作り出していきます。

○人形美術デザインの体験
児童が人形を作る意義は、工作面の体験のみならず、「どうすれば江戸時代の子供に見えるだろうか」を考える作業にあります。これは、人形劇にとって非常に重要な美術デザインの体験です。

○舞台でコミュニケーションを作り出す体験
人形操作は、「もの」を使った表現です。主観的に演じるだけではなく、客観的な視点から「観客からどう見えているのか」を自然と意識することになります。受け手(観客)のことを考えながら発信する体験は、児童のコミュニケーションの基礎力を高めていきます。自分たちが考えた地元の魅力を、他の生徒や先生に対して、生き生きとわかりやすく表現するためのコミュニケーションを体験します。</td></tr>
</table>

特別支援学校での実施における工夫点	人形操作や製作が難しい場合を考慮して、より簡単に人形を動かせるための工夫をします。また、児童の近くで出演者が楽器を生演奏するなど、共演参加時の方法や導入に工夫をしていきます。
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。

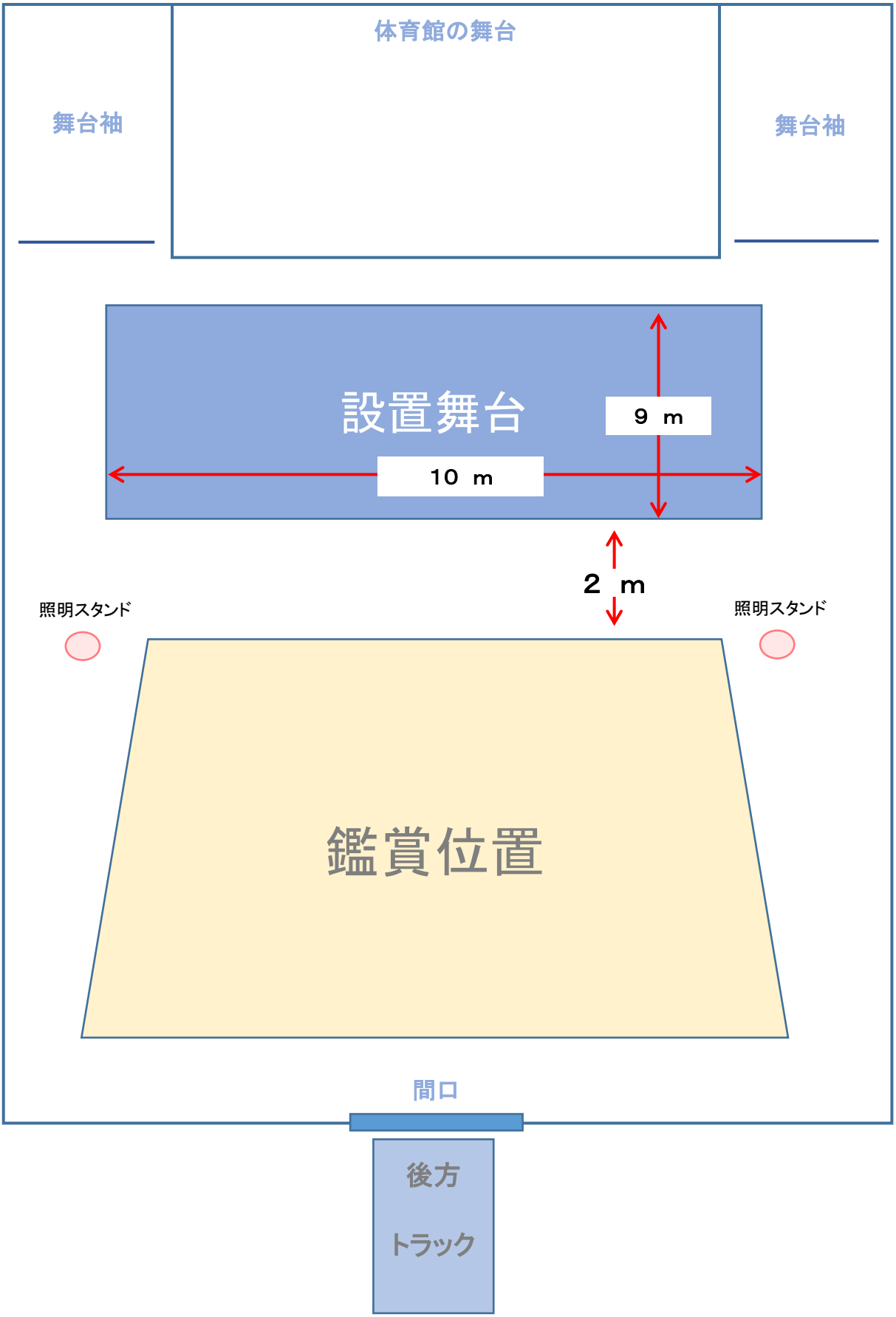
【令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	1604	分野	演劇	種目	児童劇	ブロック	D	区分	B区分
公演団体名	人形劇団ひとみ座				制作団体名	有限会社　ひとみ座			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	―	必要数＊	不要	条件					
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数＊				2tトラック　1台		バン　2台	
	不可	来校する車両の内，横づけが必要な車両の大きさ				2tトラック1台			
	可	搬入車両の横づけの要否＊				要			
	―	横づけができない場合の搬入可能距離＊				問わない			
	―	搬入経路の最低条件				特になし。			
		理由							
	―	設置階の制限＊				問わない			
	可	搬入間口について 単位：メートル	幅	1.8m		高さ	1.8m		
WSについて	可	参加可能人数		100名まで					
	―	学年の指定の有無＊		なし	指定学年＊		なし		
	不可	所要時間の目安 単位：分		学校の授業時間における2時限分					
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。					
	可	鑑賞可能人数		500名まで					
	不可	舞台設置場所＊		フロア					
	不可	舞台設置に必要な広さ 単位：メートル	幅	10m	奥行	9m	高さ	4m	
	―	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保＊	不要					
	―		舞台袖スペースの条件＊						
	―		緞帳＊	不要		バトン＊	不要		
	可	遮光(暗幕等)の要否＊		要	理由	暗幕がない場合、設置することも可。設置方法は要相談。感染拡大防止のため暗幕開放も可。			
	―	ピアノの調律・移動の要否	指定位置へのピアノの移動＊	不要		※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。			
	―		ピアノの事前調律＊	不要					
	可	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況＊	格納されていれば可					
	可	公演に必要な電源容量		50A		※主幹電源の必要容量			
	その他特記事項								

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	1.8m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの要否		要(相談可)		
横づけができない場合の搬入可能距離		指定なし		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

大江戸人形喜劇 弥次さん喜多さん トンちんカン珍道中

大江戸人形喜劇「弥次さん喜多さんトンちんカン珍道中」の舞台

YAJI-SAN & KITA-SAN

二人の愉快な旅路を彩る　庶民の娯楽「伝統芸能」の数々

歌舞伎に講談、太鼓に三味線、果ては皿回しまで、そしてもちろん人形芝居！
伝統芸能には人生を豊かにするための先人の知恵と力が詰まっています。
「堅苦しい」ものではなく「お気軽に」根付いてこそ意味のある芸能。
その場にいる人達を結び付けるコミュニケーションの潤滑油です。
この国の各地域にあるたくさんの魅力に触れながら、
みんなでわいわい楽しみましょう。

ゆっくりのんびり道中記 それそのものがメッセージ

失敗しても何のその。マイペースに旅を続ける弥次さん喜多さん。
生きているだけで、私たちはかくも人生を豊かにできるのだと、
多くの子どもたちに感じてほしいと思っています。

あらすじ

まんじゅうの大食い大会で起こした
大失敗から、江戸を追われてしまった
弥次さんと喜多さんは、逃げるだけではつまらないと今流行りの
お伊勢参りに向かう。二人の行く先々、必ず起こるとんでもない
大騒動。さらに二人を執拗に追い回す役人の桃右衛門、傷心の
相撲取り鬼の山なども加わり、
伊勢までの大珍道中がはじまる――
歌舞伎に講談、太鼓に三味線、
果ては皿回しに人形芝居。
昔の楽しいことが満載で贈る、
二人のトンちんカンな珍道中！

日本橋

相撲取り〝鬼の山〟とまんじゅうの大食い大会に負けた〝弥次さん喜多さん〟。
これをきっかけに、役人の〝栗山様〟に追われてお伊勢参りに向かうことに…

大井川

『箱根八里は馬でも越すが、
越すに越されぬ大井川』を
弥次喜多は自力で渡る！？

桑名

駿河

百二十二連敗の鬼の山、駿河の実家でおっ母と
感動の再会と思いきや・・・

伊勢

やっと伊勢に到着！
色々あって感極まる一同。みんなそろって伊勢音頭！
伊勢音頭：荷物にならない伊勢土産と呼ばれ、伊勢から各地に作り替えられ普及しています。

Ⅵ 令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野，種目（該当する**種目**に○を付してください。）

分野	種目
【音楽】	合唱，オーケストラ等，音楽劇
【演劇】	児童劇，(演劇)，ミュージカル
【舞踊】	バレエ，現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽，人形浄瑠璃，邦楽，邦舞，演芸

申請する区分に，○を付してください。　(A区分のみ)・ A区分とB区分の両方 ・ C 区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)　(あ り)・ な し

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)
(1) 公演の実施時期が重複しても，複数の企画を実施可能
(2) 公演の実施時期が重複しなければ，複数の企画を実施可能
(3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
(4) その他(　　)

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	ゆうげんがいしゃげきだんとうきょうげいじゅつざ 有限会社劇団東京芸術座		
代表者職・氏名	取締役社長 / 北原　章彦		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒177-0042 東京都練馬区下石神井 4-19-11 (西武新宿線「上井草」駅)		
電話番号	03-3997-4341	ＦＡＸ番号	03-3904-0151
ふりがな 公演団体名	げきだんとうきょうげいじゅつざ 劇団東京芸術座		
代表者職・氏名	劇団代表 / 﨑田　和子		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒177-0042 東京都練馬区下石神井 4-19-11 (西武新宿線「上井草」駅)		
制作団体設立年月	1959 年 2 月		
制作団体組織	役職員 劇団代表　﨑田　和子 取締役社長　北原　章彦 制作部長　嶋田　みどり	団体構成員及び加入条件等 構成員総数／ 67 名(演出部/演技部/制作部) 演劇養成機関の卒業生を対象に入団審査を実施。 また、演劇未経験者を対象とした「実習生制度」を設けています。	
事務体制の担当	(専任)・ 他の業務と兼任	本事業担当者名	北原　章彦 鈴木　健一朗
経理処理等の監査担当の有無	(有)・ 無	経理責任者名	筒井　正彦

制作団体沿革	劇団東京芸術座は、1959年に新協劇団(代表/村山知義)と中央芸術劇場(代表/薄田研二)が合同し、結成されました。同年 4 月、作・演出/村山知義　主演/薄田研二「終末の刻」で旗揚げして以来、東京公演 105 作品/アトリエ公演 41 作品を上演しています。 また結成以来、全国の演劇鑑賞会・おやこ劇場子ども劇場・小中高等学校の芸術鑑賞会等の全国巡演も行なっています。2019 年 2 月に創立 60 年を迎えました。 H21 年度／「本物の舞台芸術体験事業採択(作品「Challeng・ed-遠い水の記憶-」) H23～25 年度／「次代を担う子供の文化芸術体験事業」採択(作品「赤ひげ」) H26～29 年度／「文化芸術による子供の育成事業」採択(作品「夏の庭-The Friends-」) R1～R2 年度／「文化芸術による子供育成総合事業」採択(「Challeng・ed-遠い水の記憶-」)
学校等における公演実績	劇団東京芸術座創立の翌年、1960 年(昭和 35 年)から情操教育の一助となる演劇を全国の中学生・高校生に届けるため、名作劇場公演として全国巡演を始めました。 60 年間で 36 演目を上演し、中学校・高等学校での上演数は業界ﾄｯﾌﾟｸﾗｽの実績です。 〔これまでの主な上演作品〕 1960～「うぬぼれ兎」 / 1967～「検察官」 / 1979～「翼は心につけて」 / 1981～「赤ひげ」 / 1986～「にんじん」・「12 人の怒れる男たち」 / 1989～「冒険者たち」 / 2000 年～「夏の庭」 / 2006～「GO」 / 2011～「おれはなにわのライオンや」 / 2017～「蟹工船」 / 2020～「未来」・「Challeng・ed -遠い水の記憶-」 1972 年「どん底」 1974 年「ヴェニスの商人」 1978 年「あゝ野麦峠」 1985 年「ふぉん・しぃほるとの娘」
特別支援学校における公演実績	2009 年度 / 山形盲学校・山形聾学校　作品/「12 人の怒れる男たち」 2010 年度 / 長浜養護学校(滋賀県)　〃 長浜北星高等養護学校(滋賀県)　〃 2016 年度 / 帯広盲学校　作品/「夏の庭」(H28 年度文化芸術による子供の育成事業) 2018 年度 / 甲南高等養護学校(滋賀県)　作品/「Challeng・ed -遠い水の記憶-」 三雲養護学校石部分教室(滋賀県)　〃 2019 年度 / 長浜北星高等養護学校(滋賀県)　作品/「Challeng・ed -遠い水の記憶-」 長浜養護学校(滋賀県)　〃

参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	(有) ・ 無
		申請する演目の DVD または WEB 公開資料	(有) ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	http://www.tokyogeijutsuza.co.jp
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:
	A の提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:

公 演 ・ ワークショップの内 容　　**【公演団体名　劇団東京芸術座 】**

対　　象	小学生（ 低学年 ・ 中学年 ・ 高学年 ） ・ 中 学 生
企画名	みんなでチャレンジ 創造体験！
本公演演目 原作／作曲 脚　　本 演出／振付	「Challeng･ed(チャレンジド) -遠い水の記憶-」 原作 / 神品正子 脚本･演出 / 印南貞人 作曲 / 川本哲 照明 / 矢口雅敏 音響 / 中嶋直勝 衣裳 / 山田靖子 平成 21 年度本物の舞台体験事業採択 令和元年度 文化芸術による子供育成総合事業採択 令和 2 年度 文化芸術による子供育成総合事業採択 公演時間（ 100 分）
著作権	○ 制作団体が所有　／　制作団体以外が所有する事項が含まれる　／　（制作団体以外が所有する事項が含まれる場合）許諾の有無
演 目 概 要	200m 平泳ぎ日本記録保持者のタカハシは、ロンドン･オリンピック代表選考会を兼ねた日本選手権でまさかの 3 位に終わりオリンピック出場を逃してしまう。失意のうちに競技を離れ将来を模索していた時、ある盲学校校長から一通の手紙が届く。「是非、生徒たちに水泳を教えてほしい―。」校長の熱意に押され盲学校の門を叩いたタカハシ。そこで出会ったのは、「悪意なき同情」に傷つき、反発しながら生きる生徒たちだった。 タカハシの指導のもと各々の課題と向き合い成長する水泳部の生徒たち。彼らはタカハシに問う。「先生はどうして大会に出ないんですか―。」タカハシは自身の人生を問い直すため、学んできた事を生徒たちに伝えるために再び日本選手権にエントリーする。自分たちの代表として挑戦するタカハシの姿に生徒たちは――。 立ちはだかる困難を乗り越えようと奮闘する若者たちの姿を、水泳というスポーツをとおして爽やかに描く“挫折と復活”の物語。 観劇された生徒さんからは、スポーツ（部活）に対する情熱的な思いをはじめ、障がい者への関心や社会の中で自身のあり方を見つめ直す感想が多数寄せられています。
演目選択理由	・ 平成 17 年～平成 21 年の 5 年間、全国の中学校･高等学校を対象に巡演。 ・ 「平成 21 年度 本物の舞台芸術体験事業」採択 ・ 平成 29 年より再巡演を開始。現在全国巡演中。 タイトル「Challenged」の語源は「挑戦することを運命づけられたもの」。「すべての人間は生まれながらに自分の課題に向き合う力を与えられている。その課題が大きければ大きいほど、向き合う力もたくさん与えられている」という哲学に基づいた言葉です。 トップアスリートと盲学校の生徒たちが、乗り越えるべき“今の自分”に真摯に立ち向かっていく姿を水泳というスポーツをとおして描いた本作は、同年代の子どもたちに大きな感動と共感を呼ぶことができる演目と考えています。

<table>
<tr><td>児童・生徒の共演，参加又は体験の形態</td><td colspan="3">＜ダンスシーン + お芝居 2 シーンへの参加＞
1）ダンスシーン → 幕開きの水泳をモチーフにした集団ダンスシーン
（出演者／ 3 名 ～ 最大 10 名）
2）シーン 1 → 高橋先生が下宿している豆腐屋さんを訪ねる隣人たち役
（出演者／ 3 名 ～ 7 名）
3）シーン 2 → 白杖を使用しての下校シーン。盲学校生徒役
（出演者／ 3 名 ～ 7 名）
＊本番前にバックステージツアーも可能です。</td></tr>
<tr><td>出　演　者</td><td colspan="3">崎田和子　手塚政雄　鈴木健一朗　松並俊祐　平田正治　脇秀平　関根学　萩原悠太
小田原美保　佐藤アズサ　吹田真実　八木澤賢　今井香澄</td></tr>
<tr><td>公演出演予定者数
（1公演あたり）</td><td>出 演 者: 13 名
ス タ ッ フ: 6 名
合　計:　19 名</td><td>機 材 等
運搬方法</td><td>積載量　4 t
車長　8.5m
台数　1 台</td></tr>
</table>

【公演団体名　劇団東京芸術座】

公演に当たっての会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。
会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安	前日仕込み((有)・無) 会場設営の所要時間(6～7 時間程度)

到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
7 時 50	8 時～13 時	13 時～15 時	10 分	15 時～17 時	17 時 30

※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時 30 分からの概ね2時限分程度です。
前日 1～2 時間程度の仕込時間が必要です。条件により異なります。
小学校での上演、又は換気が必要な場合は、10 分間の休憩を設けます。

児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	最少 2 名～全体 WS を含んで 80 名程度
	本公演	最大 800 名(共演人数は最少 2 名～最大 30 名程度)

ワークショップ実施形態及び内容

1) オープニングシーン「アスリートダンス」

⇒ 本編幕開きの水泳をモチーフにしたダンスパフォーマンス。レースに臨むアスリートの心情、緊張感、躍動を表現します。(出演者 3 名～10 名)

	2） シーン1「小宮山豆腐店」 ⇒ 主人公の下宿先「小宮山豆腐店」を訪れる商店街の隣人たちを演じます。登場人物の職業、性格などを自分たちで創りあげ表現します。（出演者 3 名～7 名） 3） シーン 2「ザ・下校」 ⇒盲学校に通う生徒たちの、夏休み直前の下校場面。劇中の台詞を自分たちで考えて、オリジナルのシーンを創ります。（出演者 3 名～7 名） 4） 出演者以外の児童生徒へのワークショップ ⇒参加人数等相談の上、可能な限り学校の希望に応じた内容で実施します。
ワークショップ実施形態の意図	＜前半のウォームアップシアターゲーム ＋ 後半の各シーン創造＞ ① 冒頭に全員で簡単なゲームを行なうことで緊張をほぐし、コミュニケーションを取り易い雰囲気を創作ります。またゲームを通して自分を表現し、仲間の意見を受け入れ、出演場面を創造する下地を体験します。 ② 各シーン出演者がグループに分かれてワークショップを実施。シーンごとに児童生徒の皆さんに独自のアイデアを加えてもらうことで、積極的な参加が可能になり、一つの場面を皆の力で創ることを楽しんでもらいます。 ③ 最後に創り上げたそれぞれの場面を皆で振り返ります。出来栄えはもちろん、表現したことが観客に伝わっていたか？やりかたの良し悪しを明らかにし本番までによりよくなる方法を考えてもらいます。 ④ 失敗を恐れないポジティブな思考力。誰とでも協力できるコミュニケーション力。自分らしく堂々と表現する力。自発的にアクションを起こす行動力。柔軟な発想力。こうしたことを児童生徒の皆さんに体験していただくことを目標にワークショップを行ないます。
特別支援学校での実施における工夫点	○ 事前に台本とDVDを配布しビデオ鑑賞 ○ 実施できること、できないことを事前に学校と打ち合わせ、児童生徒の実情に合わせたカリキュラムを組みます。 ○ 上演前にバックステージツアーを行ない、舞台装置に触れていただきます。
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。

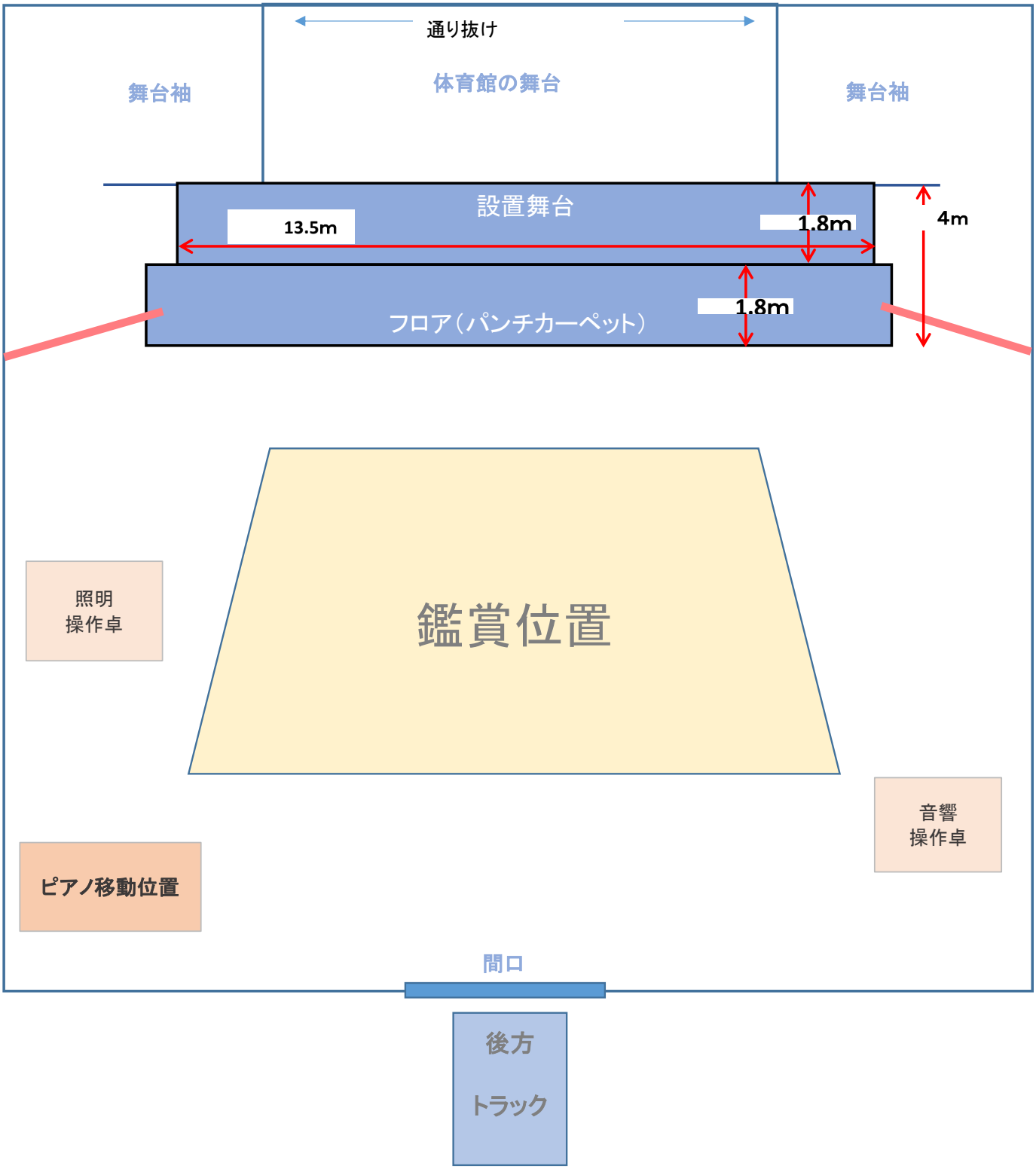
【令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	517	分野	演劇	種目	演劇	ブロック		区分	A区分
公演団体名	劇団東京芸術座			制作団体名	有限会社　劇団東京芸術座				

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数＊	2室	条件	スタッフ・キャスト19名が入れる部屋と、女性着替え用の部屋が必要です。				
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数＊			4tトラック　1台	中型バス　1台			
	可	来校する車両の内，横づけが必要な車両の大きさ			4tトラック				
	可	搬入車両の横づけの要否＊			要				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離＊			20m以内				
	可	搬入経路の最低条件			・台車が使用できる通路が助かります。 ・屋根があると助かります。				
		理由			照明、音響等、重量物の搬入が必要であるため				
	可	設置階の制限＊			エレベーターの設置等があれば2階以上も可				
	不可	搬入間口について 単位：メートル	幅	1.8m	高さ	1.8m			
WSについて	可	参加可能人数			最少2名～最大80名程度				
	可	学年の指定の有無＊		あり	指定学年＊	小学校の場合、高学年			
	可	所要時間の目安 単位：分			100分程度				
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安を御参照ください。				
	可	鑑賞可能人数			最大800名				
	不可	舞台設置場所＊			ステージ上・フロアの両方				
	可	舞台設置に必要な広さ 単位：メートル	幅	13.5m	奥行	4m	高さ	5m	
	不可	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保＊		要				
	可		舞台袖スペースの条件＊		袖に荷物がない状態				
	―		緞帳＊	不要	バトン＊	不要			
	可	遮光(暗幕等)の要否＊		要	理由	照明・音響効果向上のため			
	可	ピアノの調律・移動の要否	指定位置へのピアノの移動＊		要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。			
	―		ピアノの事前調律＊		不要				
	可	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況＊		格納されていれば可				
	可	公演に必要な電源容量		100A	※主幹電源の必要容量				
	その他特記事項								

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	1.8m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		20m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

開催日程表

開催日	開催校	地元主催者

劇団東京芸術座 プロフィール

1959年、新協劇団と劇団中央芸術劇場が合同して東京芸術座が結成されました。
劇団東京芸術座は創立以来、リアリズム演劇の創造と普及の運動を続けています。
私たちは演劇というものは生活からかけ離れたものではなく、
生活に根ざした社会の財産であると考えています。
私たちが劇団をつくり結集しているのは、演劇をもってより良い社会をつくるためです。

〒177-0042　東京都練馬区下石神井4−19−11
TEL 03(3997)4341　FAX 03(3904)0151
E-mail tg@tg-za.com　URL http://www.tokyogeijutsuza.co.jp

知っていますか？　～10月1日は「国際音楽の日」です～

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることとしました。
日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

文化芸術による子供育成総合事業
－巡回公演事業－

東京芸術座
演劇公演

原作／神品正子　脚本・演出／印南貞人

Challeng-ed（チャレンジ・ド）
－遠い水の記憶－

「文化芸術による子供の育成事業　－巡回公演事業－」

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。
事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。

文化庁

Challeng•ed【挑戦するチャンスを与えられた者たち】

これは、過去形ではなく受身形です。
障害を持つ人をあらわす新しい言葉で、正式には〈The Challenged〉と言います。
「すべての人間には生まれながらに自分の課題に向き合う力が与えられている。
しかもその課題が大きければ大きいほど、向き合う力もたくさん与えられている。」
という哲学的な考えに基づき、数年前から欧米で使われ始めています。

“Challeng･ed”は障害を持つ人のためだけの言葉ではないのかもしれません。
立ち止まらずに前を向いて進もうと私たちに呼びかける言葉でもあります。
「自分の使命や課題に挑戦するチャンスを与えられた者」
としてハンディキャップや困難を跳ね返し、
あらゆる可能性を求めて成長して欲しいという願いのこもった言葉です。

スタッフ

美術／幡野 寛
音楽／川本 哲
照明／矢口 雅敏
効果／中嶋 直勝
衣裳／山田 靖子
振付／熊谷 章
舞台監督／神谷 信弘
照明OP／ステージハットリザウルス
効果OP／たかの きよこ

あらすじ

ロンドン・オリンピックの平泳ぎ種目でメダルを期待されていた高橋は、代表選考会で予期に反して三位にとどまり、オリンピック出場のチャンスを逸する。
競技者としての将来を思い悩んでいたところ、盲学校・校長から、保健体育の教師として奉職し、「視覚障害の生徒たちに水泳を教えて欲しい」と懇願される。
傷つきやすい心を持った生徒たちは「悪意なき同情」に反発する。
心の奥底に挫折感を秘めた高橋は、自分の学んだことを生徒たちに伝えるために再び日本選手権にエントリーする。
高橋に生徒らが共感し信頼を寄せはじめる……。

視覚障害者の水泳競技は、特に健常者とルールの違いはありません。国内も国際も競泳が主体で自由、平泳、背泳、バタフライとメドレー及びリレーがある。アメリカでは、飛込みも（高さ90cm）競技として実施している。
リレーの時に体にタッチして合図を送る方法と壁を知らせる為に合図を出せる事が認められています。指示棒（合図棒）と呼ばれる、ゴールやターンの時に体を叩いてプールの壁が近い事を知らせる道具がある。

出演者

長島校長 崎田和子

原教務主任 鈴木健一朗

高橋洋信 脇 秀平

林 豊 松並俊祐

中京学園教師 八木澤賢

小宮山豆腐店店主 手塚政雄

小宮山豆腐店おかみ 小田原美保

鈴木一郎 関根 学

松野亮子 今井香澄

増田 恵 印南唯

木村宅也 上野山達宣

篠崎宏子 佐藤アズサ

中京学園生徒 横沢勲生

前を向いて歩きましょう！

バルセロナ・オリンピック200m平泳ぎ金メダリスト　岩崎 恭子

２回のオリンピック出場のあと、私にはそれぞれ辛い時期がありました。バルセロナで金メダルを取った後の中学３年から高校１年の二年間の記憶が私にはありません。無意識のうちに辛い記憶を消し去ってしまったのです。私は何も変わっていないのに、私を取り巻く環境がすべて変わってしまい、私のことで家族にも迷惑を掛けてしまう「金メダルなんか取らなければよかった」と思い悩みました。

アトランタが終わった後には、精神的に競泳を続けていくことができなくなりました。そんなころ知人の紹介で、愛知県の障害者水泳大会にゲストとして参加させていただく機会がありました（その後も何度か参加しています）。私のまわりに障害を持った人がいなかったこともあり、正直大変ショックを受けました。参加者のなかにはこの子は命がすくないのよと聞かされ、翌年の大会にはその方はいらっしゃいませんでした。

このような経験や「競泳だけが人生じゃないんだよ」ってまわりの人から励まされ助けられたことで、前を向いて歩けるようになりました。

このお芝居の主人公高橋先生は競泳で光るものをもちながらも、オリンピック出場を逃してしまいますが、盲学校の生徒を指導することで高橋先生自身忘れていたことを、生徒によって思い出させてもらいます。オリンピックに出場できなかったことを後ろ向きに引きずることなく、自分の道を見つけ前向きに歩んでいく高橋先生、ハンディキャップに立ち向かう生徒達に心からエールを送りたい。これから私自身もいろんなことで悩んでいくだろうけど、競泳を続けたことで学び得たことで、どんな困難でも絶対に乗り越えられる自信が私にもあります。

観劇される皆さんに私の経験から伝えたいことは、「何かひとつでいいから、自分のやりたいことを見つけてほしい。やりはじめたことを途中で投げ出さないでほしい。」できないから止めてしまえばそこで全て終わってしまいます。続けることで何かが発見できるはず、高橋先生と一緒に前を向いて歩いていきましょう！

東京芸術座
〒177-0042 東京都練馬区下石神井4-19-11　TEL 03(3997)4341　FAX 03(3904)0151
URL：http://www.tokyogeijutsuza.co.jp　E-mail：tg@tg-za.com

Ⅵ 令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野，種目（該当する**種目**に○を付してください。）

分野	種目
【音楽】	合唱，オーケストラ等，音楽劇
【演劇】	児童劇，演劇，ミュージカル
【舞踊】	バレエ，現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽，人形浄瑠璃，邦楽，邦舞，演芸

申請する区分に，○を付してください。　　A区分のみ　・（A区分とB区分の両方）・　C 区分

複数申請の有無（該当する方に○を付してください。）　　（あ り）　・　な し

複数の企画が採択された場合の実施体制（該当する選択肢のいずれかに○を付してください。）

（1）公演の実施時期が重複しても，複数の企画を実施可能　【注釈：令和3年度（1）確定。B 区分

（2）公演の実施時期が重複しなければ，複数の企画を実施可能　採択の場合、令和4年度以降（2）】

（3）提案したいずれか1企画のみ実施可能

（4）その他（　　）

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	ゆうげんがいしゃ おぺらしあたーこんにゃくざ 有限会社オペラシアターこんにゃく座		
代表者職・氏名	代表取締役　萩 京子		
制作団体所在地 （最寄り駅・バス停）	〒214-0021 神奈川県川崎市多摩区宿河原 7-14-1 （最寄り駅・JR南武線「宿河原」駅）		
電話番号	044-930-1720	ＦＡＸ番号	044-930-1721
ふりがな 公演団体名	おぺらしあたーこんにゃくざ オペラシアターこんにゃく座		
代表者職・氏名	代表　萩 京子		
公演団体所在地 （最寄り駅・バス停）	〒214-0021 神奈川県川崎市多摩区宿河原 7-14-1 （最寄り駅・JR南武線「宿河原」駅）		
制作団体設立年月	1988 年 6 月　法人設立 （1971 年 4 月　劇団創立）		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役　萩　京子 **取締役　　大石哲史**	**代表・音楽監督・座付作曲家／萩　京子、 歌役者／40名、制作／7名、事務／2名、経理事務／1名** **加入条件：団体の活動に全面的に参加できることが必要。歌役者はオーディションを、制作や事務は面接を行なう。**	
事務体制の担当	専任　・（他の業務と兼任）	本事業担当者名	**土居　麦**
経理処理等の監査担当の有無	（有）　・　無	経理責任者名	**土居　麦**

制作団体沿革	1966 年に東京芸術大学に発足した「こんにゃく体操クラブ」を母体として、1971 年、オペラ小劇場こんにゃく座創立。日本においてオペラを普及させるために欠くことの出来ない条件として、日本語の明瞭な歌唱表現を追求しながら、小・中・高校生を主な対象とした全国巡回公演を開始。1985 年 4 月にオペラシアターこんにゃく座と改名。1988 年 6 月、有限会社オペラシアターこんにゃく座設立。創立以来、林光（故人）、萩京子作曲のオリジナルオペラを数多く創作、上演している。活動は国内に留まらず、過去 7 ツアー延べ 19 カ国の海外公演も行なっている。 1989 年、ジローオペラ賞特別賞、文化庁芸術祭賞、音楽之友社賞受賞。1997 年、山本安英の会記念基金賞、三菱信託音楽賞受賞。2000 年、『ロはロボットのロ』 の成果により、東京都教育委員会優秀賞、（社）日本演劇協会賞、（財）都民演劇賞の3賞受賞。2014 年、小泉文夫音楽賞受賞。 1998 年より継続して文化庁の現・文化芸術振興費補助金（舞台芸術創造活動活性化事業）に採択される。また本巡回公演事業に 2003 年より継続し採択されている。
学校等における公演実績	**2017～2019 年度の 3 年間において、学校公演は、『銀のロバ』60公演、『タング−まほうをかけられた舌−』57公演（本巡回公演事業以外）、『ロはロボットのロ』6公演（本巡回公演事業以外）、『森は生きている』32公演（本巡回公演事業以外）、『ネズミの涙』46公演、『おぐりとてるて』12公演、「コンサート」7公演の計 220 公演を実施。このほか公文協一般公演や子ども・おやこ劇場、演劇鑑賞会など、旅公演193公演を実施。 『森は生きている』は、1992 年初演以来、小、中、高校、保育園幼稚園など、あわせて823公演を実施。**
特別支援学校における公演実績	**1984 年～2019 年までに計30ステージ、約 4200 名の児童生徒が鑑賞している。 作品は『森は生きている』、『ロはロボットのロ』、『ピノッキオ』など。 その他コンサート企画などの依頼を受け、実施している。**

参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	(有) ・ 無
		申請する演目の DVD または WEB 公開資料	(有) ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	**DVDを提出します**
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:
	A の提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:

公 演 ・ ワークショップの内 容　　**【公演団体名オペラシアターこんにゃく座】**

対　　象	小学生（ 低学年 ・ 中学年 ・ 高学年 ） ・ 中 学 生
企画名	オペラ『森は生きている』
本公演演目 原 作 ／ 作 曲 脚　　本 演 出 ／ 振 付	オペラ『森は生きている』 原作：サムイル・マルシャーク（訳：湯浅芳子）／作曲：林光 台本：林光 演出：眞鍋卓嗣／振付：白神ももこ ※令和3（2021）年2月、新演出版として世田谷パブリックシアターにて初演予定 公演時間（ 110分）

著作権		制作団体が所有	○	制作団体以外が所有する事項が含まれる	有	許諾の有無

演 目 概 要

オペラ『森は生きている』は 1992 年の初演以来 30 年に渡り、こんにゃく座の代表レパートリーとして全国の小・中・高校の芸術鑑賞行事ほか、公文協や各地実行委員会、鑑賞団体などで、およそ1300公演を重ね、子どもから大人まで幅広い年齢層の観客に愛されてきました。【厚生省　中央児童福祉審議会推薦　平成 10 年度推薦文化財】

歌い手 12 人が一月から十二月まで‘月の精’を演じながら、娘、女王、兵士、博士など他の役も担い、一人二役以上を歌い演じます。オーケストラのように重層的で豊かな音楽をピアノの演奏が支え、歌役者のアンサンブルが細やかに、また迫力ある場面の展開を演出しています。‘十二の月の精’と人間たちが織りなすドラマは、ファンタジーでありながら、自然の雄大さと人間の学びを描いた、示唆に富んだ楽しいオペラとなっています。

～ものがたり～

新しい年を迎える大晦日、わがままな女王が四月に咲くマツユキ草がほしいと言い出したために、国中は大騒ぎ。ほうびの金貨に目がくらむ継母のいいつけで、マツユキ草を採ってくるようにと一人の娘が真っ暗な森に追いやられてしまいます。 そこでは十二月（じゅうにつき）の精たちがたき火を囲んで新年を迎える儀式の最中でした。娘の話を聞いた四月の精は、他の月たちに頼んで一時間だけ「時」をゆずってもらいます。娘はマツユキ草を手に入れますが、それを渡された女王は、自らマツユキ草を摘むために吹雪の森へと出かけていきます。しかし、そこで待ち受けていたものは・・・。

演 目 選 択 理 由

1954 年、俳優座・こどもの劇場で「森は生きている」は日本初演されました。その劇中歌を手がけた若き林光は、子どもたちが「十二月（じゅうにつき）の歌」を口ずさみながら帰る姿を見て、作曲という仕事を一生続ける決意をかためたと言います。オペラ『森は生きている』は、戦後の鑑賞文化、特に子どもの鑑賞機会を大切にし、豊かにしてきた本流を継ぐ演目です。2021 年 2 月、この「森は生きている」が新演出版として生まれ変わります。4回目となる新しい装いに、作品の本質は新たな角度で「今」を照射するでしょう。劇団俳優座所属の気鋭の演出家、眞鍋卓嗣氏により、日本演劇界の歴史をも通底に含む作品の魅力が、現代に継がれていくことを証明したいと思います。

ロシア民話を基にした本作は、自然の壮大な美しさ、その自然とともに生きる人間の智慧が、彩り豊かな音楽とともに描かれています。自然の理と対峙する登場人物の姿を通して、子どもたちが自身ならどうするかと思いを重ねる力を、ワークショップや本公演を通じて育み、鑑賞後の学校生活においても本事業の体験が一つの指標となることを願っています。

<table>
<tr><td>児童・生徒の共演，参加又は体験の形態</td><td colspan="3">本公演において全校児童生徒に劇に参加してもらいます。
1／「森へ向かうソリの歌」を歌う場面で、出演者と一緒に演じながら歌います。
2／事前にマツユキ草を児童生徒１本ずつ工作で作ってもらい、マツユキ草が咲く場面で一斉に掲げ、体育館いっぱいの花の野原を演出します。娘役がその野原を歩きながら、子どもたちからマツユキ草を摘んでいきます。
3／アンコール曲として、劇中で歌われる「十二月の歌」を一緒に歌います。
学校の希望により、仕込みバラシの見学や、給食時間を一緒に過ごす工夫をします。</td></tr>
<tr><td>出　演　者</td><td colspan="3">相原友代、山本美佐子、沢井栄次、泉まどか、齊藤路都、武田茂、小川ゆず子、鈴木あかね、冬木理紗、泉篤史、大久保哲（以上オペラシアターこんにゃく座歌役者）、佐山陽規（フリー）、大坪夕美（ピアノ・フリー）
※経歴別紙（No.2　メンバー表）</td></tr>
<tr><td>公演出演予定者数
（1公演あたり）</td><td>出 演 者:　13名
ス タ ッ フ:　6名
合　　計:　19名</td><td>機 材 等
運搬方法</td><td>積載量　４ｔ／２ｔ
車 長　8.4 ｍ／6.5 ｍ
台 数　１台／１台（計２台）</td></tr>
</table>

【公演団体名　オペラシアターこんにゃく座】

<table>
<tr><td>公演に当たっての会場条件</td><td>実施条件等確認書①をご確認ください。</td></tr>
<tr><td>会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安</td><td>＊基本パターン(【午後公演】)
8:00　12:00　13:00 13:15　15:05　16:30
<table><tr><td>到着　搬入　設営　稽古</td><td>昼食</td><td>開場</td><td>公演</td><td>終演
撤去
搬出</td><td>退出</td></tr></table>
＊【午前公演】の場合
7:00　10:15 10:30　12:20　13:20　15:00
<table><tr><td>到着　搬入
設営　稽古</td><td>開場</td><td>公演</td><td>昼食</td><td>撤去　搬出</td><td>退出</td></tr></table>
＊午前公演の場合は、前日に仕込(搬入・設営 3 時間程度)をさせていただく場合があります。
＊参加人数が多く、2ステージ実施する場合は、上記タイムスケジュールの午前公演→午後公演の流れで進みます。
＊開場・開演時刻は目安です。各校の授業時間に合わせ調整します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">児童・生徒の参加可能人数</td><td>ワークショップ</td><td>450名　＊人数が上回る場合は2回に分けての実施を相談します</td></tr>
<tr><td>本公演</td><td>450名　＊人数が上回る場合は2回に分けての実施を相談します</td></tr>
<tr><td>ワークショップ実施形態及び内容</td><td colspan="2">事前に「森へ向かうソリの歌」「十二月の歌」の楽譜と音源を渡し、音楽の授業やホームルームなどの時間に練習、また校内放送などをしていただき、曲に親しんでいただきます。
当日は、本公演で共演する場面の指導を中心に行ないます。
1／劇団紹介をしつつ、劇団名の由来となっている「こんにゃく体操」を行ないます。
2／「オペラ」とはどういうものか、“演劇”と“オペラやミュージカル”の違いは何か、実演をまじえて説明します。
3／本公演で児童生徒に参加してもらう場面が、物語の中でどのような場面なのか、またどのように出演するかなどの説明と、実際に体を動かしながら練習を行ないます。</td></tr>
</table>

ワークショップ実施形態の意図	1／動きが独特で、すぐに真似をしてみたくなる「こんにゃく体操」を導入に行なうことで、初対面の講師と子どもたちとの距離を一気に縮めるねらいを持ちます。かつ、無駄な力を抜きながらまっすぐ立つことを意識した体操から、こんにゃく座が培ってきた日本語を歌う方法を子どもたちに分かりやすく伝え、各自が本来持っている声を引き出す準備運動を行ないます。 2／短いひとつのシーンを、演劇で台詞だけで演じる場合と、オペラやミュージカルで台詞に歌がある場合の両パターン実演し、その違いを解説します。初めて目の当たりにする子も多いであろう“オペラ”への理解を促し、またこの後の時間で実践する、「歌いながら演じる」ことのイメージを膨らませてもらいます。 3／本公演で共演してもらう場面を創作し練習していきます。児童生徒が本公演に参加する意識をしっかりと持ち期待を高めてもらえるように、言葉を添えながら実践していきます。 ①「森へ向かうソリの歌」は、銀色に輝く美しい景色をつぎつぎと後にしながら、ソリが宮殿から森へと向かう様子を歌った楽しい曲（場面）です。子どもたちは歌詞の内容を想像しながら体を弾ませて、出演者と一緒にソリに乗る姿を表現していきます。 ②マツユキ草を咲かせるシーンは、児童生徒ひとりひとりが事前に工作をして作ったマツユキ草を掲げることで会場全体が白い花の野原となる、とても美しい感動的な光景です。本公演では、子どもたちによる白い野原の間を、娘役の出演者がマツユキ草を摘みながら進み、感動を歌います。 ③「十二月の歌」はオペラ『森は生きている』を代表する劇中歌です。大人になっても忘れがたい曲を子どもたちに覚えてもらうことで、本事業での体験を一生の思い出にしてもらいたいねらいがあります。劇中の音程は歌唱技術の未熟な子どもたちには少し高いので、音階を下げ、声を出す楽しさを優先しながらアンコールで一緒に歌えるように練習します。 4／最後に児童生徒（また教師）から、この時間で体験したことに対する質問や意見を受ける時間を設けます。疑問を抱いたことをそのままにせず、また繰り返しの確認を言葉で行なうことで、理解の定着を計ります。
特別支援学校での実施における工夫点	上記と変更なく実施することが可能ですが、事前打ち合わせで学校との相談の上、子どもたちの習熟レベルに合わせて対処し、やりかたを決めていきたいと思います。 基本的な考え方として、特別支援学校（学級）に在籍する子どもたちにも普通学級の子どもたちと同様に舞台芸術に触れる機会を提供できるように工夫していきます。
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。

オペラシアターこんにゃく座
オペラ『森は生きている』　出演予定メンバー表

①相原友代・・・オペラシアターこんにゃく座歌役者。東京芸術大学別科声楽専攻中退後、1988 年入座。『森は生きている』八月・女官長役ほか多数のオペラに出演。

②山本美佐子・・・オペラシアターこんにゃく座歌役者。東京純心女子短大専攻科卒業後、1990 年入座。『森は生きている』十月・女王役ほか多数のオペラに出演。

③沢井栄次・・・オペラシアターこんにゃく座歌役者。洗足学園音楽大学卒業、二期会オペラ研修所マスターコース修了後、2008 年入座。『森は生きている』十一月・兵士役ほか多数のオペラに出演。

④泉まどか・・・オペラシアターこんにゃく座歌役者。武庫川女子大学声楽学科卒業後、2009 年入座。『森は生きている』六月・もうひとりのむすめ役ほか多数のオペラに出演。

⑤齊藤路都・・・オペラシアターこんにゃく座歌役者。武蔵野音楽大学卒業後、2009 年入座。『森は生きている』三月・リス役ほか多数のオペラに出演。

⑥武田　茂・・・オペラシアターこんにゃく座歌役者。明治大学中退後、1980 年～1985 年こんにゃく座に在籍、2010 年に再入座。『森は生きている』一月・総理大臣役ほか多数のオペラに出演。

⑦小川ゆず子・・・オペラシアターこんにゃく座歌役者。東京音楽大学ピアノ科卒業後、2013 年入座。『森は生きている』七月・むすめ役ほか多数のオペラに出演。

⑧鈴木あかね・・・オペラシアターこんにゃく座歌役者。東京芸術大学卒業後、1994 年～2004 年こんにゃく座に在籍、2013 年再入座。『森は生きている』九月・おっかさん役ほか多数のオペラに出演。

⑨冬木理紗・・・オペラシアターこんにゃく座歌役者。東京学芸大学卒業後、2014 年入座。『森は生きている』五月・うさぎ役ほか多数のオペラに出演。

⑩泉　篤史・・・オペラシアターこんにゃく座歌役者。新潟大学卒業後、2015 年入座。『森は生きている』四月・警護隊長役ほか多数のオペラに出演。

⑪大久保哲・・・オペラシアターこんにゃく座歌役者。桐朋学園芸術短期大学芸術科卒業後、2016 年入座。『森は生きている』二月・カラス役。

⑫佐山陽規・・・フリーの俳優。1972 年よりオペラ小劇場こんにゃく座において 13 年間活動。こんにゃく座在籍中のステージ数は 2000 回以上に及び、また退座後も多くの作品に客演している。こんにゃく座以外の舞台では、東宝ミュージカル『レ・ミゼラブル』ジャヴェール役、ミュージカル『ピーター・パン』フック船長役など。2002 年、ニューヨークとワシントンで上演された宮本亜門演出、S・ソンドハイム作曲『太平洋序曲』では米マスコミからも賛辞を得る。現在、桐朋学園芸術短期大学演劇科非常勤講師。

⑬大坪夕美・・・フリーのピアニスト。都立芸術高校を経て桐朋学園大学音楽学部ピアノ科専攻卒業。スペイン・マラガ・コンセルバトリオに入学。その他、ザルツブルグのモーツァルテウム音楽院、ウイーン国立音楽大学での講習会に参加し研鑽を積む。高校２年生の時、ピティナ・コンペティションＦ級銅賞受賞。スペインで、室内楽コンクール２位、奨学金を得て、サンティアゴ・コンポステーラでの国際スペイン音楽セミナーに参加。「アンドレス・セゴビア賞」受賞。帰国後は主にオペラシアターこんにゃく座のピアニストとして全国各地で演奏活動をする。また多くの合唱団のピアニストも務めている。

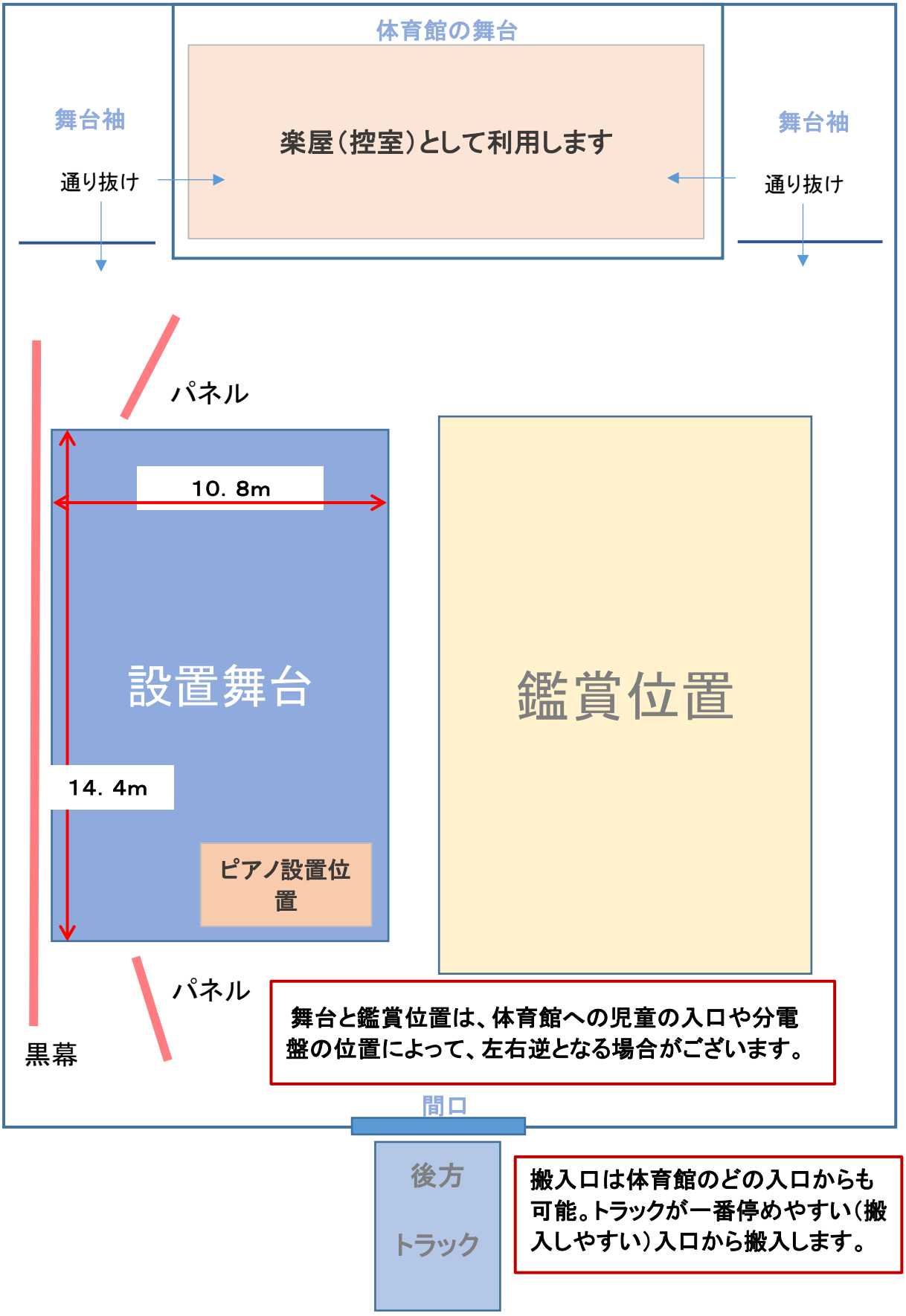
【令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	604	分野	演劇	種目	ミュージカル	ブロック		区分	A区分
公演団体名	オペラシアターこんにゃく座				制作団体名	有限会社　オペラシアターこんにゃく座			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等						
控室について	可	必要数＊	2室	条件	体育館緞帳を閉めステージ上を控室（楽屋）とします。他に昼食時の控室をご用意下さい。			
搬入について	可	来校する車両の大きさと台数＊			4tトラック　1台	2tトラック　1台		
	不可	来校する車両の内，横づけが必要な車両の大きさ			4tトラック（車幅2.3m×車長8.4m×車高3.3m）			
	可	搬入車両の横づけの要否＊			要			
	可	横づけができない場合の搬入可能距離＊			20m以内			
	可	搬入経路の最低条件			・できる限り階段のない経路が望ましい。 ・できる限り屋根のある経路が望ましい。			
		理由			舞台大道具の搬入をするため			
	―	設置階の制限＊			問わない			
	可	搬入間口について 単位：メートル	幅	1.8m	高さ	2.0m		
WSについて	可	参加可能人数		450名程度まで				
	可	学年の指定の有無＊		なし	指定学年＊	なし		
	可	所要時間の目安 単位：分		90分程度				
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安を御参照ください。				
	可	鑑賞可能人数		450名程度まで				
	不可	舞台設置場所＊		フロア				
	可	舞台設置に必要な広さ 単位：メートル	幅	14.4m	奥行	10.8m	高さ	5.4m
	―	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保＊					
	―		舞台袖スペースの条件＊					
	―		緞帳＊		バトン＊			
	可	遮光(暗幕等)の要否＊		要	理由	照明効果を出すため		
	可	ピアノの調律・移動の要否	指定位置へのピアノの移動＊		要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。		
	可		ピアノの事前調律＊		要			
	可	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況＊		格納されていれば可			
	可	公演に必要な電源容量		100A （最低65A）	※主幹電源の必要容量			
		その他特記事項						
	不可	ピアノの状態（調律）が悪い場合は、必ず本公演までに調律をお願いします。						

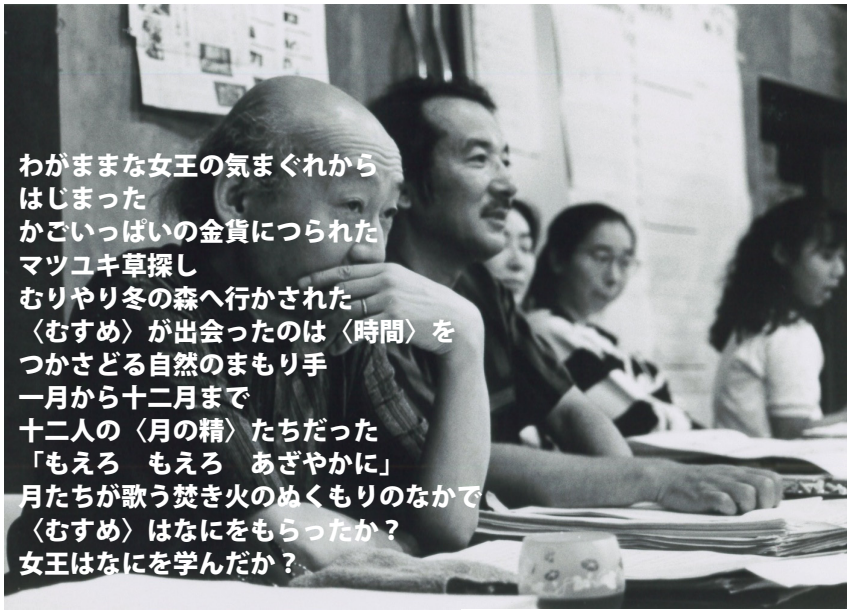
会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	1．8m	高さ	2．0m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		20m		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

オペラシアターこんにゃく座
オペラ『森は生きている』



初演稽古場写真。林光（左）、岡村春彦（右）。1992 年

原作　サムイル・マルシャーク（湯浅芳子訳による）

台本・作曲　林光　演出　眞鍋卓嗣

美術：伊藤雅子　衣裳：山下和美　照明：金英秀　振付：白神ももこ

舞台監督：八木清市　音楽監督：萩京子

オペラ『森は生きている』〈新演出〉

■1992 年初演、2005 年と 2012 年に新演出版改訂を経て、2021 年こんにゃく座の創立 50 周年を記念して、オペラ『森は生きている』がふたたび新しく生まれ変わります！

「森は生きている」はソ連の文学者サムイル・マルシャークによって書かれた子どものためのお芝居です。原題は「十二の月」と言い、1945 年に世界初演されました。

日本ではロシア文学者・湯浅芳子の翻訳により 1954 年 5 月、俳優座劇場の開場記念公演こどもの劇場として日本初演され、このとき「森は生きている」という日本語タイトルが生まれたと言われています。音楽を担当したのは当時まだ 23 歳の林光でした。

その後「森は生きている」は日本各地で公演されるようになり、またそれとは別に、林光は物語のさまざまな場面にマルシャークが書かなかった劇中歌を綴りはじめました。その歌が相当な数にのぼったころ、そろそろ「森」をオペラにしませんか、というこんにゃく座からの申し出を受ける形で、林光は自ら台本を書き、オペラ『森は生きている』を完成させました。

オペラ『森は生きている』は 1992 年こんにゃく座により初演され、以来日本中を駆け巡り、上演回数はすでに 1200 回を超えています。

2021 年こんにゃく座の創立 50 周年を記念し、演出に劇団俳優座の眞鍋卓嗣を迎え、オペラ『森は生きている』がふたたび新しく生まれ変わります。

■オペラ『森は生きている』の魅力をより深め、多くの人に届けていきたい！

オペラ『森は生きている』は一度聞いただけで思わずロずさみたくなるような心躍るメロディや、自然を描写したみずみずしい音楽が、生の歌声とピアノによって表現ゆたかに奏でられます。そして厳しくも温かな 1 月から 12 月の月の精、年若い女王とみなしごの娘、女王の家庭教師である博士、継母と姉娘などが登場し、ものがたりが生き生きと展開していきます。

人間の本質、自然の摂理を内包した奥深い世界を表現していながらも、こどもからおとなまで、世代を超えて一緒に楽しめるところがオペラ『森は生きている』の魅力です。

2021 年新演出公演では、オペラ『森は生きている』のあらたな魅力を最大限に引き出しつつ、「オペラ」や「ミュージカル」を観たことのない子供たちへ届けてまいります。

～ ものがたり ～

新しい年を迎える大晦日、わがままな女王が、四月に咲くマツユキ草がほしいと言い出したため、国じゅうは大騒ぎ。ほうびの金貨に目がくらんだ継母と姉娘のいいつけで、マツユキ草を採ってくるようにと一人のむすめが真っ暗な森に追いやられる。森に分け入ったむすめは、そこで一月から十二月までの月の精たちと出会う。むすめの話を聞いた四月の精は、他の月たちに頼んで一時間だけ「時」をゆずってもらう。冬の森はたちまち春へと季節をかえ、むすめの目の前で一面にマツユキ草が顔を出す。むすめの帰りを待ちかまえていた継母と姉娘はマツユキ草を取り上げ、宮殿の女王の元へ。女王は、自らマツユキ草を摘むために家来たちを引き連れて森へと出かけていく。しかし、そこで待ちうけていたものは…。

これまでのオペラ『森は生きている』

●1992 年

演出：岡村春彦　美術：松野潤　衣裳：八重田喜美子　照明：黒尾芳昭　振付：森田守恒

●2005 年

演出：髙瀬久男　美術：松井るみ　衣裳：出川淳子　照明：中山奈美　振付：新海絵理子

●2012 年

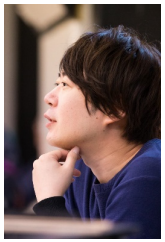
演出：大石哲史　美術：池田ともゆき　衣裳：半田悦子　照明：成瀬一裕　振付：楠原竜也

スタッフプロフィール

台本・作曲◆林光（はやし・ひかる）

1931 年生まれ。長年オペラシアターこんにゃく座芸術監督兼座付作曲家をつとめる。
1953 年に『交響曲ト調』により〈芸術祭賞〉を受賞、1961 年映画「裸の島」（新藤兼人監督）の音楽にたいし〈第2 回モスクワ映画祭作曲賞〉を、1995 年「ヴィオラ協奏曲《悲歌》」により〈第 44 回尾高賞〉を、1998 年にはオペラの作曲活動全般に対し〈第 30 回サントリー音楽賞〉を受賞。
こんにゃく座が初演した主なオペラ作品は、『セロ弾きのゴーシュ』（86）、『吾輩は猫である』（98）、『ねこのくにのおきゃくさま』（11）など多数。
60 年に及ぶ活動の集大成として、2008 年 7 月小学館より『林光の音楽』（CD20 枚+ 書籍 1 巻）が発売された。2012 年1 月 5 日没。

演出◆眞鍋卓嗣（まなべ・たかし）



1975 年生まれ。大学在学中から音楽活動、演劇活動を平行して始め、1998 年に自身のバンドでメジャーデビュー、2001 年まで活動。2002 年俳優座研究所入所。劇団俳優座文藝演出部所属。東京工学院専門学校講師。
TBS 主催「トゥーランドット」（演出・宮本亜門）、東京二期会オペラ「ラ・トラヴィアータ」（演出・宮本亜門）、「オテロ」（演出・白井晃）等の演出助手も務める。
主な演出作品として、「とりつくしま」（劇団俳優座）、「巨人伝説」（劇団俳優座）、「壊れた風景」（名取事務所）、「首のないカマキリ」（劇団俳優座）など。オペラシアターこんにゃく座では、2016 年 2 月公演『Opera club Macbeth』（林光作曲・髙瀬久男台本）、2019 年 2 月公演『遠野物語』（吉川和夫、萩京子、寺嶋陸也共同作曲・長田育恵台本）の演出を務めた。

オペラシアターこんにゃく座とは

オペラシアターこんにゃく座は、〈新しい日本のオペラの創造と普及〉を目的に掲げ、日本語のオペラ作品をレパートリーとするオペラ劇団として、1971 年に創立された。

47 年を超える活動の中で、ことばがよく聞きとれるこんにゃく座のオペラは、音楽的にも演劇的にも高い評価を得ている。また、海外公演も積極的に行なっており、国際交流の面でも実績を積み重ねている。

林光は、1975 年よりこんにゃく座の音楽監督、1997 年より 2012 年に他界するまで芸術監督をつとめた。こんにゃく座のレパートリーは、二人の座付作曲家、林光、萩京子の作曲によるものが多く、代表作に、林光作曲、オペラ『セロ弾きのゴーシュ』、オペラ『森は生きている』、オペラ『変身』、萩京子作曲、オペラ『金色夜叉』、オペラ『ロはロボットのロ』、オペラ『アルレッキーノ』―二人の主人を一度に持つと―などがある。

現在こんにゃく座は、音楽監督・萩京子、専属の歌役者 40 名、制作者 7 名を擁し、東京での主催公演のほかに、一年を通じて全国的に公演を展開し、年間公演数は 200 回を数える。これまで本事業「文化芸術による子供育成総合事業」により、『森は生きている』『ロはロボットのロ』『タング―まほうをかけられた舌―』の3 作品を子供たちに鑑賞いただいている。

Ⅵ 令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野，種目(該当する**種目**に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱，オーケストラ等，音楽劇
【演劇】	児童劇，演劇，ミュージカル
【舞踊】	○バレエ，現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽，人形浄瑠璃，邦楽，邦舞，演芸

申請する区分に，○を付してください。　　○A区分のみ

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)　　あ り　・　○な し

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)
(1) 公演の実施時期が重複しても，複数の企画を実施可能
(2) 公演の実施時期が重複しなければ，複数の企画を実施可能
(3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
(4) その他(　　)

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	いっぱんしゃだんほうじん　ほうむらともいばれえだん 一般社団法人　法村友井バレエ団		
代表者職・氏名	代表理事　　法村　牧		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒543-0052　大阪市天王寺区大道２－５－９(JR 環状線・寺田町駅)		
電話番号	06-6771-6475	ＦＡＸ番号	06-6771-8570
ふりがな 公演団体名	いっぱんしゃだんほうじん　ほうむらともいばれえだん 一般社団法人　法村友井バレエ団		
代表者職・氏名	団長　　法村　牧緒(本名　法村牧)		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒543-0052　大阪市天王寺区大道２－５－９(JR 環状線・寺田町駅)		
制作団体設立年月	1937 年　　4 月		
制作団体組織	役　職　員 **代表理事:法村牧(牧緒)／理事:法村(宮本)東代子、法村圭緒、法村珠里、法村(堤本)麻起子／総務部:森川起美子、宮本誠一／会計監査:東耕　功(税理士)**	団体構成員及び加入条件等 **団員構成:団員 50 名／準団員 30 名 加入の条件:オーディション又は法村友井バレエ学校教師の推薦による**	
事務体制の担当	○専任　・　他の業務と兼任	本事業担当者名	**法村圭緒(チーフ)、片山禎三(サブ)**
経理処理等の監査担当の有無	○有　　・　　無	経理責任者名	**法村　牧**

制作団体沿革	昭和12年設立、大阪・東京に本拠を置く。1983年、法村牧緒が団長に就任。バレエ団・バレエ学校にワガノワシステムを定着させ、優秀な指導陣を擁し、多くの舞踊手を輩出し、日本有数のバレエ団に発展。バレエ団は、自主公演は勿論のこと、(社)日本バレエ協会公演、会館主催公演、親子劇場等の舞台に出演し、又、海外のスター級アーティストをゲストとして日本に招き、国際交流にも務めている。 平成 27 年 3 月、組織を一般社団法人へ変更		
学校等における公演実績	**淀の水高校(1998年)、追手門学院大手前高校(1998年)、狭山高校(1998年)、伊丹高校(1998年)、佐野高校(2000年)、樟蔭高校(1998年、2001年)、上宮太子高校(2003年)、平成19年度～21 年度「本物の舞台芸術体験事業」(2007年、2008年、2009年)、平成22年度、23年度「子どものための優れた舞台芸術体験事業」、平成24年度「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」、平成26年度、27年度、28年度、平成31年度「文化芸術による子供の育成事業」、令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業」 ～巡回公演～**		
特別支援学校における公演実績	**平成19年度「本物の舞台芸術体験」香川県立聾学校／「子どものための優れた舞台芸術体験事業」平成22年度・京都市立呉竹総合支援学校／平成24年度・鹿児島県立鹿児島聾学校／平成26年度「文化芸術による子供の育成事業」大阪市立光陽特別支援学校**		
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	○有　・　無
		申請する演目の DVD または WEB 公開資料	○有　・　無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:
	A の提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	有　・　無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:

公 演 ・ ワークショップの内 容　　【公演団体名　一般社団法人 法村友井バレエ団】

対　　象	○小学生(○低学年 ・ ○中学年 ・ ○高学年)　・　○中 学 生
企画名	バレエを学んで体験「くるみ割り人形～クララの夢～」スペシャル公演
本公演演目 原作／作曲 脚　　本 演出／振付	第一部 ●「バレエを学んで体験しよう」（約 45分） バレエレッスン、チャレンジ・バレエ小品紹介、作品のマイムを学ぶ 第二部 ●「くるみ割り人形～クララの夢～」スペシャル公演 作曲:チャイコフスキー、原振付:プティパ／改訂振付:法村友井バレエ団 （約 45分） 公演時間(90 分)

著作権	○	制作団体が所有		制作団体以外が所有する事項が含まれる		(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無

演 目 概 要	会場は基本的に体育館の床(フロアー)を使い、背景の美術と舞台袖パネル等を設置し仮設のステージを作り本格的な舞台照明の演出を取り入れて行います。音楽はテープ再生です。 ●第一部では、「バレエを学び体験しよう」と題して、バレエの基本にあたるレッスンやマイムを紹介し生徒さんにも体験して頂きます。そして、バレエの見所が分かりやすい小品(4作予定)を紹介し、そこでは生徒さんを交えワークショップで学んだ小品の実演も行います。 ●第二部では、「くるみ割り人形」スペシャル(クララの夢)公演と題して、チャイコフスキーの代表的なバレエ作品「くるみ割り人形」の公演を行います。プロバレエ団の公演を凝縮してお届けします。
演目選択理由	バレエのレッスンには多くのダンス(舞踊)の基礎となる要素が詰まっています。第一部で行う「バレエを学び体験しよう」では、柔軟性や集中力が重要視されるバレエのレッスンを紹介することで基礎レッスンの大切さや、言葉を使わないバレエ作品で重要なマイムによる演技力の重要性などを学び体験していただきます。また、舞台メイクや舞台衣裳も生徒達に身につけて頂き、プロの団員達と一緒に踊る小品で舞台に立ち、舞台芸術の表現を学び、全体を楽しく紹介して観賞していただきます。 第二部で観賞して頂きます「くるみ割り人形」は、チャイコフスキーの代表的なバレエ作品で、音楽的にも親しみがあり、お話しにも夢がある低学年から高学年まで楽しめる作品です。本来は全2幕のスケールの大きな作品ですが、限られた時間で生徒の皆さんに、充実したプロバレエ団の公演を楽しんで頂くために(クララの夢)と題して、作品全体から分かりやすく凝縮抜粋して観賞していただきます。クララの夢の世界が、有名な音楽と見応えのある演技と共に、夢のあるバレエ作品で低学年から高学年まで児童・生徒さんの心をとりこにし、芸術鑑賞の価値を伝えます。
児童・生徒の共演，参加又は体験の形態	プログラム第一部、「バレエを学び体験しよう」の中で、ワークショップを受講されたメンバーの中から代表者(マイムで男女各8名ほど、小品で男女各4名ほどを予定)の生徒に、バレエのマイム表現、小品演目の中で、共演参加していただきます。参加者には、舞台メイクを施し舞台衣裳を着用して頂き舞台表現をリアルに体験して発表していただきます。 なお、児童・生徒の共演、参加は第一部だけに集約しまし、第二部は児童・生徒全員がプロ公演の作品鑑賞に集中していただきます。
出　演　者	法村友井バレエ団・団員(メンバー別紙)　※日程により変動があります

公演出演予定者数 (1公演あたり)	出 演 者: 32 名 ス タ ッ フ: 19 名 合　　計: 51 名	機 材 等 運搬方法	(道具運搬)積載量＝4t、車長＝約 8.85m、台数＝1 台 (電源車)車長＝約 4.8m 台数＝1台　　合 計:2 台

【公演団体名　一般社団法人　法村友井バレエ団】

<table>
<tr><td>公演に当たっての
会　場　条　件</td><td>実施条件等確認書①をご確認ください。</td></tr>
<tr><td>会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安</td><td>前日仕込み(有 ・(無) 会場設営の所要時間(　　2 時間程度)
<table>
<tr><th>到着</th><th>仕込み</th><th>本公演</th><th>内　休憩</th><th>撤去</th><th>退出</th></tr>
<tr><td>時</td><td>8 時～10 時
(稽古 10 時～12 時)</td><td>13 時 45 分
～15 時 30</td><td>15 分</td><td>15 時 40 分～
17 時 15 分</td><td>17 時
30 分頃</td></tr>
</table>
※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時 30 分からの概ね2時限分程度です。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">児　童　・生　徒の
参加可能人数</td><td>ワークショップ</td><td>80 名ほど</td></tr>
<tr><td>本公演</td><td>鑑賞人数:フロアー面から設置舞台と照明設置、視聴死角面積を引いて消防法で問題にならない範囲
共演人数:24 名(マイム共演16名、小品共演8名)</td></tr>
<tr><td>ワークショップ
実　施　形　態
及　び　内　容</td><td>解説指導者 1 名と指導アシスタント 5 名の 6 名編成で、会場には、約 10m×5mのスペースにバレエマットを敷き、レッスンの為のバーを設置します。ワークショップでの参加者は合計 80 名ぐらいまでとし(多すぎると集中力や指導管理がおろそかになります)です。その参加者の中から公演の時に参加(出演)して頂く人数は 24 名程(レッスン・マイム演技男女各8名、小品出演者男女各4名)を選んで頂く事を前提として実施します。
ワークショップ会場としては体育館等のダンスが出来るスペースで、運動が出来る服装を着用下さい。公演への参加が前提で、集中力の問題から小学3年生以上を対象とします。
前半の時間は、バレエ作品の鑑賞のポイントや、バレエの基本姿勢や基本的なマイムなどを体験しながら実施します。 後半は、公演で参加していただく作品の練習です。(参加学年や技量により演目を調整いたします) グループに分かれてそれぞれに指導者が振付を指導していきます。最後に質問コーナーなどを設けて親睦をはかります。</td></tr>
<tr><td>ワークショップ
実施形態の意図</td><td>バレエに興味を持ってもらい、日常の訓練(稽古)の大切さや、基本のポジションやマイム、バレエの表現を学んでもらいます。そして、公演の時に、団員と一緒に舞台に上がって出演していただきます。マイムの表現、音楽性、アンサンブルの踊りの協調性や、本番で衣裳を着てメイクをほどこし人前で表現・演技することの意識を学んでいただきます。ワークショップで練習した成果を発揮・体験していただき、舞台芸術と表現のすばらしさに触れていただきます。</td></tr>
<tr><td>特別支援学校での実施における工夫点</td><td>無理の無い身体表現など子ども達の対応度にあわせてワークショップの実技内容や演目数を調整します。</td></tr>
<tr><td>実施可能時期</td><td>実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</td></tr>
</table>

巡回公演予定メンバー

1 法村牧（牧緒）
2 法村（堤本）麻起子
3 辰巳紗代
4 中内綾美
5 松波満耶
6 山野有可
7 井上麻緒
8 神木　遥
9 安田有利佳
10 南野衣緒梨
11 中辻里佳子
12 入本ひなの
13 久村萌子
14 椿原せいか
15 春木友里沙
16 中谷亜衣子
17 石原歩実
18 野　舞翔
19 本村結愛
20 前田　葵
21 多田愛葉
22 佐野裕子
23 坂田麻由美
24 井口雅之
25 山田昌弘（大野晃弘）
26 法村圭緒
27 今村泰典
28 奥田慎也
29 今井大輔
30 池田健人
31 大西慎哉
32 北村俊介

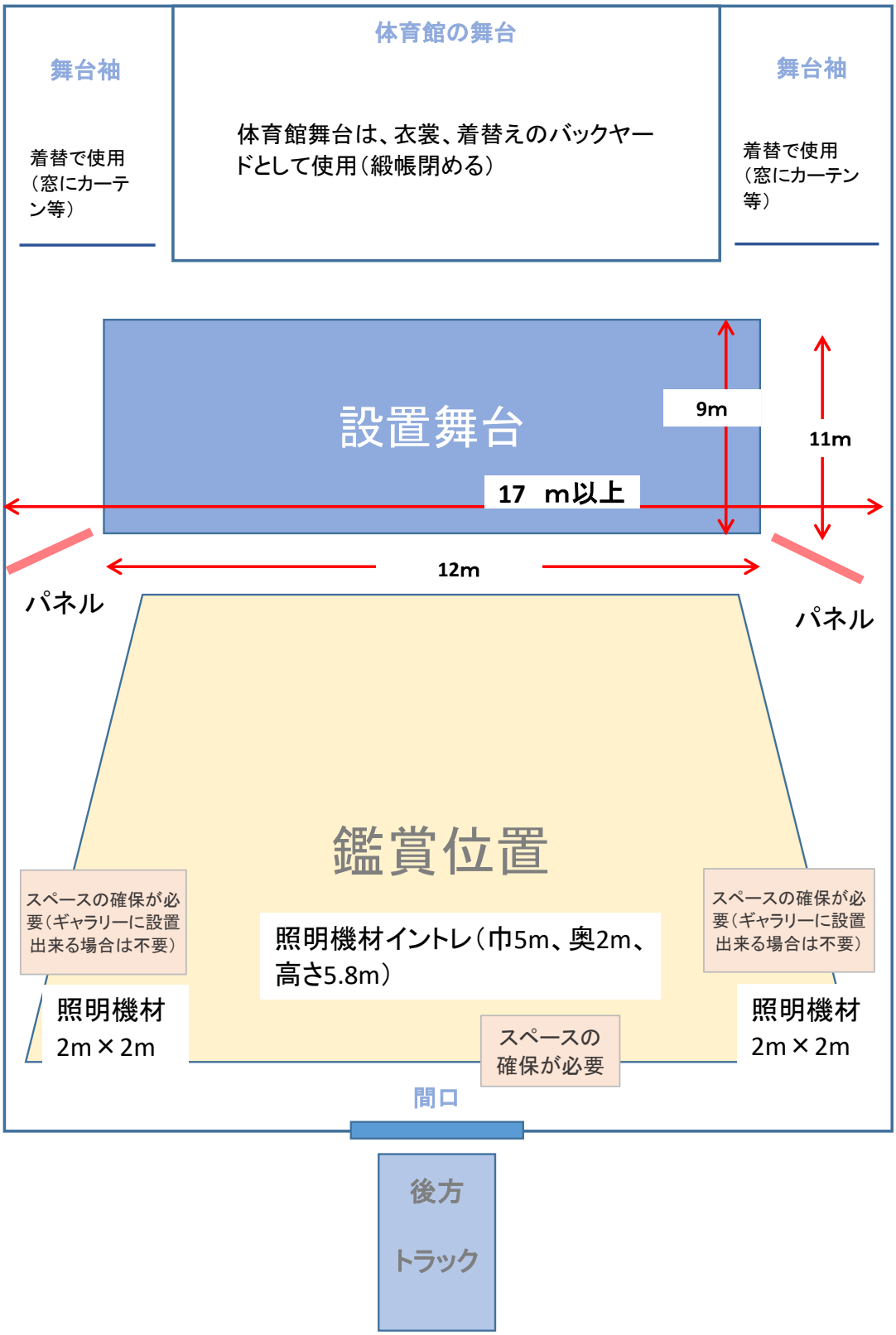
【令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	707	分野	舞踊	種目	バレエ	ブロック		区分	A区分
公演団体名	一般社団法人　法村友井バレエ団				制作団体名	一般社団法人　法村友井バレエ団			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数＊	2室	条件	男性、女性の着替えがあるのでカーテンがある部屋が必要				
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数＊			4tトラック　1台	電源車　1台			
	不可	来校する車両の内，横づけが必要な車両の大きさ			4tトラック車長 =約 8.85m、電源車車長=約 4.8m				
	可	搬入車両の横づけの要否＊			要				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離＊			10m以内				
	可	搬入経路の最低条件			できる限り雨など防げる屋根があり階段の無い経路が望ましい。				
		理由			照明器具、舞台装置、バレエマットなど大道具の重量物を搬入するため				
	不可	設置階の制限＊			2階以上不可				
	不可	搬入間口について 単位：メートル	幅	約1.5m	高さ	約1.75m			
WSについて	可	参加可能人数		80名程度まで					
	不可	学年の指定の有無＊		あり	指定学年＊	小学校3年生以上			
	可	所要時間の目安 単位：分		90分（45分2回）					
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安を御参照ください。					
	可	鑑賞可能人数		フロアー面から設置舞台と照明設置、視聴死角面積を引いて消防法で問題にならない範囲					
	不可	舞台設置場所＊		フロア					
	不可	舞台設置に必要な広さ 単位：メートル	幅	17m	奥行	11m	高さ	5.8m以上	
	不可	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保＊	要					
	不可		舞台袖スペースの条件＊	早着替え利用の為、器具等を片付した状態					
	不可		緞帳＊	要	バトン＊	不要			
	不可	遮光(暗幕等)の要否＊		要	理由	舞台構成演出、照明効果の為にかなり暗くなることが望ましい			
	―	ピアノの調律・移動の要否	指定位置へのピアノの移動＊	不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。				
	―		ピアノの事前調律＊	不要					
	可	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況＊	格納されていれば可					
	不可	公演に必要な電源容量		215A	会場が通常の体育館の場合は、照明電源等は事故防止のため電源車を使用、他にヘヤードライヤーや音響機材用に約15Aあれば可				
	その他特記事項								
	不可	●体育館の舞台は、緞帳を締めて着替え（バックヤード）として使用します。							
	可	●団員・スタッフの移動は大型バス・中型バスの予定ですので、その駐車スペースの確保							
	可	●控え室、体育館に仮設舞台のバックステージから出演者が、生徒と出会わないトイレが使用できること。							
	可	●ダンサーは薄着で公演を行いますので、気温の低い時期は、会場の体育館・楽屋に暖房設備（体育館はジェットヒーターなど）が準備できること。							
	可	●照明用電源200Aはイベント用の専用電源等の容量分ある会場を除き、事故を防止するためと設営時間の短縮、運用管理の面から専用の電源車を手配します。							

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	1.5m以上	高さ	1.75m以上
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		10m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

令和２年度

文化芸術による子供育成総合事業　―巡回公演事業―

法村友井バレエ団

＜バレエ公演＞

「文化芸術による子供育成総合事業―巡回公演事業― 」

我が国の一流の文化芸術団体が，小学校・中学校等において公演し，子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより，子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成，将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

事前のワークショップでは，子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また，実演では，できるだけ子供たちにも参加してもらいます。

文化庁

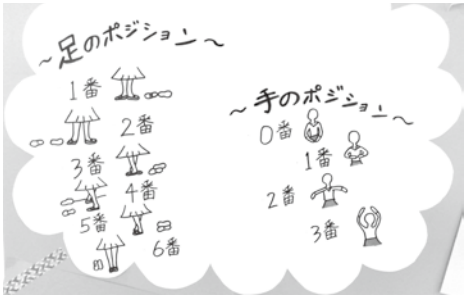
プログラム

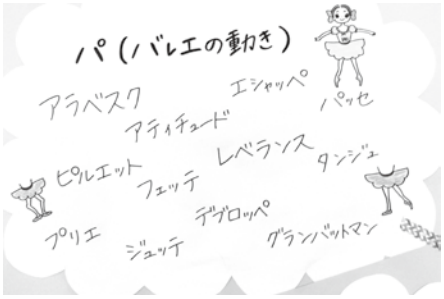
（学校により若干内容が変わる場合があります）

●第一部「バレエを学んで体験しよう」

第一部では、バレエの基本にあたるレッスンやマイムを紹介します。

美しく、魅力的に踊るには自分の身体をしっかりコントロールできることや安定したバランス、音楽に合わせるリズム感、そして機敏で柔らかな身体作りが必要です。その練習のためにバレエでは、レッスン用のバーを使って、音楽にあわせながら訓練をします。バレエでは手や腕の形（ポジション）や足の開き具合（ポジション）の基本が決まっています。その決まったポジションを正しく身につけて取り入れながら様々な踊りを表現していきます。また、クラシックバレエの作品は物語になっていて、音楽に合わせてたくさんの演技者（役者）や踊り手で作っていきますが、お話しを紹介するのに声を出して言葉をつかいません。そのかわり手のしぐさ、からだの動き、表情などの“マイム”で物語の会話や気持ちを表現して物語を紹介します。バレエのレッスンの様子やマイムのやり方、バレエの見所がある小品を紹介します。





●第二部 「くるみ割り人形 ～クララの夢～」スペシャル公演

※くるみ割り人形のお話し・・・とある王国で、王子が誕生します。しかし、その場にいた人間がねずみの女王を踏んでしまったために王子は呪われ、“くるみ割り人形”になってしまいます。　クリスマス・イブの夜、ドイツのシュタールバウム家の大広間ではパーティーが行われます。少女クララはドロッセルマイヤー老人からくるみ割り人形をプレゼントされます。ところが、取り合いになり弟のフリッツが壊してしまいます。みんなが寝静まった夜中、クララは広間に置いてあるくるみ割り人形を見に来ます。ちょうど時計の針が 12 時を告げると、不思議な事にクリスマスツリーが大きくなり、クララの体は人形と同じ大きさになります。そこに、はつかねずみの大群が押し寄せてきて、クララをからかいます。するとくるみ割り人形の指揮する兵隊人形たちが、はつかねずみ達に対抗し、くるみ割り人形とはつかねずみの王様の一騎討ちとなり、くるみ割り人形あわや！というところで、クララがスリッパをつかみねずみの王様に投げつけ、はつかねずみたちは退散します。倒れたくるみ割り人形を起こしてみると素敵な王子に変身します。王子はクララをお礼に“雪の国”と“お菓子の国”に招待し、２人は旅立ちます。雪が舞う松林に２人がさしかかる所では、幻想的な雪の精達に迎えられます。お菓子の国の魔法の城に到着すると王子は、こんぺい糖の精にクララを紹介します。たくさんのお菓子の精たちによる歓迎の宴が繰り広げられ、「スペインの踊り」、「中国人形の踊り」、「アラビアの踊り」など各国の踊りが披露され、「葦笛の踊り」、「トレパーク」、華やかな「花のワルツ」へと続きます。　クララはクリスマスツリーのもとで夢からさめると不思議でステキな気持ちにつつまれていました。

出演者とスタッフ

※公演日程により変動いたします

（団長）法村 牧緒／（出演者・衣裳スタッフ）井口 雅之　大野 晃弘　法村 圭緒　今村 泰典　奥田 慎也　今井 大輔　池田 健人　大西 慎哉　北村 俊介　豊永 太優　堤本麻起子　辰巳 紗代　佐野 裕子　坂田麻由美　中内 綾美　松波 満耶　山野 有可　川本 優貴　井上 麻緒　神木　遥　安田有利佳　南野衣緒梨　中辻里佳子　入本ひなの　久村 萌子　椿原せいか　春木友里沙　中谷亜衣子　永田 志穂　浦富 愛莉　石原 歩実　馬野 瑞季　野　舞翔　本村 結愛　前田　葵　多田 愛葉　佐野 光里　中村 莉菜　（演出・振付）法村 圭緒／（振付補佐）森川起美子　大力小百合／（舞台監督）渋谷 文孝／（監督補佐）片山 禎三／（音響）（有）ティーアンドクルー／（照明）（有）アート・オー／（大道具・装置操作）日本ステージ（株）、（有）ウォーターマインド

バレエを学んで
舞台へ参加！

法村友井バレエ団

（ほうむらともいばれえだん）

巡回公演
プログラム

NUTCRACKER

バレエを学んで体験
「くるみ割り人形～クララの夢～」
スペシャル公演

第一部

●「バレエを学んで体験しよう」

バレエレッスン、バレエ小品紹介、作品のマイムを学ぶ

※事前ワークショップで学んだ生徒さんも、バレエ小品にチャレンジ！

第二部

●「くるみ割り人形～クララの夢～」スペシャル公演

チャイコフスキーの代表的なバレエ作品。
音楽的にも親しみがあり、お話しにも夢がある
低学年から高学年まで楽しめる作品を
プロダンサー達による楽しい公演です。

本プログラムでは、ダンスやマイムの表現、音楽性、アンサンブルの踊りの協調性、本番で衣裳を着てメイクをほどこし人前で表現・演技することの意識を学んでいただきます。
ワークショップで練習した成果を発揮・体験していただき、舞台芸術と表現のすばらしさに触れていただきます。

Ⅵ 令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野，種目（該当する**種目**に○を付してください。）

分野	種目
【音楽】	合唱，オーケストラ等，音楽劇
【演劇】	児童劇，演劇，ミュージカル
【舞踊】	バレエ，現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽，人形浄瑠璃，邦楽，邦舞，演芸

申請する区分に，○を付してください。　　Ａ区分のみ　・　Ａ区分とＢ区分の両方　・　Ｃ区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)　　あ り　・　な し

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)
(1) 公演の実施時期が重複しても，複数の企画を実施可能
(2) 公演の実施時期が重複しなければ，複数の企画を実施可能
(3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
(4) その他(　　)

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	こうえきざいだんほうじん　かまくらのうぶたい 公益財団法人　鎌倉能舞台		
代表者職・氏名	代表理事 石渡 徳一		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒248-0016 神奈川県鎌倉市長谷3－5－13(江ノ島電鉄:長谷駅、江ノ電バス・京急バス:長谷観音前・大仏前)		
電話番号	0467-22-5557	ＦＡＸ番号	0467-22-5557
ふりがな 公演団体名	こうえきざいだんほうじん　かまくらのうぶたい 公益財団法人　鎌倉能舞台		
代表者職・氏名	代表理事 石渡 徳一		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒248-0016 神奈川県鎌倉市長谷3－5－13(江ノ島電鉄:長谷駅、江ノ電バス・京急バス:長谷観音前・大仏前)		
制作団体設立年月	昭和44年 7月		
制作団体組織	役職員 代表理事　石渡　徳一 業務理事　藤川　譲治、中森　貫太 理　事　大崎　哲郎、近藤　浩通 若林　隆壽、井出　太一 坂倉　徹、浅尾　慶一郎 監　事　露木　朗、鴻谷　正博 職　員　中森　三佳	団体構成員及び加入条件等 〔団体構成員〕 ○能楽出演者　＝　能楽協会所属能楽師 (鎌倉能舞台より出演委託した者) ○鎌倉能舞台賛助会員　＝　広く一般（能楽愛好者）	
事務体制の担当	専任　・　他の業務と兼任	本事業担当者名	中森　貫太
経理処理等の監査担当の有無	有　・　無	経理責任者名	宮本泰三(税理士)

制作団体沿革	【公益財団法人鎌倉能舞台】 ・昭和 33 年 4 月　中森晶三能楽研究会発足､同 34 年 4 月 鎌倉能の会と改称。 ・同年 10 月 「鎌倉薪能」創立に参画。 同年「中高校生対象の能楽教室」開始。約 300 回､30 万人に実演提供。 ・昭和 44 年 7 月　財団法人の認可｡同 45 年 5 月　鎌倉能舞台の建築落成。 同年より「県民のための能を知る会」(年間 22 回～30 回)開始。 ・昭和 49 年より「能を知る会東京公演」(年間 4～6 回)開始。 薪能の発展に尽力(27 箇所 200 回以上)。 ・平成 15 年より日本財団事業「中高生のための能狂言教室」開始。 ・平成 20 年より文化庁「本物の舞台芸術体験事業」受託開始。 ・平成 23 年 11 月　公益財団法人（神奈川県）認定。 主催公演・受託公演・学生向け公演併せて年間約 50 公演以上、およそ 16000 人の観客に公演を行っております。
学校等における公演実績	・昭和 30 年代より小中高校生対象の能楽教室を開始して以来、50 年以上に亘って、学校体育館や公民館等での学生向け公演を実施しております。神奈川県下の学校だけでなく、四日市や都内の学校等で、事前ワークショップを含め、わかりやすい解説・手引き・体験・質疑応答付きの公演を行っています。 ・平成 15 年度より平成 25 年度まで日本財団の助成を受け、「中高生のための能楽体験教室」を毎年 10 校～15 校の学校対象に実施しました。 ・平成 19､20 年度には文化庁「人材育成事業」を受託し、小樽、四日市、彦根、神奈川県等での子ども向けワークショップ・狂言鑑賞教室を実施しました。 ・平成 21 年度から文化庁「地域活性化事業」を受託し、鎌倉市内小学校 16 校 1200 人強の小学生への狂言教室を行っておりました。 30 年度は、鎌倉市主催で鎌倉市内小学校 11 校にて実施中です。 ・平成 19 年度より、神奈川県共催の『中・高校生のための能・狂言鑑賞体験教室』を開催、神奈川県・小田原市主催の能楽ワークショップも行っています。 ・平成 20 年度より 24 年度まで文化庁「本物の舞台芸術体験事業」、「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」を受託し、毎年 12～15 校の学校で、毎年およそ 5000 人の生徒に公演を行いました。 ・平成 26～28 年度は文化庁「文化芸術による子供の育成事業」を受託し、26 年度は 16 校、平成 27 年度は 10 校、平成 28 年度は 16 校、平成 29 年度は 24 校、平成 30 年度は 17 校、令和元年度は 19 校にて開催中です。 ・その他、玉川大学、慶應義塾湘南藤沢高校、北鎌倉女子学園、鎌倉女学園、文京学院大学、埼玉県杉戸小学校、国際基督教大学附属高校、春日部市立緑小学校等、毎年、数多くの学校公演を行ってきております。 ・学校体育館においても能舞台らしくしつらえる「簡易舞台セット＝どこでも能舞台 ®」を考案し、舞台セットをワゴン車一台に乗せて能舞台の出張公演ができる形を作りました。最初は簡易橋掛かりと持ち運びのできる柱のセットでしたが、舞台に見立てたカーペット、鎌倉能舞台の鏡板を等倍にコピーした折りたためる鏡板、滑車で上げ下ろしのできる幕、など、さらなる工夫を続けております。 ・ワークショップや公演の際にプロジェクターとスクリーンで字幕解説を出し（字幕ｅ能 ®）、より理解しやすい公演を心がけて行っております。

<table>
<tr><td>特別支援学校における公演実績</td><td colspan="3">・平成 21 年度：横須賀ろう学校にて「本物の舞台芸術体験事業」公演を実施。
ワークショップ・解説・狂言「附子」・能「羽衣」上演しました。

・平成２７年度：長崎県立ろう学校にて「文化芸術による子供の育成事業」実施。
プロジェクターにより字幕をスクリーンに映し出して、字幕付きでワークショップ・解説・狂言「柿山伏」・能「安達原」を上演しました。

・平成 29 年度:札幌視覚支援学校にて「文化芸術による子供の育成事業」実施。
能楽鑑賞の手引き・字幕台本を事前に学校へ提供し点字変換を行い、ワークショップでは本物の能面・装束・頭を触手してもらった上で、本公演で狂言「柿山伏」・能「小鍛冶」を上演しました。

・平成 29 年度:青森県八戸聾学校にて「文化芸術による子供の育成事業」実施
プロジェクターにより字幕をスクリーンに映し出して、字幕付きでワークショップ・解説・狂言「柿山伏」・能「小鍛冶」を上演しました。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">参考資料の有無</td><td rowspan="4">A</td><td>申請する演目のチラシパンフレット等</td><td>（有）・無</td></tr>
<tr><td>申請する演目の DVD または WEB 公開資料</td><td>（有）・無</td></tr>
<tr><td>※公開資料有の場合 URL</td><td></td></tr>
<tr><td>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</td><td>ID:
PW:</td></tr>
<tr><td rowspan="3">A の提出が困難な場合</td><td>今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料</td><td>有・無</td></tr>
<tr><td>※公開資料有の場合 URL</td><td></td></tr>
<tr><td>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</td><td>ID:
PW:</td></tr>
</table>

公　演　・　ワークショップの内　容　　【公演団体名　　公益財団法人　鎌倉能舞台】

対　　象	小学生（　低学年　・　中学年　・　高学年　）　・　中　学　生
企画名	【字幕解説付き】 わかりやすい能・狂言鑑賞体験教室～日本の伝統文化を知ろう～
本公演演目 原作／作曲 脚　　本 演出／振付	**日本の世界無形文化遺産「能楽」を、狂言と能のセットでわかりやすく鑑賞・体験してもらい、日本の伝統文化を知ってもらうことを目的としています。** **【本公演　プログラム】** **〈第一部〉** **始まりの御挨拶** **1:解説**（5 分） ・「能舞台について」「本日の演目について」の解説をします。 **2:狂言鑑賞**「**柿山伏(かきやまぶし)**」（15分） **休憩**（10分） **〈第二部〉** **3:能鑑賞**「**能　小鍛冶(こかじ)**」（40分） 字幕付き ・ 本公演中に、曲の一部分を(事前にワークショップで練習)、生徒全員で謡います。 ・ セリフや動きを解説した字幕を見ながら(プロジェクターで映し出す)鑑賞します。 ・ 生徒が飽きずに見て貰えるよう、省略を加えて上演します。 **4:狂言体験ワークショップ**（20 分） ・ 狂言の先生に、今見た狂言の所作を習います。 **5:質問コーナー**（10 分） ・ 児童・生徒の皆様からの質問にお答えいたします。 公演時間（　100　分）

著作権	○	制作団体が所有		制作団体以外が所有する事項が含まれる		(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無

演　目　概　要
○舞台について　体育館が能舞台に！　どこでも能舞台 ・ **簡易舞台セット**で体育館に「能舞台」を作ります。(簡易柱・欄干、揚げ幕、鏡板) ・ 舞台は体育館の形状・生徒数によってステージの上でも体育館の床でも、ステージの上でも設置可能です。設営・撤収とも 30 分程、能楽出演者で設置・撤収します。 ・ 舞台横に**スクリーンで字幕を表示**し、わかりやすい現代語訳の解説を写し出します。

【簡易舞台 設置例】

平成 10 年頃より鎌倉能舞台が”簡易舞台セット”＝「どこでも能舞台®」を考案し、学生向け公演に導入始めました。

○本公演　ブログラム

1. 解説 「狂言と能をいよいよ見るぞ！」

解説では、これから公演を行う能舞台を実際に見ながら、舞台形状の意味や柱の存在理由、拍手のタイミングなどをお話しします。
これから上演する狂言と能のあらすじを、詞章や型の説明を加えながら、わかりやすい言葉で行います。
能と狂言がセットになった本来の形で見ることにより、ユネスコの世界文化遺産になった日本の伝統芸能「能楽」を的確に理解を深めることができます。

2. 狂言 「柿山伏（かきやまぶし）」

小学6年生国語の教科書に載っている演目を鑑賞して頂きます。

［あらすじ］:

厳しい修行を積んだ山伏も人の子、喉が渇けば潤したくなる。周りを見回すと、枝もたわわに実るみずみずしい柿を見つける。立派なはずの山伏だが修行が終わったばかりの未熟者、勝手に柿の木に登り食べ始めてしまう。そこへ見回りにきた畑の持ち主が、盗み食いをする山伏を見つける。到底許すことの出来ない畑主は、烏よ・猿よ・鳶（とび）よ、と山伏をからかう。調子に乗った山伏が乗せられるままに木から飛下りるとしたたかに腰を打つ。山伏は腹を立て、看病せよと祈り始める。さて効験のほどは…。

当時の山伏は山野での荒行により、超人的な法力と体力を身につけているとされ、庶民に恐れられていました。狂言の世界ではこれを見事に戯画化し、楽しい健康な笑いの種にしてしまいました。最も有名かつ人気のある名作狂言の一つです。

3. 能 「能　小鍛冶(のう　こかじ)」

昨今の”刀剣”ブームにより大人気の「小鍛冶(こかじ)」を、省略箇所を入れて、子供でも観やすい長さにして上演します。狐の冠をかぶる後シテの姿は勇壮です。

[あらすじ]:一条の帝は夢で三条の小鍛冶宗近に剣を打たせよと告を受け勅使を遣わす。宗近はその勅命を光栄としながらも自分と同等の技量の相鎚がいなくては剣を打てないと断るが、勅命には逆らえない・・・

困り果てた宗近が神頼みをしようと氏神の稲荷明神に向かおうとすると一人の少年が声を掛け帝の剣の注文を受けたことを尋ねる。驚いた宗近が何者かと問うと少年は古今東西の名剣の物語を聞かせ、必ず相鎚は現れるから準備をして待てと言い姿を消す。

宗近が身支度を調え待っていると稲荷明神の使いの狐が現れ、宗近と供に剣を打ち表に「小鍛冶宗近」裏に「子狐丸」と銘を刻み勅使に剣を納め狐は雲に乗って帰って行く。

ここでワキが謡う「待謡(まちうたい)」をワークショップで練習し、ワキと一緒に謡います。

前半は日本武尊が草薙の剣で東国の夷を滅ぼした場面を舞って見せ、後半は軽快な囃子の演奏と宗近と狐が剣を打ち上げるところが見せ場。全体にストーリー性に富み動きも多い小学生にも理解しやすい曲です。

4. 体験ワークショップ

鑑賞した「柿山伏」に出演した狂言方が、曲中の台詞や所作を、代表して舞台に上がった生徒と客席の全員に体験してもらいます。

5. 質問コーナー　:

楽全般の質問に誠意を持ってお答えします。質問が多すぎて時間が足りない場合は、学校で取りまとめて頂ければ責任を持って後日回答をいたします。

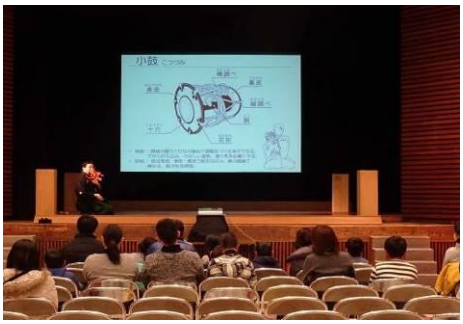
演目選択理由	**狂言「柿山伏（かきやまぶし）」**は、小学校の教科書に採択されており、ストーリーも簡潔で分かり易い。台詞よりも動きが多く、動物の物まねなど子供の興味をひく型が多い狂言です。 **能「小鍛冶（こかじ）」**は、最初が少年、後半が狐に変わり、「剣を打つ」所作のある、子どもにも理解しやすい演目です。後シテが鎚を使って相鎚を打つ場面をワークショップで体験して貰います。また、曲の詞章の一部を練習し本番中に一緒に声を出して謡って貰います。 囃子としては技巧的な曲でもあるので、能の音楽性や掛け声の意味なども理解しやすいことから選曲いたしました。テンポも早い曲なので小学生低学年でも飽きること無く鑑賞できます。
児童・生徒の共演，参加又は体験の形態	**・参加型**：ワークショップ時に生徒全員で「小鍛冶」の一節を謡って貰い、本番でも地謡と一緒に全員で謡います。自分たちも能に参加している臨場感を味わってもらいます。 **・字　幕**：舞台の横に、字幕をプロジェクターで映し出します。今、どんな場面なのか、舞台を観ながら理解してもらえます。 字幕　一例 **○事前ワークショップ　「能について知ってみよう！」**（能楽師3名で行います） まず、**ご挨拶**からはじめます。 始まる前に「お願いします」、終わりに「ありがとうございました」と、ご挨拶をかわしましょう。 **・謡ってみよう！**　：　生徒全員に「小鍛冶」の謡の一節を謡ってもらいます。 **・能面をかけてみよう！**　：　生徒に能面を実際につけて歩いてもらい、能面をかけた時の見えにくさを体験してもらいます。 **・能の楽器をさわってみよう！**　：　能の楽器の説明と、実際にさわってもらいます。 **・能の小道具をつくってみよう！**　：　能の小道具の説明をし、その後実際に皆さんに簡易な「刀と鎚（かたなとつち）」を作ってもらいます。 **・能の動きをやってみよう！**　：　作った「刀と鎚」を用い、能の動きをやってみます。

	○本公演時 「狂言を体験してみよう！」　（狂言方3名で行います） **・全員での体験！：** →能「小鍛冶」では、謡の一節を舞台の能楽師と一緒に全員で謡います。 →狂言を鑑賞したあとの「狂言体験ワークショップ」では、狂言の基本的な「構え」や「運び（歩き方）」から、「柿山伏」で見た柿を食べる演技や、笑い方などを、舞台に上がった生徒と、客席の全員で体験してもらいます。 **○質疑応答** **・能楽師が直接回答：** 今見た公演で疑問に思ったことや、舞台上のことでも、裏話的な質問にも、能楽師がわかりやすく回答します。
出　演　者	シテ方：中森貫太、観世喜正、小玉三郎、駒瀬直也、弘田裕一、奥川恒治、佐久間二郎、中所宜夫、遠藤喜久、遠藤和久、坂真太郎、鈴木啓吾、八田達也、寺澤幸祐　等　（シテ１名、地謡６名、後見２名　働き２名　計１１名） ワキ方：殿田謙吉、森常好、大日方寛、則久英志、御厨誠吾、森常太郎、舘田善博、野口琢弘　等　（計３名） 狂言方：大蔵教義、大蔵吉次郎、山本泰太郎、山本則孝、高野和憲、善竹富太郎、善竹大二郎、宮本昇、榎本元、深田博治、月崎晴夫、中村修一、野口隆行　等（計３名） 笛　方：寺井宏明、一噌隆之、藤田貴寛、栗林祐輔、竹市学　等 小鼓方：幸正昭、鵜澤洋太郎、飯田清一、久田陽春子、田邊恭資　等 大鼓方：安福光雄、柿原弘和、亀井広忠、上野義雄、柿原光博　等 太鼓方：小寺真佐人、梶谷英樹、中田弘美　等　（囃子方　計４名） ※＿＿＿は**重要無形文化財保持者**。 能楽界第一線で活躍している経験豊かな能楽師で上演します。 なぜならば、子供は素直に直感で感じるため、経験の少ない若手能楽師で構成すると、生徒が飽きてしまったり、興味を持って見てくれないので、本物の、確かな公演をお見せすることが重要と考えているからです。 スタッフ：簡易舞台運搬、舞台設営、プロジェクター操作　各1名
公演出演予定者数（1公演あたり）	出 演 者：　25 名　機 材 等　積載量　2 t ス タ ッ フ：　3 名　運搬方法　車 長 合　　計：　28 名　台 数

【公演団体名　　公益財団法人 鎌倉能舞台】

公演に当たっての会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。
会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安	前日仕込み(有 ・(無)) 会場設営の所要時間(1時間程度) 公演開始10時半の場合 到着:9時 / 仕込み:9時～10時 / 生徒入場:10時～10時30分 / 本公演:10時30分～12時10分 / 内休憩:10分～15分 / 撤去:12時10分～12時40分 公演開始 13時半の場合 到着:11時半 / 仕込み:11時半～12時半 / 生徒入場:13時～13時30分 / 本公演:13時30分～15時10分 / 内休憩:10分～15分 / 撤去:15時10分～15時40分 (簡易能舞台セットをスタッフ3名と能楽師全員で設営します) ※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。 ※午前中の対応も可能ですが、基本的には午後からの公演となります。
ワークショップ実施形態及び内容	**事前ワークショップ** ○ 基本的に能楽師3名で伺います。 ○ 長机2個とマイク1本、プロジェクターとスクリーンをご用意ください。 ○ 能面・装束・能の楽器を実際にお見せしながら体験もしてもらい、プロジェクターに映しだした映像や動画の解説も駆使しながら、「能楽」についてお話しします。 【プログラム内容】 ① 能楽の基礎知識や歴史のお話。→プロジェクターを見ながら聞いて貰います。 ② 「謡曲」が江戸時代に武士の共通語の教科書となった解説の実践として、生徒全員で「雷電」の一節を謡う体験をしてもらいます。(本公演でその場面を全員で謡う) ③ 本公演の当日に使用する能面、装束・小道具などを見せ、能面の視界の狭さや装束の重さを数名に体験してもらいます。 ④ 楽器の説明、使用可能になるまで数十年から数百年掛かる事などを話し、日本の伝統文化についても理解を深めてもらいます。小鼓の体験もしてもらいます。 ⑤ 対象学年に応じて字幕の内容を変えるなど、飽きさせない工夫をしています。

⑤　「小鍛冶」で後シテが使う「刀と鎚」を作って、ワキと供に剣を打つ場面を練習してもらいます。



本公演ワークショップ

○本公演の際に狂言方２～３名で体験ワークショップを行います。

【プログラム内容】

・本公演終了後に鑑賞した狂言「柿山伏」の一部分を出演者による体験ワークショップとして生徒全員に行います。狂言の「笑い」「怒り」等の感情表現を実演の印象が残っている時に行う事が効果的です。

ワークショップ実施形態の意図	・はじめてみる能楽について、プロジェクターの映像や動画を見せながら解説をし、本公演への生徒たちの期待を促します。 ・謡曲の体験では、まず「挨拶」の仕方を指導し、日本語の正しい発音（鼻濁音など）を教え、音楽の授業などで日本の歌を歌う際には意識できるようにします。また囃子に合わせて謡う稽古をすることで、能のリズム感も体験することが出来ます。 ・ワークショップで練習した謡を、本公演の鑑賞時に生徒も一緒に謡うことで、能の舞台を一緒に作り出す楽しさを体感してもらいます。 ・能面をかけてみてもらい、能面の視界（の狭さ）を体験することにより、能舞台の四隅に柱がある意味や、見えない上に重い衣裳を着た役者の動きに興味を持ってもらいます。 ・能の楽器を実際にさわりながら、西洋音楽とは違う日本の音楽への関心を深めさせます。 ・単なる鑑賞ではなく、舞台上の役者が「先生」と認識できるように、「鑑賞態度」や「習う姿勢」を丁寧に指導します。 ・実際に公演を見た本公演の後にも、狂言の体験をプログラムに入れています。	
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	一桁～一千人程度
	本公演	一桁～一千人程度
特別支援学校での実施における工夫点	・事前に綿密な打合せを行い、上演中に字幕を使うなど子ども達に一番良い公演スタイルを構築します。 ・視覚支援学校の場合は、学校の協力を頂きながら字幕も含め資料の点字化を行うと共に、本物の能面・装束などを触手してもらい、子ども達にイメージを膨らませて貰います。	
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。	

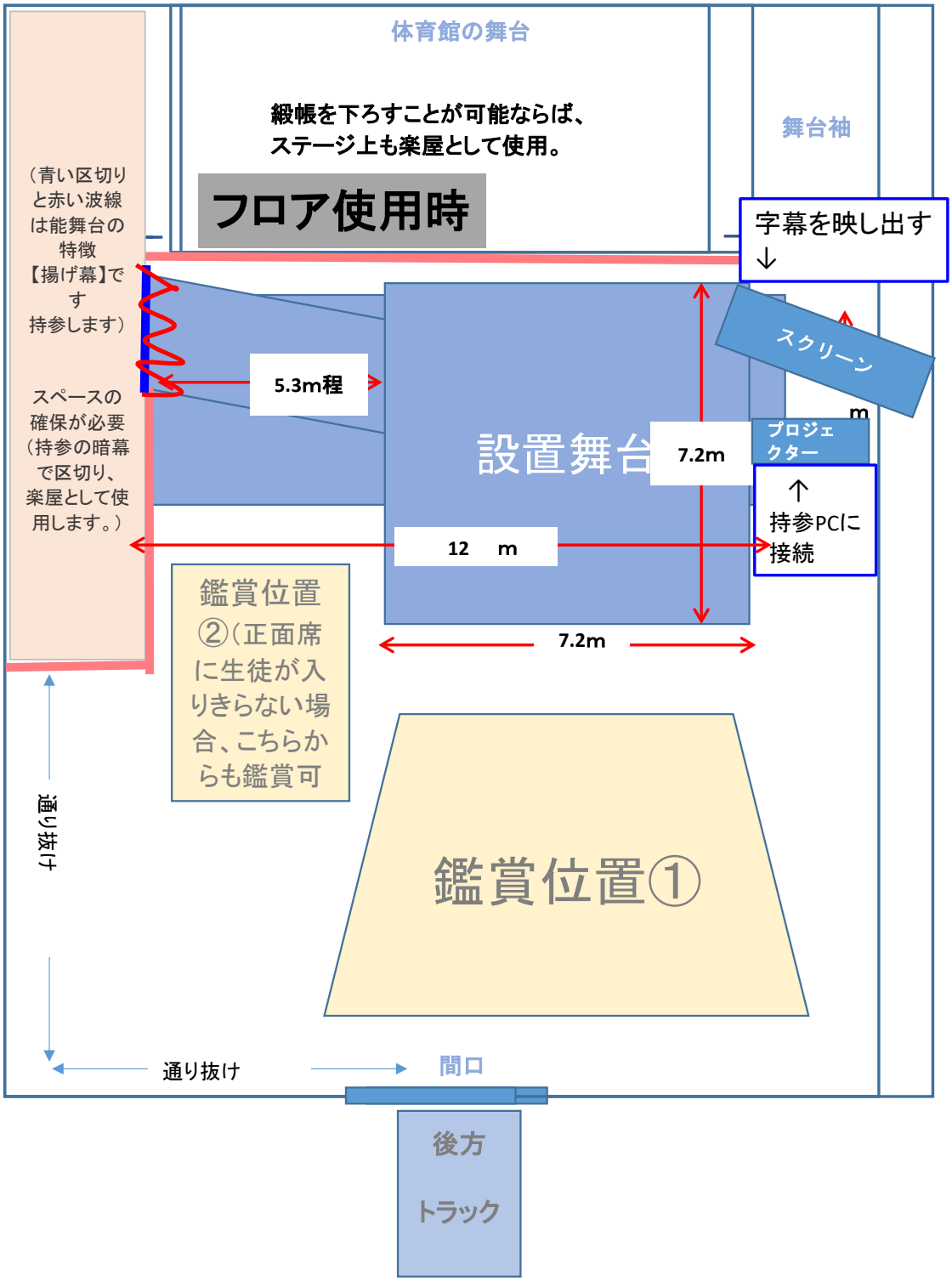
【令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	904	分野	伝統芸能	種目	歌舞伎・能楽	ブロック		区分	A区分
公演団体名	公益財団法人　鎌倉能舞台				制作団体名	公益財団法人　鎌倉能舞台			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等						
控室について	可	必要数＊	1室	条件	囃子方（楽器）の調律のため、体育館外で可能な限り体育館近くの部屋。成人男性4人が着替えられる程度の部屋。（和室である必要はございません。）			
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数＊			バン　1台	大型バス　1台		
	可	来校する車両の内，横づけが必要な車両の大きさ			普通乗用車サイズのワンボックスカー（ハイエースロング等）			
	可	搬入車両の横づけの要否＊			要			
	可	横づけができない場合の搬入可能距離＊			10m以内			
	可	搬入経路の最低条件			可能な限り体育館近くの位置に車を寄せ、階段の無い、又は極力少ない経路が望ましい。先生の手助けをお願いできるなら階段でも可。			
		理由			荷物点数が多く、重量のある物もあるため。			
	可	設置階の制限＊			問わない			
	可	搬入開口について 単位：メートル	幅	2メートル	高さ	2メートル		
WSについて	可	参加可能人数		制限無し				
	可	学年の指定の有無＊		なし	指定学年＊	なし		
	可	所要時間の目安 単位：分		90分程度（授業時間2時間分＋休み時間）				
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		会場設営：1時間程度、本公演のメインプログラム：100分（内休憩10分）、撤去：30分程度				
	可	鑑賞可能人数		制限無し				
	可	舞台設置場所＊		ステージ上への設置・フロアへの設置ともに対応可能				
	可	舞台設置に必要な広さ 単位：メートル	幅	約15m	奥行	約7m	高さ	指定無し
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保＊		要			
	可		舞台袖スペースの条件＊		楽屋として使用するため、能舞台の特性上、下手側には荷物がないことが望ましい。（上手側舞台袖は使用しないため、そちらへの移動は可能。）			
	可		緞帳＊	不要	バトン＊	不要		
	可	遮光(暗幕等)の要否＊		要	理由	プロジェクターによりスクリーンへ字幕を投影するため暗い方が見やすいが、明るくとも上演には支障なし。		
	可	ピアノの調律・移動の要否	指定位置へのピアノの移動＊	要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。			
	可		ピアノの事前調律＊	不要				
	可	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況＊	格納されていれば可				
	―	公演に必要な電源容量		－	※主幹電源の必要容量			
	その他特記事項							
	可	鑑賞人数が300人程度を超えますと能楽の特徴である「すり足」が見えづらくなるため、フロアへの舞台設置が難しくなります。						
	可	搬入口のサイズは、通常の体育館の両開きの扉なら特に問題なし。						
	可	ピアノはステージを使用する際は、あらかじめフロアに下ろすか上手側に移動をお願い致します。 フロアの場合はフロアの下手側にありますと楽屋内にて出演者が接触する恐れがあるため、 あらかじめ後方か逆サイドに移動をして頂ければと存じます。						

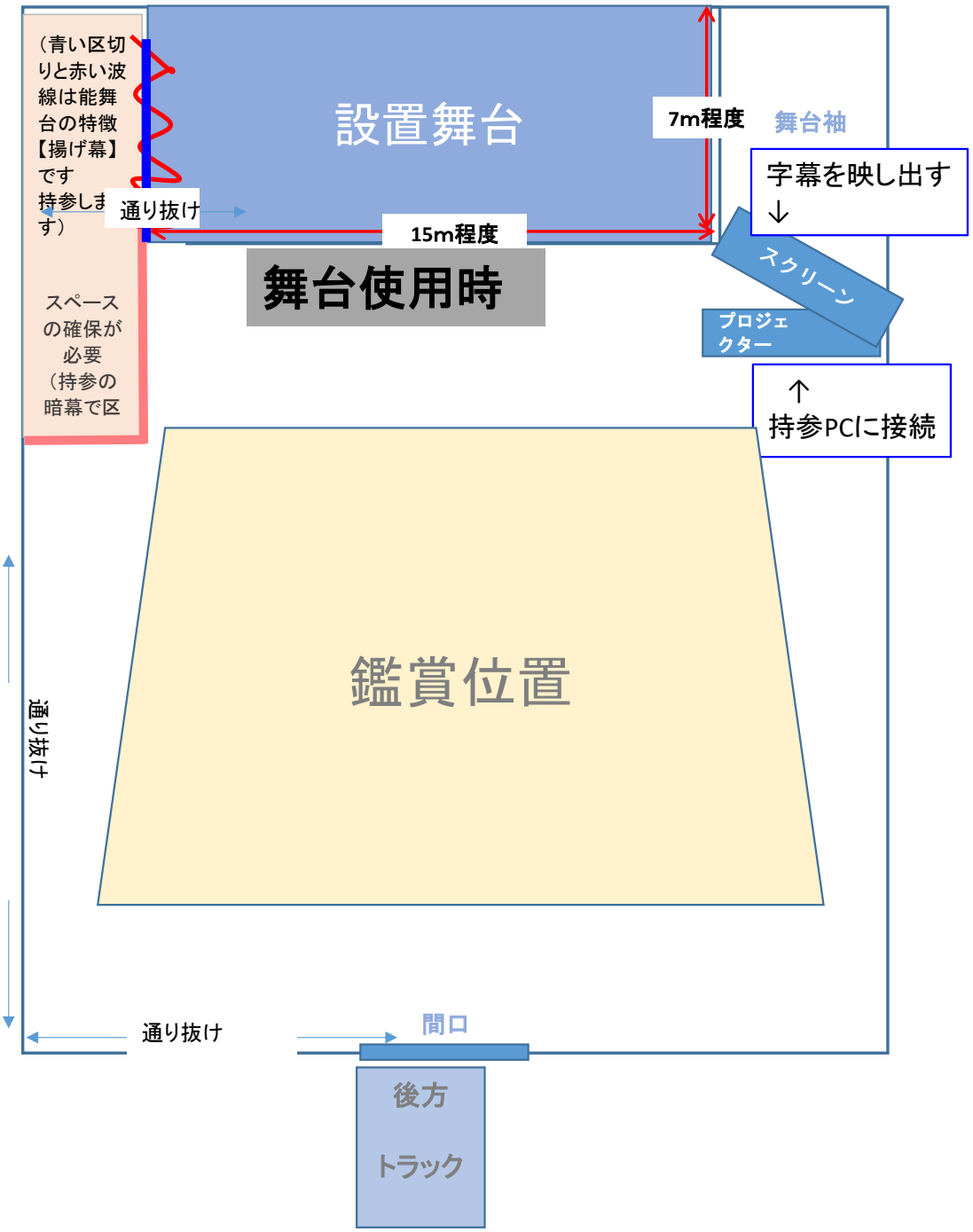
会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	2m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		10m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	2m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		10m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

令和３年度 文化庁「文化芸術による子供育成総合事業」 巡回公演事業

わかりやすい字幕解説付き！

能・狂言教室

どこでも能舞台®で体育館が能舞台に変身！

「全ての子供に能・狂言鑑賞の場を」これが私たちの願いです。

日本の「能楽」は、「人類の口承及び無形遺産の傑作」として2001年に宣言され初指定された、ユネスコの世界無形文化遺産です。しかし、どれだけの日本人が能・狂言を見たことがあるでしょうか？ これからの日本を作っていく子供たちに、能・狂言を見て貰い、自国の伝統芸能に対する造詣を深めて欲しい。そう私たちは考えます。

鎌倉能舞台では令和2年「文化芸術による子供育成総合事業」を行っております。

公益財団法人 鎌倉能舞台
〒248-0016 神奈川県鎌倉市長谷3-5-13
TEL/FAX.0467-22-5557
URL.http://www.nohbutai.com
E-mail.webmaster@nohbutai.com

文化芸術による子供育成総合事業 ―巡回公演事業―

小学校・中学校等において一流の文化芸術団体による巡回公演を行い、優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供することにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成を図り、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的とした事業です。

公演の実施に当たっては、事前に公演に関するワークショップを行い、児童・生徒を実演に参加させるとともに、実演指導又は鑑賞指導を行います。

文化庁

プログラム

能楽（のうがく）＝能と狂言の両方を体験してもらうことで、日本の伝統文化への造詣を深めて貰います!

事前ワークショップ《能について知ってみよう!》

本公演前に能楽師が学校に伺います。まずは能楽について学び、体験しましょう!

1. **能について知ってみよう!**
   （スクリーンに映像や動画を映しだして視覚的に説明します）
2. **能の謡を謡ってみよう!**
   （事前ワークショップで練習した謡を本公演で一緒に謡ってもらいます）
3. **能面をかけてみよう!**
   （能面をかけて歩いてもらいます）
4. **能の楽器をさわってみよう!**
   （能の楽器を実際に体験してもらいます）
5. **能の小道具を作って、動きをやってみよう!**
   （能「小鍛冶」で使用する刀と鎚を制作します）

「能と狂言のしおり」を全員にお配りします。

本公演《プロの能楽師の実演を鑑賞しよう!》

体育館に簡易舞台を設営します。体育館が能舞台に変身!

能楽界第一線で活躍している経験豊かな能楽師が「能楽＝能と狂言」をわかりやすい形でお見せします。ぜひ本物の日本の文化に触れてみましょう!（公演時間100分）

1. **始まりのご挨拶&解説** 5分
   （能舞台についてと本日の演目について、少しお話します。）
2. **狂言「柿山伏」鑑賞** 15分

どこでも能舞台®
簡易能舞台セットで体育館が能舞台に変身!

休憩10分

字幕&生徒参加型!

3. **能「小鍛冶」鑑賞（わかりやすい字幕解説付き!）** 40分
   （謡の一節を一緒に謡う共演をします。）
4. **狂言体験ワークショップ** 20分
   （狂言の先生と「柿山伏」の動きの体験をします。）
5. **質問コーナー** 10分
   （子ども達の疑問に能楽師が誠意を持って優しくお答えします。）

Ⅵ 令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野，種目（該当する**種目**に○を付してください。）

分野	種目
【音楽】	合唱，オーケストラ等，音楽劇
【演劇】	児童劇，演劇，ミュージカル
【舞踊】	バレエ，現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・(能楽)・人形浄瑠璃，邦楽，邦舞，演芸

申請する区分に，○を付してください。　(A区分のみ)・ A区分とB区分の両方 ・ C 区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)　(あ り)　な し

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)
(1)公演の実施時期が重複しても，複数の企画を実施可能
(2) 公演の実施時期が重複しなければ，複数の企画を実施可能
(3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
(4) その他(　　)

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	かぶしきがいしゃ ぼっくすよろづや 株式会社 BOX4628		
代表者職・氏名	代表取締役　滝沢直也		
制作団体所在地 （最寄り駅・バス停）	〒171-0014 東京都豊島区池袋 3-1-12-702 （最寄り駅:東京メトロ有楽町線・副都心線「要町駅」）		
電話番号	03-6907-0569	ＦＡＸ番号	03-6734-0567
ふりがな 公演団体名	いっぱんっしゃだんほうじんぜんちくきょうげんじむしょ 一般社団法人善竹狂言事務所		
代表者職・氏名	代表理事　善竹大二郎		
公演団体所在地 （最寄り駅・バス停）	〒153-0041 東京都目黒区駒場1丁目16番13号 （最寄り駅:京王井の頭線「駒場東大前駅」・「神泉駅」）		

制作団体 設立年月	2015年　4月	
制作団体	役職員	団体構成員及び加入条件等
組織	**代表取締役:滝沢　直也** **取締役:榎本　かおり** **取締役:岡本　雅人** **役員:眞貝　祐子** **役員:青梅　伸之介** **社員:佐藤　麗奈** **相談役:織田　紘二** **(公益社団法人 日本演劇協会 専務理事)** **社会保険労務士:岡安　邦彦** **行政書士:廣木　雅之** **税理士:大塚　康正** **※加入条件:団体規程**	**●一般社団法人善竹狂言事務所** **代表理事:善竹大二郎** **理事:善竹十郎** **※当団体の活動に賛同し、能楽に携わる実演家、および関係者** **※加入条件:団体規程**

事務体制の担当	(専任)　・　他の業務と兼任	本事業担当者名	**取締役　榎本かおり**
経理処理等の監査担当の有無	(有)　・　無	経理責任者名	**税理士　大塚康正** **おおつか税理士事務所**

制作団体沿革

2006年より任意団体として長唄、日本舞踊(花柳流)、琉球舞踊(重踊流)、
人形浄瑠璃(八王子車人形)、狂言、落語、和楽器など伝統芸能を中心に企画公演、学校公演、イベント、実演家のリサイタルの舞台制作業務に携わる。
2009年「琉球舞踊　安冨祖流地謡　西江喜春・玉城正治二人会」舞台監督を務める
2012年東京発伝統は感動実行委員会主催「三弦　海を越えて」舞台監督を務める
2013年アーツカウンシル東京主催「神楽坂まち舞台」の運営管理を担当
2014年東アジア文化都市横浜オープニング式典＆イベントに邦楽器グループを派遣
2014年東アジア文化都市横浜共催事業「新七夕伝説、星ノ舟」の制作を担当
2014年日本財団主催による「にっぽん文楽」のアシスタントプロデューサーを務める
2014 年スーパーパントマイムシアターSOUKI 主催「滝夜叉姫」の狂言方、附け打を務める。
2014年琉球舞踊、重踊流「志田房子・真木　二人会」舞台監督を務める
2015年4月より株式会社BOX4628として法人設立
2015年「第6回　祈りは届く」劇団 First Line 舞台監督・公演制作に関わる
2015年 DANCE DANCE DANCE at YOKOHAMA 共済プログラム
日本舞踊スペシャル公演「2015 横浜　J-dance　～未来へつなぐ日本のをどり～」の
制作を担当
2015年琉球舞踊、重踊流「真木の会」舞台監督を務める
2015 年日本財団主催による「にっぽん文楽」六本木公演のアシスタントプロデューサーを務める。
2016年「第7回　祈りは届く」劇団 First Line 舞台監督・公演制作に関わる
2016 年日本財団主催による「にっぽん文楽」浅草公演にてアシスタントプロデューサーを務める。
2016年「YOKOHAMA OTOMATSURI」共催プログラム
「は・や・と スパニッシュコンサート」制作を担当
2016年「現代泥棒事情」劇団 First Line 舞台監督・公演制作に関わる
2017 年日本財団主催による「にっぽん文楽」伊勢公演にてアシスタントプロデューサーを務める。

	2017 年スーパーパントマイムシアターSOUKI 主催「三国妖狐譚」の狂言方、附け打を務める。 2017 年「平成 29 年度文化芸術による子供の育成事業」巡回公演事業採択 沖縄伝統組踊「子の会」 C ブロック公演実施 2017 年銀座花鏡主催、開幕公演「夏のにぎわい」特別公演「にっぽんの舞踊」 制作を担当、観世能楽堂にて記念公演「志の輔らくご」を主催 2017 年日本太鼓財団主催、「浅草太鼓祭」運営、制作にかかわる。 2018 年日本財団主催による「にっぽん文楽」熊本公演にてアシスタントプロデューサーを務める。 2018 年「平成 30 年度文化芸術による子供の育成事業」巡回公演事業採択 沖縄伝統組踊「子の会」 A ブロック公演実施 2018 年「歌舞伎化粧ワークショップ」を開催 2018 年日本太鼓財団主催、「浅草太鼓祭」運営、制作にかかわる 2019 年「第 8 回 祈りは届く」劇団 First Line 舞台監督・公演制作に関わる 2019 年日本財団主催による「にっぽん文楽」明治神宮公演にてアシスタントプロデューサーを務める。 2019 年「こだまーれ飛騨高山芸術祭オープニング公演」舞台制作に関わる 2019 年「北区・地域きずなプロジェクト」舞台制作に関わる 2019 年「令和元年度文化芸術による子供育成総合事業」巡回公演事業採択 沖縄伝統組踊「子の会」 F ブロック公演実施 2019 年「歌舞伎化粧ワークショップ」を開催 2019 年琉球舞踊 重踊流 「志田房子・真木の会」舞台監督・舞台美術・制作業務を務める 2019 年横浜市主催 「ナイトシンク横浜」制作業務に関わる 2019 年町田市文化協会 市民文化祭 制作業務に関わる 2019 年日本太鼓財団主催、「浅草太鼓祭」運営、制作にかかわる 2019 年琉球舞踊「仲程めぐみ 独演会」舞台監督・舞台美術・制作業務を務める 2020 年「令和 2 年度文化芸術による子供育成総合事業」巡回公演事業採択 沖縄伝統組踊「子の会」 C ブロック公演実施
学校等における公演実績	**2009 年 組踊鑑賞会「執心鐘入」3 校、パーフェクトパントマイム」1 校** **2010 年 組踊鑑賞会「執心鐘入」3 校、「パーフェクトパントマイム」1 校** **2011 年 組踊鑑賞会「執心鐘入」6 校、「パーフェクトパントマイム」1 校** **2012 年 組踊鑑賞会「執心鐘入」5 校、「パーフェクトパントマイム」1 校** **「狂言教室」4 校、「落語教室」 5 校** **2013 年 組踊鑑賞会「執心鐘入」3 校、「パーフェクトパントマイム」1 校** **「狂言教室」6 校、「落語教室」6 校** **2014 年 組踊鑑賞会「執心鐘入」17 校、「パーフェクトパントマイム」1 校** **「狂言教室」4 校 「落語教室」10 校** **2015 年 組踊鑑賞会「執心鐘入」20 校、「パーフェクトパントマイム」1 校** **「狂言教室」5 校 「落語教室」10 校** **2016 年 組踊鑑賞会「執心鐘入」20 校、「パーフェクトパントマイム」1 校** **「狂言教室」3 校** **2017 年 組踊鑑賞会「執心鐘入」10 校、「パーフェクトパントマイム」1 校** **「狂言教室」35 校** **2018 年 組踊鑑賞会「執心鐘入」15 校、「狂言教室」27 校** **2019 年 組踊鑑賞会「執心鐘入」10 校、「狂言教室」16 校**

<table>
<tr><td>特別支援学校における公演実績</td><td colspan="3">2016 年 「組踊鑑賞会」 1 校</td></tr>
<tr><td rowspan="5">参考資料の有無</td><td rowspan="3">A</td><td>申請する演目のチラシパンフレット等</td><td>（有） ・ 無</td></tr>
<tr><td>申請する演目の DVD または WEB 公開資料</td><td>（有） ・ 無</td></tr>
<tr><td>※公開資料有の場合 URL</td><td>https://www.youtube.com/watch?v=qsto0C_dvJ0&feature=youtu.be&fbclid=IwAR35D6LCtvUUErJ58q9EvErhOOqykRFzQnNl1CNVBcpQaCJ_Z92UDv8p5OI</td></tr>
<tr><td>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</td><td>ID:
PW:</td></tr>
<tr><td rowspan="3">A の提出が困難な場合</td><td>今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料</td><td>有 ・ 無</td></tr>
<tr><td>※公開資料有の場合 URL</td><td></td></tr>
<tr><td>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</td><td>ID:
PW:</td></tr>
</table>

公 演 ・ ワークショップの内 容　　**【公演団体名　一般社団法人善竹狂言事務所】**

対　　象	小学生（低学年 ・ 中学年 ・ 高学年）（・ 中 学 生）
企　画　名	能 ＆ 狂言 を忘るべからず
本公演演目 原作／作曲 脚　　本 演出／振付	本公演曲目：能 仕舞『羽衣』・狂言『柿山伏』・『菌』 プログラム 【第1部】 ●能楽、能について紹介とお話 ・能の成立、繁栄、現代に至るまでの歴史、まつわる人物など ・能舞台、役柄、演技、扇など ●能面、能装束について、紹介と体験 ●曲目　仕舞『羽衣』の作品紹介と、あらすじ、鑑賞方法のお話 **●上演曲目：仕舞 『羽衣』 クセ・キリ** ・作者：未詳 ・題材：「丹後国風土記（たんごのくにふどき）」逸文などに見える羽衣伝説 【第2部】 ●曲目 『柿山伏』の作品紹介と、あらすじ、鑑賞方法のお話 **●上演曲目：大藏流　狂言 『柿山伏』** ・種類：鬼・山伏狂言、分類：山伏狂言 ・監修：善竹十郎 ●曲目 『菌』の作品紹介と、あらすじ、鑑賞方法のお話 **●上演曲目：大藏流　狂言 『菌』　★代表児童・生徒みなさんとの共演** ・種類：鬼・山伏狂言、分類：山伏狂言 ・監修：善竹十郎 公演時間（ 90 分）

著作権	○	制作団体が所有		制作団体以外が所有する事項が含まれる		（制作団体以外が所有する事項が含まれる場合）許諾の有無

演目概要	

曲目:仕舞 『羽衣』 クセ・キリ

●あらすじ

三保の松原に住む漁師、白龍が、仲間たちと海岸の景色を眺めていると、松の木に引っ掛かる美しい衣を見つけます、白龍は持ち帰って宝にしようとします。

それは天女の羽衣で、現れた天女は、羽衣がなくては天に帰れないと嘆き悲しみます。初めは返すつもりのなかった白龍でしたが、天女の嘆く様子を哀れんで、舞を舞って見せてくれるならば、羽衣を返そうと言います。喜んだ天女は羽衣を身にまとうと、のちの世に「駿河舞」の名で伝わるようになった月世界の神秘と美しさを称えた舞を舞います。

すると地上の風景も、天上界のように美しく映るのでした。天女は地上に数々の宝を降らすと、やがて夕暮れの霞の中を、三保の松原から富士の高峰へ天高く昇っていきました。優美な明るさ、清らかさがただよう曲です。

●見どころ

・詞章「いや疑いは人間にあり、天に偽りなきものを」

天女は、羽衣がなければ舞うことができないと訴えますが、白龍は先に衣を返せば、舞を舞わずに天へ上ってしまうのではないかと疑います。それに対して天女は「疑いを持つのは人間にのみあることで、天には偽りということはないのに」と答えます。その言葉に白龍は恥じ入り、衣を返します。

★人間の欲深さや正直であることの大切さが込められています。

・詞章「御願圓満國土成就。七寶充満乃寶を降らし」

謡の文句に合わせて天女が、夕映えの遠くの山を眺めるさま、国土を祝福し宝を降らす様子、浦風に羽衣をたなびかせ、夕暮れの霞の中を、天高く上っていくさまなどを舞います。天女が宝を降らすというめでたく、明るく趣のある作品です。

★天下泰平の願いが込められています。

曲目:狂言 『柿山伏』

●あらすじ

修行の帰りで、空腹になった山伏が柿の木へ登り、実を食べていたところへ、畑主が見回りにきました。

木の陰に身を隠した山伏を見つけた畑主は、素知らぬ顔をし、あれはカラスだ、サルだと呼びかけるので、やむなく山伏もその鳴き真似をします。そして、トビなら空を飛ぶだろうと囃すのにつられ、つい飛ぼうとした山伏は墜落し、起き上がれなくなります。

笑って去ろうとする畑主を、祈りの力で呼び戻した山伏は、いったん自分を背負わせますが、すぐに振り落とされてしまいます。法力を身につけたはずの山伏が、自らの浅ましい行いのせいで、畑主に散々からかわれたうえに、痛い目に遭わされます。

●見どころ

舞台上に実際には見えない柿畑と柿の木と実ですが、山伏はどのように実際には無い柿の木に登ったように演じるのでしょうか、また山伏が畑主にからかわれて、動物の鳴き真似をさせられるシーンがあります。なんの動物鳴き真似をさせられるのでしょう、また鳴き声はなんと聞こえるでしょうか

	曲目:狂言『菌』 ●あらすじ ある男の家に得体の知れない大きな茸(きのこ)が生えて、取っても一夜のうちに元のように生えて気味が悪いので、男は法力の強い山伏を訪ねて祈祷(きとう)を頼みます。 山伏は男の家へやってきて、おもむろに祈祷を始めますが、茸は消えるどころか、祈れば祈るほどどんどん数を増していき、動き回っては山伏や男にとりつき、いたずらをしたりします。疲れ果てた山伏が、最後の気力を振り絞って祈ると、鬼茸が襲いかかってきたので、山伏はたまらず逃げ出してしまいます。 ●見どころ 山伏の出で立ちの仰々しさと、祈祷の文句の滑稽さ、失敗したときのうろたえぶりなどとのギャップが大きく、笑いを誘います。 茸たちは、笠を被り、面を着け、両袖を胸の前に引き寄せて抱え込み、腰を落としてすり足で歩き回ります。奇妙な巨大茸を表現するのに、このような突飛なスタイルを生み出した発想は秀逸で、続々と登場する茸たちの姿は童話的でもあります ※本公演に於いて、仮設能舞台の脇にスクリーンを設置し、プロジェクターを利用し、タイトルやセリフなどを投影し、見やすく分かりやすく上演いたします。 以上が演目概要でございます。
演目選択理由	能楽とは、600 年を超える歴史の中で独自の様式で磨き上げてきた、日本を代表する伝統芸能です。能は歌舞劇として人間の悲しみや怒り、恋慕の思いなどが描かれています。狂言は笑いの面を受け持つ劇として洗練を重ねてきました。両者は兄弟のようで、源は 1 つです。能と狂言を合わせて「能楽」といいます。 能は、謡と囃子を伴奏に、演者が能面をかけて演じます。様式化された極めて簡素な所作で物語が展開されます。 狂言は、セリフによる喜劇で、中世の庶民のくらしぶり、普遍的な人間のおかしさが描き出されていて、和やかな笑いを誘います。 能楽(能・狂言)は2008年、ユネスコ無形文化遺産に登録されています。我が国においては1957年、重要無形文化財に指定されています。 文部科学省の小学校学習指導要領、2017年小学校学習指導要領解説　国語編、第2章、第2節、2(知識及び技能)の内容の(3)に、「我が国の言語文化に関する事項に伝統的な言語文化に親しんだり、楽しんだりするとともに、その豊かさに気付き、理解を深めることに重点を置いて内容を構成している」とあります。 また中学生学習指導要領、2017年中学生学習指導要領解説　国語編、第2章、第2節、2(知識及び技能)の内容の(3)に、「小学校での学習を踏まえ、中学校においても引き続き親しむことを重視し、その表現を味わったり，自らの表現に生かしたりすることに重点を置いて内容を構成している」とあります。 能は謡と囃子に合わせ演じられる歌舞劇です。 **曲目:仕舞『羽衣』クセ・キリ** 能の曲目の中でも屈指の人気曲で、上演頻度が高く、非常に洗練された作品です。また一般的に、能を学ぶときに最初に習うのが謡ですが、その謡のなかで「羽衣」の謡が使われることがあります。こうしたことから本事業にふさわしい曲目ではないでしょうか。 小学校、中学校において教科書に教材掲載がされていることから、教育制が高く、また実演芸能を見ることで、奥行きのある立体的な教育に貢献できると考えます。

曲目の『羽衣』にまつわる事として、羽衣伝説があります。日本をはじめ、世界各地に同じような伝説があります。天女にまつわる伝説も日本各地にあります。本事業実施校、また近郊で、こうした『羽衣伝説』にまつわる話を、ワークショップや本公演において取り上げることで、郷土の歴史に興味関心を持ってもらい、さらには鑑賞能力の向上に繋がると思います。

★仕舞『羽衣』　クセ・キリの謡

地謡
春がすみ たなびきにけり久かたの 月の桂の花や咲く げに花かずら色めくは
春のしるし かや 面白やあめならで ここも妙なり天つ風 雲の通い路ふきとじよ
乙女の姿 しばしとどまりて この松原の 春の色を三保が崎 月清見がた富士の雪
いずれや春のあけぼの たぐい波も松風ものどかなる浦の有様 その上あめつちは
何をへだてん玉垣の内外の神のみ末にて 月も曇らぬ日の本や

シテ
君が代は天の羽衣まれにきて

地謡
なずともつきぬいわおぞと きくもたえなりあずまうた こえそえてえ数数の 笙笛
琴箜篌孤雲のほかにみちみちて 落日のくれないは蘇命路の山をうつして
緑は波にうき島が払う嵐に花ふりて げに雪をめぐらす 白雲の袖ぞたえなる

シテ
南無帰命天子 本地大勢至

地謡
あずま遊びの 舞の局

シテ
あるいは あまつみそらの緑の衣

地謡
または春立つ霞の衣

シテ
色香も妙なり乙女のもすそ

地謡
さいうさ左右さつさつの 花をかざしての 天の羽袖なびくも返すも舞のそで
あずま遊びの数数に あずま遊びの数数にその名も月のいろは人は 三五夜中の
空にまた 満願真如の陰となり ご願円満國土成就七宝充満のたからをふらし
國土にこれを ほどこし給うさるほどに 時うつって あまの羽衣浦風にたなびき
たなびく 三保の松風うき島が雲のあしたか山や富士の高根かすかになりて
あまつみ空の霞にまぎれてうせにけり

能の上演形式に於いて、本来であれば、『羽衣』1曲を通して鑑賞していただくことが、最善ではあるのですが、今回は第一部に於いての能を**‘識る’**ことにポイントを置き、知識や体験を通して、能楽への興味関心を最大まで深めることで、発想力の向上、また次の能楽鑑賞の手引きとなる機会に繋がるように、鑑賞演目は仕舞 『羽衣』 キリの場のみの上演とさせていただきます。
★仕舞 『羽衣』 キリ の上演ですが、天女（シテ方）は装束、面をつけ、本来の『羽衣』の天女の能衣装で、様式美をもって上演させていただきます。

狂言は世界最古の喜劇です。

文部科学省の学習指導要領の2008年「小学校学習指導要領」において、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」が新設され、育成が重視されています。

2018年までの小学校国語教科書を発行している、全5社（光村図書、東京書籍、教育出版、学校図書、三省堂）の教科書に1961年度版から2015年度版まで54年間に渡って、狂言の曲目がいずれか採録されています。また出版社3社（光村図書、東京書籍、三省堂）において、多く採録された曲目は「附子」「柿山伏」「盆山」であります。

曲目:『柿山伏』

（柿の木の上の山伏）

曲目「柿山伏」の登場人物は、山伏（シテ）と畑主（アド）の2人であることから、物語の筋が理解しやすいことに加え、擬態語や擬音語を使うシーンが多く、滑稽な演技が笑いを誘う、初めての狂言鑑賞にふさわしい、分かりやすい曲目でございます。

登場人物の山伏（シテ）と畑主（アド）との関係やお互いの心理状態を想像し、喜劇としての魅力を知り、そして自分が登場人物と同じ立場ならどうするか、状況を考え発想力を働かせることが出来るでしょう。曲中、山伏が、生き物の鳴き真似などの描写をします。これらは児童・生徒のみなさんが直ぐ同じように真似ることが出来ることで、鑑賞後に学校や家庭において、感想を伝える際に鳴き真似などの描写を行うことでコミュニケーション能力の向上に繋がると考えます。

曲目:『菌』

（山伏と菌２名）

曲目:『菌』は登場人物が多く、児童・生徒みなさんと共演・体験の形態を作りやすく、また複雑な所作（演技）が無いことから、自分で発想して動き回ることができる楽しさがあります。鑑賞する児童・生徒のみなさんは、共演している友達を見て、キノコであることを想像しながら興味をもって鑑賞できる曲目であります。

共演児童・生徒のみなさんは、出演者と一緒に一つの作品を作るということから、主体的に取り組むことで、責任感を持ち、自習性を育めるのではないでしょうか。共演することで狂言の面白さを全身で感じ取り、生涯にわたって伝統芸能に親しむための素地を作ることが出来るのではないかと思います。

★どちらも山伏の装束です

（曲目：『柿山伏』山伏の装束）

（曲目：『菌』山伏の装束）

	狂言を2番上演する理由としまして、能楽を今事業で初めて鑑賞する児童・生徒のみなさんが多くいると思います。 そこで鑑賞作品として『柿山伏』、共演作品として『菌』と分けることに致しました。 喜劇性、笑いが多くある狂言を2番取り入れることで、初めての能楽鑑賞が“分からないから難しい”といった、先入観や観念を取り払うために、楽しく、鑑賞しやすいプログラムと致しました。 この2番の分類は、どちらも山伏狂言となります。本来であれば、違う分類の曲を上演するのですが、山伏（シテ）が共通する曲目であることから、かえって物語の筋が分かりやすくなり、鑑賞能力が向上することでしょう。 また視覚的に、同じ山伏ですが、出立（装束）が違います。それは何故、どこが違うのかなど、細やかな鑑賞能力が必要であることから、鑑賞中の集中力も高められます。 この2番は、現代への風刺が描かれているため、私たちの身近な出来事と置き換えることで、曲目の理解を深めることが出来ることでしょう。 以上が演目選択理由でございます。
児童・生徒の共演，参加又は体験の形態	代表児童・生徒と出演者との共演となります。 ●共演曲目 『菌』 ワークショップで指導者とお稽古をした、代表児童・生徒のみなさんと、体育館内に設置した、仮設の能舞台へ上がり、共演となります。 ●配役は以下の通りです。 ・シテ：山伏・・・大藏流　狂言方 ・アド：何某・・・大藏流　狂言方 ・立衆：菌・・・代表の児童・生徒 ・小アド：鬼菌・・・代表の先生 代表児童・生徒のみなさんは、案内役の指示で観賞場所から移動して、パネルの陰で支度を行います。支度は衣装（羽織り物）に帯締め、履物は白足袋、頭にはまんじゅう笠を被ってもらいます。準備が出来たら、狂言『菌』の開演です。

<table>
<tr><td></td><td colspan="3">

★工夫ポイント
『菌』の共演以外の全校児童・生徒のみなさんも、体験する機会がございます。

【1部】
面をつける
謡を体験する

【2部】
名乗りを体験する

★体育館内に狂言で使われる衣装・小道具の展示なども行います。
休憩時間に鑑賞できるよう設置いたします。

以上が児童・生徒の共演、参加又は体験の形態でございます。</td></tr>
<tr><td>出　演　者</td><td colspan="3">狂言師
善竹十郎 （大藏流狂言方） 善竹大二郎 （大藏流狂言方）
野島伸仁 （大藏流狂言方） 川野誠一 （大藏流狂言方）
ほか東京善竹家門弟から

能楽師
観世流、金春流のどちらかの流派から、シテ方と地謡</td></tr>
<tr><td>公演出演予定者数
（1公演あたり）</td><td>出 演 者: 11 名
ス タ ッ フ: 5 名
合　　計: 16 名</td><td>機 材 等
運搬方法</td><td>積載量 2 t
車 長 4.7 m
台 数 1 台</td></tr>
</table>

【公演団体名　一般社団法人善竹狂言事務所】

公演に当たっての会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。
会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安	前日仕込み(有 ・(無)) 会場設営の所要時間(2 時間程度)

到着	仕込み/リハーサル	本公演	内休憩	撤去	退出
8:50	9:00/11:00	13:30-15:00	10 分	15:10-16-10	16:20

※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時 30 分からの概ね2時限分程度です。

児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	3 名～700 名
	本公演	3 名～800 名

ワークショップ実施形態及び内容

授業時間の2時限分をお借りして、実施する予定です
1時限目は**全校**児童・生徒を対象とさせて下さい。
2時限目は**代表**児童・生徒を対象とさせて下さい。
※様々な状況を鑑みて実施時間や対象学年、代表児童・生徒の選抜などにつきまして、ご相談をさせてください。

【1時限目】 **全校**児童・生徒対象 (40分)
●実施形態及び内容
① 指導者による、能楽の歴史や、能の成り立ちと狂言について基礎的なことについて、アイスブレイクの手法の一つ、クイズ形式で、お話をすすめます。
・能楽ってなんだろう？ 怖い！楽しい！悲しい？
・いつ頃何時代、どこの場所で、誰が、何のために始めたのか？
・どうやって今現在に伝わってきたのか？
・今はどんな人が演じているのか？

② 児童・生徒のみなさんに、演者の基礎的な動きと、短いセリフを言う、体験をしてもらいます。
・基本動作・・・座る(正座) → あいさつ(一礼) → 立つ(構え) → 前に歩く(運び) → 止まる(構える) → 座る
・所作(演技)・・・のこぎりで切る→石を投げる→大きな茶碗を割る(2 名でおこなう)
・感情表現・・・動物(犬や猿)の鳴き真似 → 泣く → 笑う

③ 児童・生徒のみなさんでセリフの体験をしてもらいます。
・指導者によるセリフの実演、曲目「柿山伏」の曲中の一部分です。
・児童・生徒のみなさんにセリフを区切り、抑揚やリズムなど指導しながら、セリフを通して言えるまで、繰り返し行います。
・お友達と2人ペアになりセリフの掛け合いをします(申し合せ)
・通してセリフを出来るようになったら、児童・生徒のみなさん、先生方の中から、数人ステージに上がってもらいセリフを実演してもらいます。

④ 感想や質問コーナー・質疑応答 「ワークショップの内容を振り返る」
ワークショップ 1 時限目の最後に、指導者と児童・生徒で会話によるコミュニケーション用いて、ワークショップの内容を振り返ります。形式は、感想や質問なんでも結構です。指導者からの児童・生徒のみなさんへの質問もございます。

●ワークショップの効果予想と、本公演との関連性
①から④の順でワークショップ 1 時限目をお送りすることで、初めて能楽について学び、狂言を体験する、そうしたことで児童・生徒みなさんに、能楽の魅力を知ってもらい、演者の様々な技術的な体験をすることで、本公演の興味関心を促し、鑑賞能力の向上に繋げたいと考えます。

【2時限目】 代表児童・生徒対象 （40分）
●実施形態及び内容
本公演に於いて、代表児童・生徒と、出演者との共演曲目、大藏流 狂言 **『菌』**を、お稽古する時間とさせていただきます。

① 始めに狂言『菌』のあらすじをお話しします。物語の筋を覚えてもらい、代表児童・生徒が演じる役柄、キノコについてお話しします。

② 代表児童・生徒全員に白足袋を履いてもらいます。
その中から1名、本公演で演じるキノコの役柄の姿になってもらい、皆さんに共演時の格好をイメージしておいてもらます。（衣装を着る・笠をかぶる・白足袋をはく）。
次に、キノコの動き方を練習してもらいます。
つづいてセリフを声に出してもらい、動きと合わせて練習します。
※代表児童・生徒全員が白足袋を履いて、お稽古します

③ 本公演で上演出来るように指導者と一緒にお稽古を繰りかえし、通して出来るまでリハーサルを行います。通して出来るようになれば終了です。

④ ワークショップ2限目の最後に、指導者と児童・生徒で会話によるコミュニケーションを用いて、ワークショップの内容を振り返ります。形式は、感想や質問なんでも結構です。指導者からの児童・生徒のみなさんへの質問もございます。

●ワークショップの効果予想と、本公演との関連性
指導者と代表児童・生徒だけのワークショップの時間となります。このお稽古の時間に、指導者から演じること、体の使い方、声の出し方など細かく指導してもらいます。そうしたことで、代表児童・生徒が主体的に真剣に学ぶ姿勢を指導者から感じて欲しいのです。
また足袋を初めて履く、児童・生徒みなさんも多くいるのではないでしょうか。
そして本公演での『菌』の共演までに、どんな工夫が出来るか等を考えてもらい、発想力を育むことに繋がればと思います。

★ワークシートの利用につきまして。
●実施形態及び内容
ワークショップに学校へ伺う前に、全校児童・生徒のみなさん用にワークシートをお送りします。このワークシートは、ワークショップにおける内容の振り返りに、お使いください。
是非取り組んでみてください。

	●ワークショップの効果予想と、本公演との関連性 私どもが本公演に伺いましたら、ワークシートを拝見させていただき、どのような回答や意見があるかを確認しまして、本公演の開演までに、台本の修正や、言い回しの変更箇所を確認し、内容の重複を避けて、足りない部分を補えるように、しっかりと本公演に向けて準備をさせていただきます。 以上がワークショップ実施形態及び内容でございます。
ワークショップ実施形態の意図	【1時限目】 全校児童・生徒のみなさんが、初めて能楽を知り、狂言に触れる貴重な機会となります。観て、演じて楽しむことを通して、心が豊かなになり、能楽という舞台芸術の素晴らしさ、魅力に初めて気付くきっかけになればと思うのです。 一つのことを児童・生徒、先生みんなで同時に体験することで、周囲の様子を見る、自分を振り返ることができます。そうしたことから羞恥心をなくし、コミュニケーション能力を高め、楽しみながら演じることで想像力を育みながら有意義な時間を過ごすことが出来るのではないでしょうか。 また自分以外の人には、多様な物事の捉え方があることを知り、多様性、協調性を育むことに繋がるのではないでしょうか。その多様性、協調性を育む為には、体や言語を使ったコミュニケーションが必要です。このワークショップで狂言独特の、身体表現、言語表現を通して、コミュニケーション能力の向上になればと考えます。 また、ワークショップ 1 時限目の最後に、感想や質問コーナー・質疑応答を行うことで、ワークショップの内容が確かな記憶として留めてもらえるようになればと考えます。演劇ワークショップに於いて重要とされるのが、ワークショップで行ったことを振り返ることと言われます。振り返ることにより、自分が何を知り、経験し、その時何を考え、感じたかなどを頭で回想する作業が行われます。 そうしたことで、識ることが深まり、能楽が起源してから600年以上、受け継がれ現在まで継承されている伝統芸能であることを児童・生徒みなさんにしっかり記憶してもらい、将来の芸術家の育成、また本公演への期待を高められるように、お伝えできればと思います。 【2時限目】 能楽師、狂言師には各流派があり、その流派の中にいくつかの家系があります。演者はそれぞれの家系に所属していて、その流派と家系の型となる技術を習得します。その習得には、厳しい身体の鍛錬が必要とされます。 この狂言『菌』の共演で、指導者が実演を行い、それを代表児童・生徒が同じことを繰り返します。その繰り返しは指導者の実演を真似ることになります。 真似ることは、伝統芸能の芸の伝承において、大変重要なことで本来であれば、師匠と弟子が合い向かいとなり、師匠の芸を「真似る」、「真似ぶ」、「口伝」といった形で習得していくのです。こうした体験を通して、伝統芸能が受け継がれていることを頭と、体で知ってもらえることでしょう。 本公演の上演作品で、出演者と共演する代表児童・生徒は、この体験を通して、主体性をもって取り組んでもらえるように指導し、チャレンジ精神をもって本公演で多くの児童・生徒みなさんの前で演じることが出来るよう、伝承されてきた精神を持って正しく伝え、代表児童・生徒が責任感を持って共演できるようにワークショップを行います。 このワークショップを通して、達成感を感じ、成功体験へ繋げられるように導いて、何事にも自信を持って取り組み。自分自身の力で新たに何かを生み出すことや、ある答えを導き出す能力向上にも繋がることでしょう。 伝統芸能、能楽の振興、繁栄には、後進の育成が重要なことです。こうしたことが将来の芸術家の育成にも繋がる一助となるよう取り組ませていただきます。 以上がワークショップ実施形態の意図でございます。

特別支援学校での実施における工夫点	ご担当の先生との連絡を密にとり、普段どのように行事などを行っているかなど詳しく教えて頂き、多くの児童・生徒さんが参加出来るよう工夫致します。 共演、参加の形態も、ご無理の無いように可能な限り参加していただき、よく相談して進めさせて頂きます。
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。

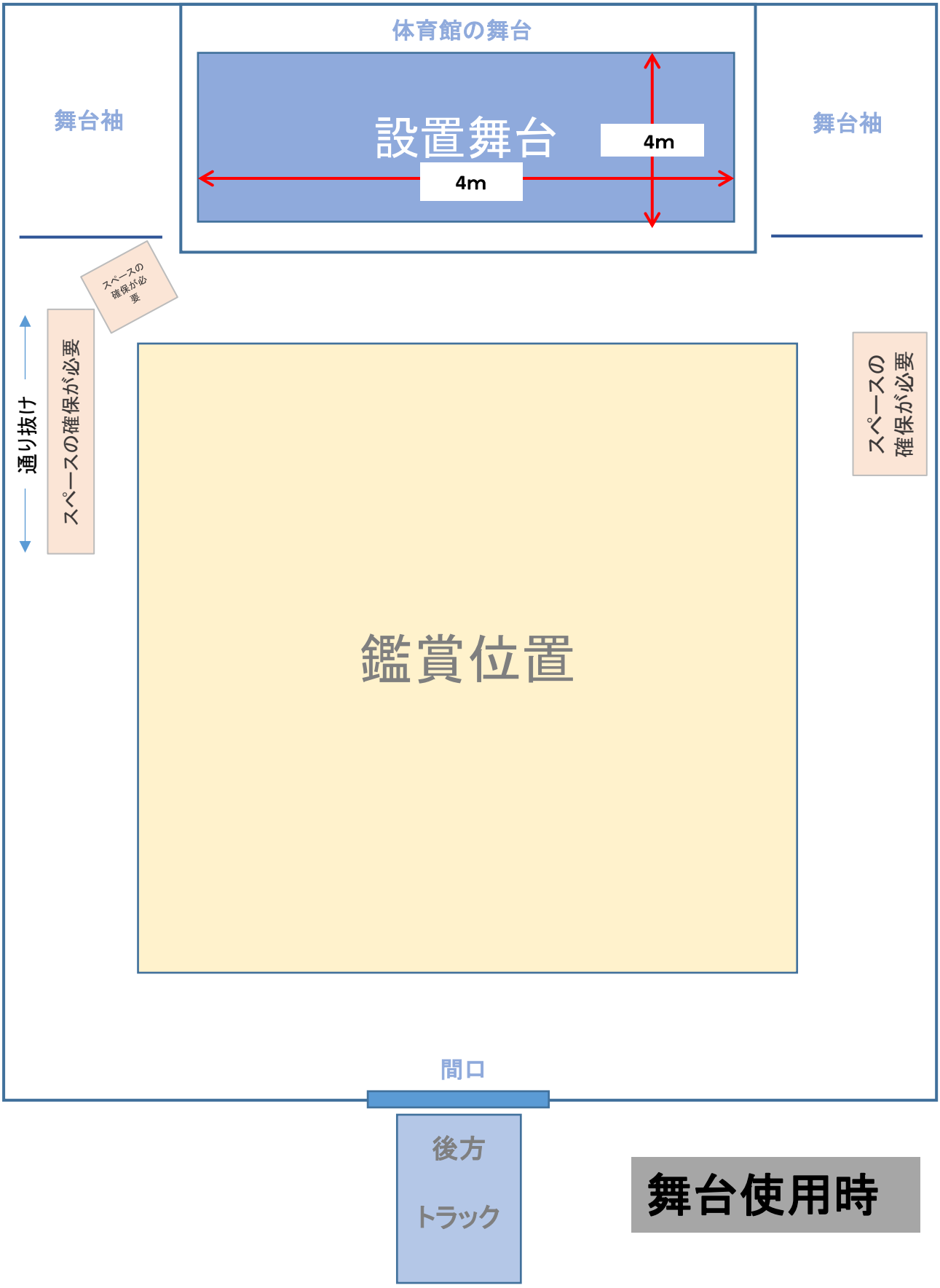
【令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	921	分野	伝統芸能	種目	歌舞伎・能楽	ブロック		区分	A区分
公演団体名	一般社団法人　善竹狂言事務所				制作団体名	株式会社　BOX4628			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数＊	1室	条件					
搬入について	可	来校する車両の大きさと台数＊			2tトラック　1台		中型バス　1台		
	可	来校する車両の内，横づけが必要な車両の大きさ			2tトラック、長さ4.7m、幅2m				
	可	搬入車両の横づけの要否＊			要				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離＊			10m以内				
	可	搬入経路の最低条件			出来る限り階段のない経路が望ましい。				
		理由			寸法の大きい大道具がある為				
	可	設置階の制限＊			問わない				
	可	搬入間口について 単位：メートル	幅	1.5m	高さ	1.5m			
WSについて	可	参加可能人数		700名程度まで					
	可	学年の指定の有無＊		なし	指定学年＊	なし			
	可	所要時間の目安 単位：分		90分程度					
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安を御参照ください。					
	可	鑑賞可能人数		800名程度					
	可	舞台設置場所＊		ステージ上への設置・フロアへの設置ともに対応可能					
	可	舞台設置に必要な広さ 単位：メートル	幅	4m	奥行	4m	高さ	指定ございません	
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保＊	要					
	可		舞台袖スペースの条件＊	可能な限り、片付け整理された状態					
	可		緞帳＊	不要	バトン＊	不要			
	可	遮光(暗幕等)の要否＊		不要	理由				
	―	ピアノの調律・移動の要否	指定位置へのピアノの移動＊		※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。				
	―		ピアノの事前調律＊						
	可	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況＊	格納されていれば可					
	可	公演に必要な電源容量		60A	※主幹電源の必要容量				
	その他特記事項								

会場図面(表記単位:メートル)

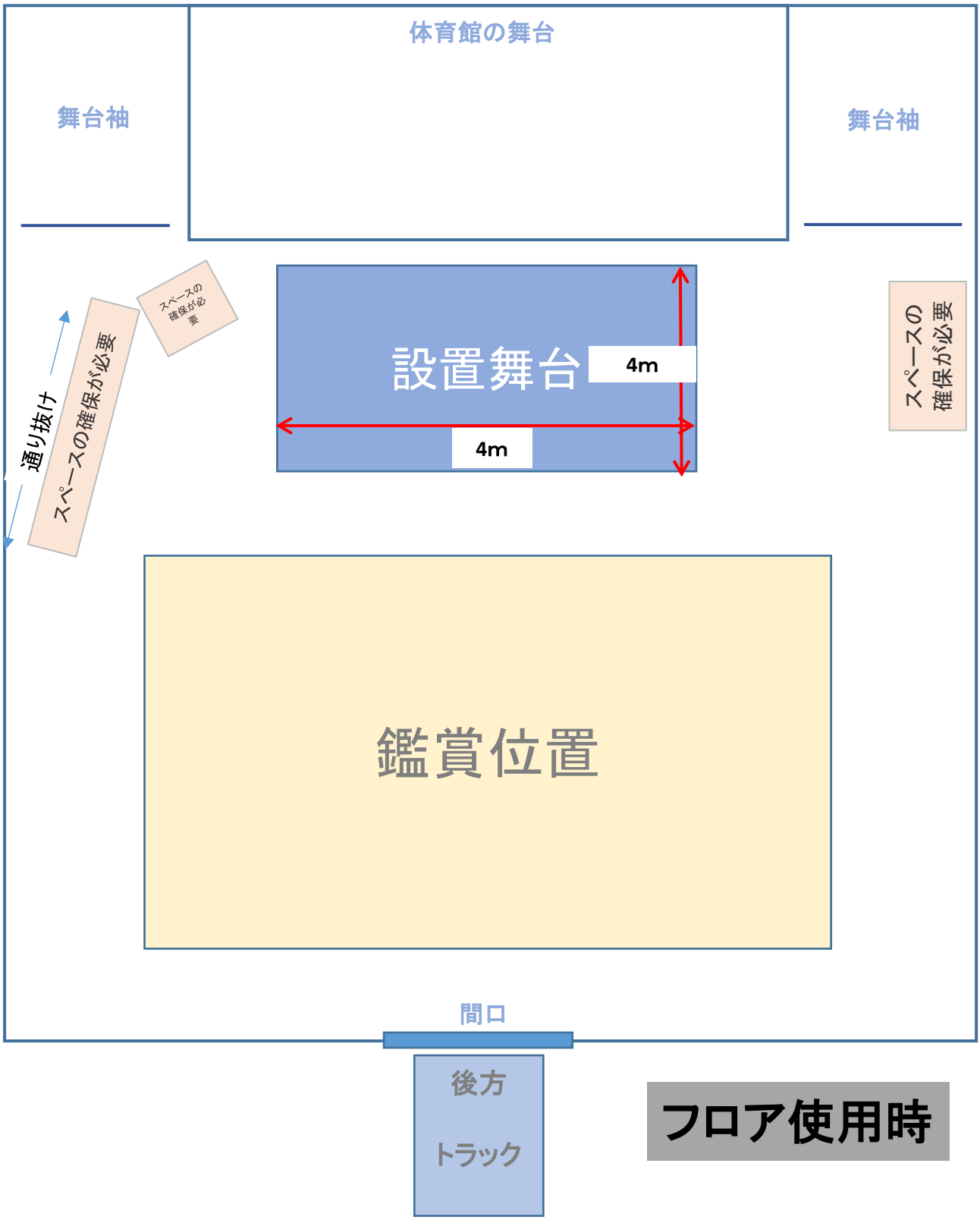


舞台使用時

搬入間口について	幅	1.5 m	高さ	1.5 m
搬入車両の横づけの要否		可能な限り		
横づけができない場合の搬入可能距離		10m		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	1.5 m	高さ	1.5 m
搬入車両の横づけの要否		可能な限り		
横づけができない場合の搬入可能距離		10m		

Ⅵ 令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野，種目（該当する**種目**に○を付してください。）

分野	種目
【音楽】	合唱，オーケストラ等，音楽劇
【演劇】	児童劇，演劇，ミュージカル
【舞踊】	バレエ，現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽，人形浄瑠璃，(邦楽)，邦舞，演芸

申請する区分に，○を付してください。　(A区分のみ)・A区分とB区分の両方 ・ C 区分

複数申請の有無（該当する方に○を付してください。）　あ り ・(な し)

複数の企画が採択された場合の実施体制（該当する選択肢のいずれかに○を付してください。）
(1) 公演の実施時期が重複しても，複数の企画を実施可能
(2) 公演の実施時期が重複しなければ，複数の企画を実施可能
(3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
(4) その他（　　）

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	かぶしきがいしゃ　きたまえせん 株式会社　北前船		
代表者 職・氏名	代表取締役社長　青木孝夫		
制作団体 所在地 （最寄り駅・バス停）	〒952-0611 新潟県佐渡市小木金田新田 148-1（佐渡汽船小木港より車で 15 分）		
電話番号	0259-86-3630	FAX番号	0259-86-3631
ふりがな 公演団体名	たいこげいのうしゅうだん　こどう 太鼓芸能集団 鼓童		
代表者 職・氏名	代表　船橋裕一郎		
公演団体所在地 （最寄り駅・バス停）	〒952-0611 新潟県佐渡市小木金田新田 148-1（佐渡汽船小木港より車で 15 分）		
制作団体 設立年月	昭和 56 年 2 月		
制作団体 組　織	役　職　員 代表取締役社長 青木孝夫 専務取締役 洲崎拓郎 取締役 新井和子 社外取締役 佐藤一行 太鼓芸能集団「鼓童」代表　船橋裕一郎	団体構成員及び加入条件等 株式会社北前船　職員　56 名 太鼓芸能集団 鼓童 正団員　34 名　準団員　1 名 鼓童加入条件:2 年間の研修期間、1 年間の準団員としての実地研修、選考を経て、正団員になる。	
事務体制 の担当	(専任)　・　他の業務と兼任	本事業担当者名	柳澤美希、後藤美奈子
経理処理等の監査担当の有無	(有)　・　無	経理責任者名	斎藤美和

<table>
<tr><td>制作団体沿革</td><td colspan="3">株式会社北前船の運営する太鼓芸能集団 鼓童は、太鼓を中心とした伝統的な音楽芸能や郷土芸能を基盤に、新たな舞台表現の方法を探求する芸能集団である。独自性がありながらも、様々な境界を越えて人々の心に届く良質な作品や楽曲の創造を行い、その成果を日本国内のみならず世界中の人々と共有し、芸術文化の振興に寄与することを目的としている。また、国際交流、教育、医療、地域振興など様々な分野と連携し、「太鼓」のもつ力を、舞台演奏に限らず、広く社会に還元することを目指している。
昭和 46 年 9 月 「佐渡の國鬼太鼓座」活動を開始。
昭和 56 年 2 月 「鼓童」に改称。団体の法人格として「株式会社北前船」を設立。
昭和 63 年 8 月 佐渡市と連携し国際芸術祭「アース・セレブレーション」開催。現在も毎年継続中。
平成 9 年 4 月 外郭に財団法人鼓童文化財団を設立(平成 23 年 11 月 1 日より公益財団法人)。
平成 19 年 4 月 佐渡太鼓体験交流館の鼓童文化財団による委託運営を開始。
平成 24 年 4 月 歌舞伎俳優の坂東玉三郎が、「鼓童」の芸術監督に就任。(平成 28 年 9 月まで)</td></tr>
<tr><td>学校等における公演実績</td><td colspan="3">令和元年度:52 公演 27,400 人 (保育園 2、小学校 23、中学校 18、高校 9)
平成 30 年度:30 公演 17,813 人 (保育園 0、小学校 35、中学校 4、高校 4、支援学校 3)
平成 29 年度:74 公演 83,360 人 (保育園 2、小学校 41、中学校 20、高校 10、支援学校 1)
平成 28 年度:45 公演 46,670 人 (小学校 16、中学校 13、高校 16、支援学校 2)
平成 27 年度:73 公演 66,490 人 (小学校 44、中学校 13、支援学校 3、海外 11)
平成 26 年度:44 公演 45,725 人 (小学校 36、中学校 6)
平成 25 年度:28 公演 11,563 人(小学校 44、中学校 25、高校 3、特別支援学校 4)
平成 24 年度:41 公演 13,248 人(小学校 46、中学校 19、養護学校 1)
平成 23 年度:85 公演 30,589 人(小学校 79、中学校 31、高校 5、中高一貫校 1、短期大学 1、支援学校 5、養護学校 2、盲学校 1)
平成 22 年度:43 公演 22,200 人(小学校 63、中学校 6、高校 3、大学 1、中高合同 2、聾学校 1、障害者施設 1)
平成 21 年度:84 公演 34,074 人(小学校 31、中学校 22、小中合同 15、高校 4、中高合同 1、支援学校 4、地域 7)
平成 20 年度:91 公演 38,646 人(小学校 73、中学校 16、高校 5、幼稚園 1、養護学校 4、地域 7)
平成 19 年度:87 公演 30,871 人(中学校 41、小学校 42、高校 1、保育園 2、養護学校 2、聾学校 1、地域 5)
平成 18 年度:36 公演 15,000 人(中学校 24、小学校 2、高校 5、養護学校 1、地域 4)
平成 17 年度:44 公演 17,800 人(中学校 29、小学校 5、高校 5、養護学校 1、福祉施設 1、地域 3)
平成 16 年度:23 公演 7,130 人(中学校 12、小学校 2、高校 5、養護学校 1、福祉施設 1、地域 2)
平成 15 年度:30 公演 8,000 人(中学校 24、小学校 2、高校 2、養護学校 1、地域 1)
平成 14 年度:13 公演 3,500 人(中学校 10、小学校 4、養護学校 1)
平成 13 年度:25 公演 10,200 人(中学校 15、高校 7、養護学校 1、地域 2)
平成 12 年度:31 公演 11,800 人(中学校 28、小学校 1、地域 2)
平成 11 年度:29 公演 12,000 人(中学校 26、小学校 1、高校 1、福祉施設 1)</td></tr>
<tr><td>特別支援学校における公演実績</td><td colspan="3">以下の単独での支援学校での公演実績に加え、合同鑑賞での実績もあります。
平成 30 年度:長野県若槻養護学校、長野県ろう学校、長野県盲学校
平成 29 年度:鳥取大学附属特別支援学校
平成 27 年度:松本市立松本養護学校、鳥取聾学校・盲学校、江南高等特別支援学校 川岸分校
平成 25 年度:長岡療育園、皆生養護学校・鳥取聾学校ひまわり分校、米子養護学校
平成 24 年度:島根県立浜田養護学校
平成 23 年度:長岡療育園、花巻清風支援学校、盛岡みたけ支援学校、久慈拓陽支援学校
平成 22 年度:長岡療育園、新潟聾学校
平成 21 年度:月ヶ岡養護学校、埼玉県立川口特別支援学校、和歌山県立紀北支援学校
平成 20 年度:宮古養護学校、釜石養護学校、気仙養護学校、前沢養護学校
平成 19 年度:松本養護学校
平成 18 年度:気仙養護学校
平成 17 年度:稲荷山養護学校、あけぼの園、豊明高等養護学校
平成 16 年度:ふじの実学園、気仙養護学校、月が岡養護学校
平成 15 年度:神戸市立盲学校
平成 14 年度:前沢養護学校
平成 13 年度:月が岡養護学校
平成 12 年度:新潟盲学校</td></tr>
<tr><td rowspan="6">参考資料の有無</td><td rowspan="4">A</td><td>申請する演目のチラシパンフレット等</td><td>(有) ・ 無</td></tr>
<tr><td>申請する演目の DVD または WEB 公開資料</td><td>(有) ・ 無</td></tr>
<tr><td>※公開資料有の場合 URL</td><td>https://www.kodo.or.jp/performance_schoool</td></tr>
<tr><td>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</td><td>ID:
PW:</td></tr>
<tr><td rowspan="3">A の提出が困難な場合</td><td>今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料</td><td>有 ・ 無</td></tr>
<tr><td>※公開資料有の場合 URL</td><td></td></tr>
<tr><td>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</td><td>ID:
PW:</td></tr>
</table>

公 演 ・ ワークショップの内容　　**【公演団体名**　太鼓芸能集団 鼓童　**】**

対　象	小学生（ 低学年 ・ 中学年・ 高学年 ）　・　中学生					
企画名	鼓童の交流学校公演					
本公演演目 原作／作曲 脚　　本 演出／振付	［１］太鼓演奏（大太鼓［鼓童編曲］、屋台囃子［鼓童編曲］ほか全体で５～６曲） ［２］太鼓体験 ［３］トーク（メンバー自己紹介、楽器の紹介など） 公演時間（小学生 60 分／中学生 70 分　途中休憩なし）					
著作権		制作団体が所有	○	制作団体以外が所有する事項が含まれる		（制作団体以外が所有する事項が含まれる場合）許諾の有無
演目概要	本公演は、世界的に高い芸術評価を得ている鼓童の舞台を、感性豊かな子どもたちのために平易に親しみやすく紹介するものです。 「太鼓演奏」では、鼓童の舞台を構成している3つの要素（各地の日本芸能に素材をとったもの／外部の音楽家による作品／鼓童メンバーによる楽曲）を解説し、太鼓音楽の幅広さや奥深さを立体的に伝えていきます。 「太鼓体験」では、和太鼓の性質を知り、実際に体験してもらうだけでなく、他の子どもたちが叩く音に耳をすまし、そのリズムに合わせていくことでチームワークや協調性を学ぶ機会を提供します。 さらにメンバーによる「トーク」のコーナーは、主に 20 代で構成される鼓童メンバーが子どもの頃に何を考えていたか、どうして鼓童の舞台に立とうと思ったのかなどを語り、将来ある子どもたちに夢を持つことの大切さを伝えます。また、舞台で使用されている様々な楽器について、専門家の視点からやさしく解説し、日本の伝統音楽の教育にも貢献します。					
演目選択理由	以下の観点で演目を選択します。 [1]和太鼓の響きや音を体感してもらえる。 [2]和太鼓の種類と様々な演奏スタイルが見ることができる。 [3]和太鼓と他の楽器の組み合わせから多様性と可能性を感じてもらえる。 [4]太鼓以外にも邦楽器のアンサンブル（調和）が実感できる。					
児童・生徒の共演，参加又は体験の形態	「太鼓体験」で生徒の代表（約 12 名）が、実際に太鼓を叩きながら覚えたリズムパターンを組み合わせて、他の生徒（太鼓のほか手拍子など）や、鼓童メンバーと共演します。 太鼓体験と共演は、体育館の舞台下のエリアを使用しますが、会場全体の一体感を生み出すため、演奏者は客席エリアや体育館後方を動き回って演奏します。					
出演者	全７名 出身地など割当ブロックを考慮して鼓童メンバーより選抜、2020 年 12 月決定予定					
公演出演予定者数 （1公演あたり）	出 演 者:　７名 スタッフ:　２名 合　　計:　９名			機材等 運搬方法	積載量　４ｔ 車 長　8m 台 数　１台	

Ａ区分・Ｂ区・Ｃ区分共通

№3(実演芸術) **【公演団体名** 太鼓芸能集団 鼓童 **】**

<table>
<tr><td>公演に当たっての
会場条件</td><td>実施条件等確認書①をご確認ください。</td></tr>
<tr><td>会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安</td><td>前日仕込み(~~有~~・無) 会場設営の所要時間(　　3 時間程度　)
<table><tr><td>到着</td><td>仕込み</td><td>本公演</td><td>内休憩</td><td>撤去</td><td>退出</td></tr><tr><td>10:00</td><td>10:00～13:00</td><td>13:30～14:50</td><td>なし</td><td>15:15～16:15</td><td>16:15</td></tr></table>※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時 30 分からの概ね2時限分程度です。
▸体育館が2階以上、またはステージが仮設もしくはない場合は、目安より1時間程度仕込みと撤去の時間がかかります。
▸午前中の場合は 8:00 到着／10:40～12:00 本公演／12:30～13:30 撤去が可能です。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">児童・生徒の参加可能人数</td><td>ワークショップ</td><td>100名程度まで／
実際に太鼓をたたく児童生徒は十数人</td></tr>
<tr><td>本公演</td><td>～600 人／
体育館内での適正な鑑賞エリアが確保できれば可能</td></tr>
<tr><td>ワークショップ
実施形態
及び内容</td><td colspan="2">太鼓体験（60 分 途中休憩あり）
［１］デモ演奏：5 分（1 曲）
［２］講義（鼓童の紹介、太鼓の紹介など）：10 分
［３］本番での共演に向けて：30 分
・太鼓体験：30 分
〖内容〗太鼓の基本（構えの姿勢やバチの持ち方など）／「基本の打ち方」で叩いてみる／リズムのゲーム／「口唱歌」を知る／「口唱歌」で曲を覚える
※手拍子での参加、学校にある打楽器の使用も検討できます。(要事前打合せ)
※体験メンバーが本公演で演奏に参加することも可能です。　(要事前打合せ)
・覚えたリズムを全体で復習、公演本番までの宿題の確認　5 分</td></tr>
<tr><td>ワークショップ
実施形態の意図</td><td colspan="2">［太鼓体験］
ちょっとしたことで音色が変化することや、全員で一つの音や曲をつくっていく一体感を共有することができます。また「口唱歌」という日本古来の口伝えの方法で曲を覚えて本公演で共演を行えるようにします。
体験に参加しない生徒たちも一緒に観て楽しめる構成になっています。</td></tr>
<tr><td>特別支援学校での実施における工夫点</td><td colspan="2">事前打合せにおいて児童・生徒さんの状況を把握し、個別の体験時間を増やしたり、説明を短縮するなど、無理や負担をかけることのない対応を心がけています。
視覚障害・聴覚障害の児童・生徒に対しては、太鼓の響きが身体に直接伝わるという特性があります。演奏以外の情報は事前にプログラムや楽器紹介などを文字化したり、手話通訳の方と共有して準備をしています。</td></tr>
<tr><td>実施可能時期</td><td colspan="2">実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</td></tr>
</table>

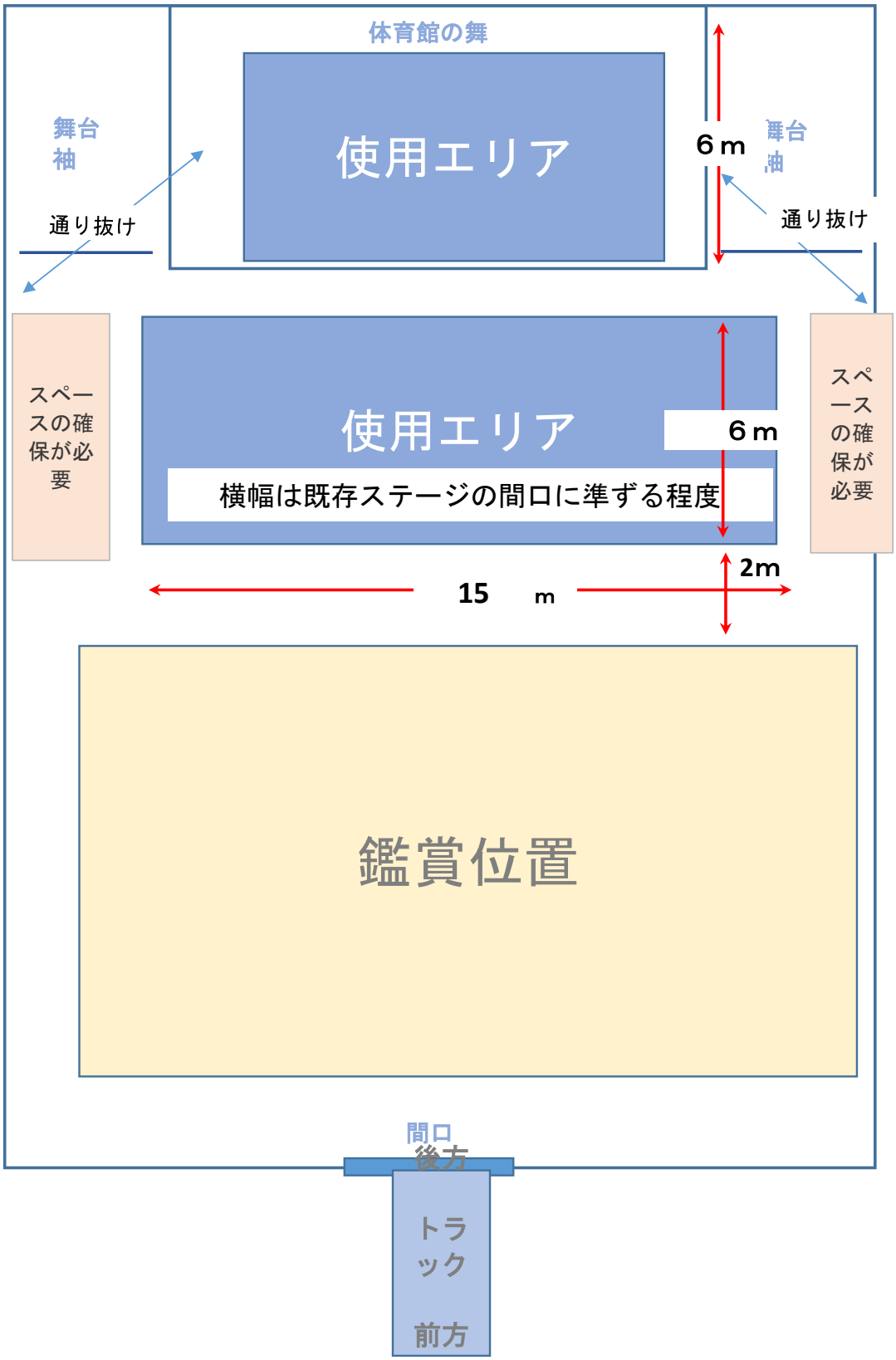
【令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	1104	分野	伝統芸能	種目	邦楽	ブロック		区分	A区分
公演団体名	太鼓芸能集団　鼓童				制作団体名	株式会社　北前船			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数＊	2室	条件	男女2部屋／体育館内（袖部屋や更衣室）希望				
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数＊			バン　1台	4tトラック1台			
	可	来校する車両の内，横づけが必要な車両の大きさ			４トントラック				
	可	搬入車両の横づけの要否＊			要				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離＊			問わない				
	可	搬入経路の最低条件			屋根があることが必須				
		理由			楽器（太鼓）が濡れないため				
	可	設置階の制限＊			問わない				
	不可	搬入間口について 単位：メートル	幅	1,5m	高さ	2m			
WSについて	可	参加可能人数			100名程度まで 実際に太鼓をたたく児童生徒は十数人				
	可	学年の指定の有無＊			なし	指定学年＊	高学年		
	可	所要時間の目安 単位：分			60分				
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。				
	可	鑑賞可能人数			～600人				
	可	舞台設置場所＊			ステージ上・フロアの両方				
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル	幅	15m	奥行	6m	高さ	指定なし	
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保＊		要				
	可		舞台袖スペースの条件＊		通り抜けができて、 物が極力ない状態				
	可		緞帳＊	不要	バトン＊	不要			
	可	遮光(暗幕等)の要否＊		不要	理由	天候などの条件によっては使用の可能性あり			
	可	ピアノの調律・移動の要否	指定位置へのピアノの移動＊		不要	必要な場合はこちらで移動します。 ※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。			
	―		ピアノの事前調律＊		不要				
	可	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況＊		格納されていれば可				
	可	公演に必要な電源容量		150A	※主幹電源の必要容量				
		その他特記事項							
	可	照明（持込み・スタンド型4台）は会場条件により使用 音響機材（マイク・スピーカー）は持込み。							
	可	児童生徒は体育館のフロアに直接座っていただきます。 椅子の使用不可。服装は問いません。							

会場図面(表記単位：メートル)



搬入間口について	幅	1.5m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		極端に遠い場合は搬入時間を相談させてください。		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

KODO

太鼓芸能集団

鼓童

「鼓童（こどう）」について

太鼓を中心とした伝統的な音楽芸能に無限の可能性を見いだし、現代への再創造を試みる集団。「鼓童」とは、人間にとって基本的なリズムである心臓の鼓動から音（おん）をとった名前で、大太鼓の響きが母親の胎内で聞いた最初の音をイメージしています。そして「童（わらべ）」の文字には、子どものように何ものにもとらわれることなく無心に太鼓を叩いていきたいという願いが込められています。

1981 年、ベルリン芸術祭でデビュー。1 年の 1/3 を海外、1/3 を国内、1/3 を本拠地・佐渡島で過ごし、これまでに 50 の国と地域で 6,000 回を越える公演を行なっています。劇場公演のほか、小中高校生との交流を目的とした「交流学校公演」も行なっており、2021 年には創立 40 年を迎えます。

1997 年には財団法人鼓童文化財団を設立。佐渡における地域振興はじめ、各種ワークショップの開催、次代を担う人材を育てる鼓童文化財団研修所の運営、国際芸術祭「アース・セレブレーション」の企画運営、佐渡太鼓体験交流館（たたこう館）の運営、伝統芸能・文化に関する調査・研究者への支援などの公益活動を行っています。2011 年 11 月 1 日より公益財団法人として始動しました。

鼓童の交流学校公演

この公演は学校体育館で行い、「できるだけ近い距離で本物の音をお届けし、和太鼓や和楽器の楽しさを感じてもらいたい」という熱いメッセージをお届けするプログラムです。太鼓の魅力、太鼓を打つ楽しさを知っていただくことはもちろん、太鼓を叩く演奏者と身近に接することで、元気や勇気、自信や希望、そして自分自身の発見につながるきっかけがもてる公演です。身近な芸能や地域の祭りを再発見したり、演奏者がこの道を選んだ経緯など、話も交えながら児童･生徒の皆さんが音楽を楽しみ、それぞれの地域をみつめ、将来や進路を考える一助になればと思います。

実施概要

■対象：小学校，中学校，義務教育学校，中等教育学校 (前期)，特別支援学校
■公演時間：小学校 60 分　中学校 70 分
■出演者：太鼓芸能集団 鼓童 より　7 名予定
■内容：唄や笛の楽曲 全体で 6 ～ 7 曲を予定
楽器紹介、太鼓体験コーナー（児童 • 生徒の代表が太鼓をたたきます）
■準備等に必要な時間：開始前 2~3 時間、片付け 1 時間程度
※体育館の環境により変動

鼓童の交流公演については 鼓童サイトでも紹介しています。

https://www.kodo.or.jp/performance_schoool

いただいた感想

おおだいこがむねのなかまでとどいてどきどきむねがゆれました。（小１）

さいしょに聞いたとき、おなかにしょうげきがきました。体育かんのゆかからもしんどうが伝わってきました。（小３）

最後の曲では、全員で色んな太鼓を一生懸命たたいて、どんどん音が大きくなったら、私の鼓動もどんどん速くなって、まるで一緒にえんそうしている気分になりました。鼓童の方が息も気持ちも演奏もぴったりだったから一つになれたのかな、すごいなと思いました。今度は佐渡に行って、太鼓をたたきたいです。（小４）

鼓童の太鼓は、一発一発に、小さな音にも気持ちが入っていたので「プロはすごいなぁ」と思いました。演奏は、笑顔、努力、協力などでできていて、ぼくたちのはあまりできていないので、いまから進化していけたらなと心から思いました。鼓童の人たちは、失敗や成功もあって、その経験があったからここまでできるようになれたのだと思いました。ぼくも太鼓をがんばって、いつか鼓童みたいになりたいです。（小５ 太鼓クラブに所属）

太鼓をたたいている時、どんな汗をかいても暑くても、みんなの前でつかれている顔を出さずにずっと笑顔でたたいている姿がとてもかっこ良かったです。みなさんから学んだように、どんなにきつくても、それに負けず、あきらめない心をもって、一生けん命勉強や部活などをがんばりたいです。（中１）

会場に入り太鼓を見たときに、中央に置いてあった太鼓の美しさに圧倒されました。まさに自然との融合で、逞しく美しい音の響きは神への感謝の響きと感じました。太鼓作りを支える職人さんの技も、鼓童の活動を通して知ることができました。（保護者）

事前ワークショップの感想
私は代表で太鼓をたたきました。練習の時、鼓童の人は「この人に聞かせたいと思うと良い音が出るよ。」と言っていました。私は今まで、ただ大きな音を出せばいいと思っていたので、自分が少し恥ずかしくなりました。一緒に演奏する時には、日本の反対側の国、ブラジルまで届くくらい、せいいっぱいたたきました。曲が終わったとき、うでがとてもいたかったけど、楽しくて、なんだが心がすかっとした感じがしました。鼓童の人たちとたいこがたたけてうれしかったです。また鼓童のみなさんがくるのが待ち遠しいです。（小４ 女子）

鼓童
〒 952-0611　新潟県佐渡市小木金田新田 148-1
鼓童に関する最新情報は公式サイトで。Twitter、Facebook、Instagram もやっています。
http://www.kodo.or.jp

Ⅵ 令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野，種目（該当する**種目**に○を付してください。）

分野	種目
【音楽】	合唱，オーケストラ等，音楽劇
【演劇】	児童劇，演劇，ミュージカル
【舞踊】	バレエ，現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽，人形浄瑠璃，邦楽，邦舞，[演芸]

申請する区分に，○を付してください。　　A区分のみ ・ [A区分とB区分の両方] ・ C 区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)　　[あ り] ・ な し

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

[(1)] 公演の実施時期が重複しても，複数の企画を実施可能

(2) 公演の実施時期が重複しなければ，複数の企画を実施可能
(3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
(4) その他(　　)

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	かぶしきがいしゃ ようごうしゃ 株式会社 影向舎		
代表者職・氏名	代表取締役　小池岳士		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒243−0005 神奈川県 厚木市 松枝 1 丁目 4 番 7 号(小田急線・本厚木駅より徒歩 10 分)		
電話番号	046-297-0255	ＦＡＸ番号	046-297-0256
ふりがな 公演団体名	めばえよせ　　まるまるてい めばえ寄席「○○亭」 ＊○○は生徒さんの公募により決定。		
代表者職・氏名	代表取締役　小池岳士		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒243−0005 神奈川県 厚木市 松枝 1 丁目 4 番 7 号(小田急線・本厚木駅より徒歩 10 分)		
制作団体設立年月	昭和 60 年 3 月		
制作団体組織	役職員 代表取締役　小池岳士 取締役　　小池将直 他	団体構成員及び加入条件等 制作スタッフ:11 名 舞台スタッフ:12 名	
事務体制の担当	[専任] ・ 他の業務と兼任	本事業担当者名	吉川啓介
経理処理等の監査担当の有無	[有] ・ 無	経理責任者名	小池弘美

<table>
<tr><td>制作団体沿革</td><td colspan="3">《社是:「人と芸をつなぐ」 社訓:誠意・信念・正義》

学校公演において全国一位の公演数を有する製作者集団。昭和60年の創立以来、日々社是、社訓を見つめ直し“初めて鑑賞する人にどのように芸の魅力を伝えるか” このテーマを35年間に亘り追究、実施を繰り返し、今後も追い続ける。
創立当初は落語、狂言の公演活動から始まり、その後お客様のニーズに応えるべく日本の芸能である講談、能、邦楽、また演劇、京劇、オーケストラなどジャンルを増やしてきた。どの芸能にしても単に出演者を右から左に動かすのではなく、企画制作から公演が終了するまでのトータルプランニングを行う。それぞれの舞台を充実させるため、社内では営業部・制作部・デザイン部・舞台部を機能的に編成。各部がひとつひとつの公演を成功させるべく、万全の状態でお客様をバックアップする体制を整えている。
現在では、年間公演数が600を超え、学校公演では業界随一の実績を更新し続けつつ、他に教育委員会、公文協、老人ホーム、TV、ラジオ、ホテル、国際交流基金や大使館主催などによる海外公演(平成27年 6 月・イタリアローマのパラディウム劇場に、影向舎の能舞台を輸出し、舞台設営・監督業務を兼ねて、狂言公演を実施)など多方面で公演活動を行っている。</td></tr>
<tr><td>学校等における公演実績</td><td colspan="3">平成23年度＝220公演、平成24年度＝240公演、平成25年度＝240公演、
平成26年度＝250公演、平成27年度＝250公演、平成28年度＝250公演、
平成29年度＝250公演、平成30年度＝250公演、令和元年度＝230公演
上記は弊社、学校公演の寄席(落語)鑑賞会の実績となります。

※寄席(落語)分野(学校公演)では、NO.1。業界随一の実績を誇ります。
※平成21年度～令和元年度「北海道巡回小劇場」に12 年度連続で参加。</td></tr>
<tr><td>特別支援学校における公演実績</td><td colspan="3">【めばえ寄席・公演実績】
平成 29 年 10 月 10 日(火) 熊本県立天草支援学校にて公演。
令和 2 年 10 月 15 日(木) 札幌市立豊成養護学校にて公演(予定)※
令和 2 年 10 月 26 日(月) 青森県立若葉養護学校にて公演(予定)※
※令和 2 年 7 月末現在</td></tr>
<tr><td rowspan="8">参考資料の有無</td><td rowspan="4">A</td><td>申請する演目のチラシパンフレット等</td><td>[有] ・ 無</td></tr>
<tr><td>申請する演目の DVD または WEB 公開資料</td><td>[有] ・ 無</td></tr>
<tr><td>※公開資料有の場合 URL</td><td></td></tr>
<tr><td>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</td><td>ID:
PW:</td></tr>
<tr><td rowspan="4">A の提出が困難な場合</td><td>今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料</td><td>有 ・ 無</td></tr>
<tr><td>※公開資料有の場合 URL</td><td></td></tr>
<tr><td>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</td><td>ID:
PW:</td></tr>
</table>

公 演 ・ ワークショップの内 容　　【公演団体名　めばえ寄席「〇〇亭」】

対　　象	小学生（ 低学年 ・ 中学年 ・ 高学年 ）　・　中 学 生
企画名	めばえ寄席 「〇〇亭」 ＊〇〇は生徒さんの公募により決定。
本公演演目 原作／作曲 脚　　本 演出／振付	

公演の前／後／休憩中

Point!

④ 展示・体験コーナーで公演時間外もお楽しみ

体育館に展示・体験コーナーを設けます。会場を賑やかし、雰囲気を盛り上げながら、ワークショップで学んだことを楽しみ、体験しながら思い出してもらうことができます。

【寄席体験市】実際に体験して分かる、楽しさ、難しさ

手ぬぐい、扇子を用意します。見本のパネルを見ながらチャレンジ。

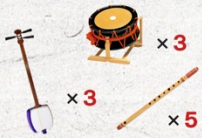
◎ミニ高座、落語体験ブース

誰でも体験できるよう、ミニ高座と手ぬぐい・扇子を設置。
自由に高座に上がって、ワークショップで教わった落語の仕草にチャレンジ。
仕草の見本として、噺家のお手本動画を再生いたします。
また併設するパネルには数種類の代表的な仕草のイラストを展示。
『扇子を箸に見立ててそばを食べる仕草』
『手ぬぐいを本に見立てて、本を読む仕草』などに挑戦してみよう。
若手落語家が立ち会いますので、仕草のアドバイスをいたします。

◎下座音楽ブース

下座音楽で仕様する楽器を用意します。自由に触れて、弾いて、叩いて、吹いてみてください。思ったよりも難しいことが分かります。

三味線３丁、太鼓３張、笛５本を用意します。



【寄席展示コーナー】普段見ることができない寄席の裏側・手ぬぐいの展示

◎寄席（新宿末広亭）の紹介写真展

現存するなかでは最も古い木造建築の寄席「新宿末広亭」。
新宿末広亭ご協力のもと、
めばえ寄席の為に撮りおろした写真を展示。
その入り口から楽屋まで解説文を交えてご紹介します。
通常見ることのできない、舞台の裏側や楽屋を覗いてみよう。

◎噺家手ぬぐい展

落語家さんの手ぬぐいを展示。
個人によって、様々な趣向（柄や絵）が凝らされていて観ているだけでも面白いものです。

Point!

⑤ 雰囲気たっぷりの本格的な寄席舞台を設営

子供達を見る気に、出演者をやる気にさせる、本格的な寄席舞台を体育館に設営。
音響は落語用に特別チューニングされたマイク、スピーカー等を使用。
また、持ち込みの照明で舞台を照らします。

Point!

⑥「めばえ寄席」プログラムの3つの要素

一.【江戸落語と上方落語】

落語には江戸（東京）落語と上方（大阪）落語が有ります。言い回し、雰囲気など、特色が異なる落語を組み合わせることにより、プログラムに変化を与え、楽しんでいただくことができます。

二.【色物が２題】

子供達に人気の色物２題を構成。それぞれ違うタイプの演目で構成し、最後まで飽きずに鑑賞していただくことができます。

※色物とは寄席において落語と講談以外の芸を指します。寄席の看板で、落語、講談の演目は黒文字で書かれていたのに対して、それ以外は色文字（主として朱色）で書かれていたのが、この言葉の起源といわれています。
※諸説有ります。

三.【スピーディーなプログラム展開】

プログラムの一つ一つの時間を短く設定してありますので、内容が次から次へと変わっていき、最後まで飽きずに鑑賞することができます。

四.【体験要素〜大喜利（おおぎり）コーナー〜】

休憩の後に子供達に参加していただく余興を構成。「大喜利」方式の“こばなしグランプリ”。
ワークショップで作成のコツを伝授いたしますので、本公演までの間に作品を作り、お送りください。
春風亭柳橋を委員長とした審査委員が5作品を選出いたします。エントリー（選出）されたお子さんは羽織を着て、落語家さながらに舞台上で作成をした こばなし の発表をしてもらいます。

Point!

⑦ 経験や実施校からのご意見に基づく改善ポイント

我々影向舎は、寄席関係の青少年向け公演事業において業界No.1の実績を誇ります。年間250ステージを超える高等学校向けの「学校寄席」や、平成26年より述べ132回実施をしてきた小中学校対象の「めばえ寄席」で培ってきた経験や知識に基づき、実施校のご希望や状況に合わせて、1公演毎できる限りの改善に努め、プログラム内容を充実させてまいりました。
令和３年度においても、公演後に学校様からお聞きしたご意見や、現場での経験を加味し、下記４つのポイントの改善を行っていきます。

❶ 体験・参加要素は割愛することができます。（事前アンケートを実施いたします）

「めばえ寄席」はより効果的な芸術体験を目的に、様々な体験・参加要素を盛り込んでおりますが、学校毎に時間的余裕の有無や、鑑賞会への取り組みの温度差がありました。

そこで・・・ → それぞれの事情を考慮し、体験・参加要素は割愛することが可能です。
ご希望を反映する為、事前に参加の有無についてのアンケートを実施いたします。

- ポスターやこばなしなどの事前の作成物や、本公演当日の班参加などは割愛可能です。
- 本公演当日の展示・体験コーナーの観覧タイミングはいつでも可能です。
  その為、開演前の入場開始時間や、プログラム途中の休憩時間、終演後の時間は通常設定時間より長くすることが可能です。
  逆に展示や体験などを全く行わずに割愛することも可能です。

❷ 各校に合わせた柔軟な番組構成をいたします。

ワークショップ・本公演共に、基本的な進行内容が有りますが、人数が２０名と５００名の学校で舞台設定や参加人数などを全く同じ内容で行うと、無理が生じることが分かりました。

そこで・・・ → 実施校の希望を取り入れつつも、プログラムの趣旨を崩さずに柔軟な番組構成をいたします。

❸ 小・中学校でアプローチを変えました。

参加いただく班の仕事内容について、小学生と中学生ではできることや、やっていて楽しく感じる内容が違うことが分かりました。

そこで・・・ →、より意義の有る参加内容とする為、その経験を踏まえ、小・中学校でアプローチを変えました。

【会場班】小学生：にぎやかに大きな声でお出迎え など ／ 中学生：お客様の席への誘導 など
【舞台班】小学生：高座の座布団の配置 など ／ 中学生：より本格的なお手伝い

❹ 公演までの道しるべ「手引書」を充実させていきます。

学校側で行う準備、打合せや公演までの段取りが事前に分かるようにして欲しいという声を受け、実施校へ公演までの手引書をお配りしております。フィードバックシートでは＂分かりやすかった＂などの評価をいただいておりますが、今後もご担当の先生にとっての道しるべとして、より充実したものになるよう、内容をブラッシュアップし続けていきます。

Point! ⑧ 企画内容について

平成30年度から令和元年度にかけて、新たに『おはやし班』という参加要素を加え、実施をいたしました。普段触る機会の無い三味線や太鼓に臆することなく、また邦楽器経験者の子供たちは殊更堂々と、演奏を行うことができました。参加した児童・生徒はもちろん、学校の先生方からの反応も好評で、次年度も継続をしていきたいと思います。
平成26年度の初参加より早7年。「めばえ寄席」は希望調書に記載している通り、参加内容や鑑賞内容の密度の濃さ、また事前の準備から当日の運営にかけてのスムーズさなど、学校向けの寄席プログラムとして理想的な形に仕上がってきました。
今後もより一層楽しんでいただけるように、またその楽しみの中で、『寄席演芸』という日本の芸能の素晴らしさを発見してもらえるよう、私たちはこの番組を更に充実したものにしていきます。
そこで令和3年度にかけては、プログラムをより良いものにする為、前年度内容を踏襲しながらも、一つ一つの精度を上げることに努めます。

『めばえ寄席』企画内容改善の履歴	
平成26年度	巡回公演事業参加スタート
平成27年度	展示・体験コーナーを開設
平成28年度	展示・体験コーナーの充実 （楽器を触れる「下座音楽ブース」を追加）
平成29年度	会場入口にプログラム看板を設置 小学校・中学校での体験レベルの変更
平成30年度	手引書など学校配布資料の充実
令和元年度	「おはやし班」を新設

公演時間（95 分）

著作権	○	制作団体が所有		制作団体以外が所有する事項が含まれる		（制作団体以外が所有する事項が含まれる場合）許諾の有無

演　目　概　要

めばえ寄席〇〇亭

本公演

プログラム

出演者：８～９名［落語家５名（江戸・上方・若手・前座2名）、色物２～３名※、三味線１名］
※色物出演者、内容により変動

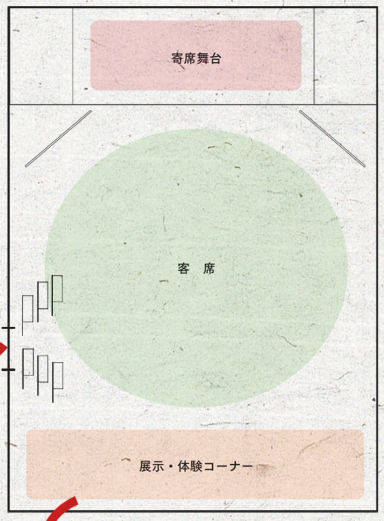
時　間：９５分《公演時間は児童・生徒さんの状況を見て調整します》

【開場前】

「〇〇亭」劇場作り

みんなで体育館を“寄席”にしよう！
高座を作ったり、ポスターを貼ったり、
のぼりを飾ったり・・・
見慣れた体育館がどんどん、どんどん、
劇場になるワクワク感。
さぁ、寄席の出来上がり！

▼体育館内配置の一例



開演までのにぎやかし

展示・体験コーナーで寄席の世界を１２０％
楽しもう！
体育館に寄席の展示・体験ができるエリアを
設置いたします。

【展示】
・老舗寄席「新宿末広亭」の写真を展示
・手ぬぐいを展示

【体験】
・ミニ高座を設置、児童・生徒さんのなり
きり落語家体験
・下座楽器（三味線、太鼓、笛）を
自由に触れる楽器体験コーナー

いつもの体育館が別世界。ワクワクドキドキの寄席空間が出現

【開場】

お客様を元気一杯お出迎え！

さあ寄席の開場です。
入口には寄席の番組表さながらの看板がお出迎え。
係のみんなでハッピを着て、にぎやかにお客様を
ご案内しましょう。
舞台上では入場の合図「一番太鼓」を叩いてもらいます。

みんなが入場をしたらいよいよ開演！
まずは〇〇亭の席亭である校長先生よりご挨拶を
いただきましょう。

本物の寄席のように
看板がお迎えします

〇〇亭の席亭※は、校長先生。開演に先立ち、席亭よりご挨拶をいただきます。

※席亭
寄席の経営者。
席の亭主の略。

会場班のお出迎え

前座班の一番太鼓

開演前の席亭（校長先生）のごあいさつと、
おはやし班のスタンバイ

【開　演】「〇〇亭」
いよいよ開演です！

おはやし班の演奏にのって開演です。

開口一番

1．落語（若手落語家） 春風亭 柏枝 など〈１０分〉

ようこそ寄席へ。まずはごくごく短い噺を

聞いたことの有る、わかりやすい落語をひとつ。

おはやし班の児童・生徒さんには、
公演開始のこのタイミングで出囃子演奏に参加してもいただきます

2．色物 林家 二楽《紙切り》 など〈１５分〉

**リクエストを受けてその場で切り上げる、
紙の芸術品**

生徒さんの感想文で「感心した」「すごい」との声が一番多いのが
この紙切り。

仲トリ

3．上方落語 桂 文三 など〈１５分〉

**起源が辻噺（大道芸）、江戸落語と
ひと味違う賑やかな上方落語でお楽しみ**

演目「刻うどん」「動物園」など。

お仲入り（休憩）〈１０分〉

【休憩中】

休憩中も体験・参加！

○休憩中も展示や下座楽器をお楽しみください。

○舞台班の児童・生徒さんには、
その後の大喜利コーナーの
ステージ準備をお手伝いいただきます。

【後半スタート】 児童・生徒 参加 体験

4. 大喜利 ～こばなしグランプリ（or しぐさ体験コーナー）～〈１５分〉

お友達が落語家に！？大喜利スタイルで
ずらりと並び発表会

それぞれの感性で創作してもらった作品の中から優秀作を６つ厳選。
優秀作に選ばれた児童、生徒さんが発表します。果たして結果はいかに？

※時間などの関係で事前の小噺作成が難しい場合、しぐさ体験コーナーに変更することが可能です。

色とりどりの羽織をつけてステージに出演！

5. 色物 三増 紋之助《曲ごま》 など〈１５分〉

刀の刃や、長い棒の上で廻るこま。
ハラハラ、楽しい

こまを縦横無尽に操る江戸曲ごま。見ていると幸せになる、
底抜けに明るい芸風が魅力。

6. トリ 落語 春風亭 柳橋 など〈１５分〉

いよいよトリです。看板真打ちによる
江戸古典落語でお楽しみ

演目「転失気」「牛ほめ」など。

※1　出演者は色物の種類やご当地落語などのご希望や日程の関係で変更可能です。
※2　出演者はすべて、弊社の学校公演での経験と実績のある芸人で構成されています。

<table>
<tr><td>演目選択理由</td><td colspan="3">

「芸人に上手も、下手も無かりけり。ただ行く先々の水に合わねば」

芸人の間で昔から言われている言葉です。芸人は皆、その日のお客様に合わせて、喋り方、間などを調整して、いかにお客様に楽しんでもらえるかを考えております。
落語の演目についても公演当日、マクラ※1を演じながらお客様の様子を見て、その場で決めます。そこで学校公演レギュラーメンバーたちが、豊富な経験と持ちネタを生かして、初めて落語に触れる生徒さんに最適な演目を選択します。

※1 マクラとは、本題への導入部で、自己紹介をしたり、本題に入るための流れを作ったり、
また本題でわかりにくい言葉の説明をさりげなく入れたりします。

</td></tr>
<tr><td>児童・生徒の共演，参加又は体験の形態</td><td colspan="3">

＜ワークショップ＞
※「ワークショップ項目」をご参照ください。

＜公演までの間＞
○作り方教室で学んだ「小噺」の作成。落語の元となる「小噺」を作ってみよう。
☆作成していただいた小噺は公演前に送付していただき、優秀作品を選考します。
こばなしグランプリで、代表生徒さん5、6名に小噺の発表をしていただきます。

○「寄席文字」でビラ(ポスター)を作ってみよう。
☆ワークショップ時に寄席文字書家が書き方のコツを伝授。実演を交えて書き方を教えます。その後本公演までに寄席文字チラシを生徒さんに作成していただきます。作成枚数は限定しません。学年・クラス毎などでまとめていただき、本公演当日に会場に貼りだします。

＜本公演＞
※「演目」「演目概要」をご参照ください。

</td></tr>
<tr><td>出　演　者</td><td colspan="3">

出演者:8～9名(真打ち落語家2名、色物2～3名、若手落語家1名、前座2名、三味線1名)
【東京】落語芸術協会／落語協会所属　【大阪】上方落語協会 所属

＊学校公演で過去に成功実績を多く持つレギュラーメンバーで構成。
＊出演者は、色物の種類やご当地落語などのご希望や日程の関係で変更可能です。
＊コンビの色物が出演する場合、出演者の合計人数が9名となります。

春風亭柳橋 →桂小文治、三遊亭圓雀、春風亭柳之助、柳家喬之助 など
桂文三　　→桂坊枝、林家染雀、林家染左、笑福亭喬若 など
三増紋之助 →鏡味正二郎＜太神楽曲芸＞、柳貴家雪之介＜大神楽曲芸＞、
宮田陽・昇＜漫才＞、鏡味味千代＜太神楽曲芸＞ など
林家二楽　→上口龍生＜マジック＞、江戸家まねき猫＜動物物まね＞ など
春風亭柏枝 →柳家小太郎、柳家やなぎ、雷門音助、春風亭一花 など

</td></tr>
<tr><td>公演出演予定者数
(1公演あたり)</td><td>出 演 者:　8～9名
ス タ ッ フ:　4名
合　計: 12名～13名
※現場の状況により、スタッフ１名が追加になる可能性があります</td><td>機 材 等
運搬方法</td><td>積載量　1t
車 長 5.31m
台 数　1台</td></tr>
</table>

【公演団体名　めばえ寄席「〇〇亭」】

<table>
<tr><td>公演に当たっての会場条件</td><td colspan="2">実施条件等確認書①をご確認ください。</td></tr>
<tr><td>会場設営の所要時間（タイムスケジュール）の目安</td><td colspan="2">前日仕込み(下記のような通常の予定であれば、基本的に無し)
※午前公演をご希望の際は、前日仕込みが必要になります。

会場設営の所要時間（4時間程度 ）
<table>
<tr><th>到着</th><th>仕込み</th><th>本公演</th><th>内休憩</th><th>撤去</th><th>退出</th></tr>
<tr><td>8 時 30 分</td><td>8 時 30 分～
12 時30分</td><td>13 時 30 分～
15 時 05 分</td><td>10 分</td><td>15 時 05 分～
17 時</td><td>17 時</td></tr>
</table>
・体育館フロアの階数や形状により、到着・仕込み時間の繰り上げ、また退出時間の繰り下げが発生する可能性があります。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">児童・生徒の参加可能人数</td><td>ワークショップ</td><td>700名程度まで</td></tr>
<tr><td>本公演</td><td>700名程度まで</td></tr>
</table>

ワークショップ実施形態及び内容	

めばえ寄席〇〇亭

ワークショップ

プログラム

出演者４名［落語家２名（二ツ目・前座）、寄席囃子三味線奏者１名、寄席文字書家（橘流）１名］
時間：４５～９０分《授業時間、児童・生徒さんの状況により調整いたします》

ワークショップの構成要素

知って、感じて、やってみる

「解説（知って）」、「体験（感じて）」、「創作（やってみる）」をキーワードに構成。
全ては寄席をより楽しんでもらうために。

○解説：寄席や落語から始まり、江戸の暮らしまで
○体験：落語のしぐさや、寄席文字の書き方
○創作：小ばなしや寄席文字を用いたポスター作成のコツを伝授

※プロジェクター（映像）を使用いたしますので、視覚的にも分かりやすい

“みんなで作る「めばえ寄席」”

1．公演タイトル（〇〇亭）を決めよう

公演タイトルは、３～５個の候補の中からみなさんの拍手の大きさで決定。
御校だけの特別な落語会タイトルを決定いたします。

【ワークショップ】 ワークショップの様子。
タイトルは地名や名産品、学校の特徴などを基に、予め候補を出していただきます。

⇩

決定したタイトルの下で準備を進めていき、本公演当日に反映されていきます。

Point（工夫）

プロの寄席文字書家が書いたタイトルののぼりを影向舎が作成し、公演当日に持参いたします。

【本公演】 本公演当日、決定したタイトルが実際に形になった様子。
ポスターは見本の寄席文字を基にして、本公演までの間に生徒さんが作成。

まずは落語の世界を覗いてみよう

2．落語を一席『寿限無 じゅげむ 』など

分かり易い落語でお笑いを一つ。

落語を聞いた後は、落語の楽しみ方を知る

3．落語鑑賞ポイント ～落語のあれこれ～

一人で何役も演じ、扇子と手ぬぐいを様々なものに見立てて、演じる側とお客さん（児童・生徒）それぞれが、想像しながら作り出す芸能“落語”。ここでは落語の特徴的なポイントについて解説します。ここを押さえれば落語がぐっと近づく。

鑑賞ポイント 1

落語の原点『小噺（落とし噺）』実演 と 作り方教室

小噺（こばなし）
- 一人で何人もの登場人物を演じ分ける。
- 必ず噺の最後にオチが有る。

⇨ 長くなったのが落語

Point（創作）

本公演に向けての宿題、小ばなしを作ってみよう。その為の小ばなし作成の**コツ**を伝授する、**小ばなし作り方教室**を開催。
⇒本公演当日の**「大喜利コーナー」**で優秀作品５作の作者には**舞台上で発表**してもらいます。

小ばなしの作り方のコツ
小ばなし創り方教室
本公演 大喜利コーナーに向けて

結果の部分であるオチを先に考えると作りやすいでしょう。
【オチの作り方】1つの言葉に複数の意味をもたせる。
例「このおかしやさん、繁盛しているんだって」
「けいき（景気／ケーキ）が良いもんね」

過去の子供たちの作品の一部ご紹介します ※実際に応募いただいた作品から抜粋

- ○「ミミズとヘビどっちが好き？」「ミミズ！ミミズにはめがないんだ。」
- ○「大人だけでボートにのると、どうなるの？」「きっと子がない（漕がない）から、進まないね。」
- ○ 親「明日、台風だって。」 子「台風はいいなあ、進路が決まっていて。」
- ○「まだ５月だというのに各地で夏日並みの暑さだね。梅雨をこえて一気に夏って感じだよ。」「まるで置きっぱなしで忘れたカップラーメンのようだね。」「どういうこと？」「ツユがみあたらない。」

鑑賞ポイント 2

落語のしぐさ『扇子・手ぬぐいの使い方』実演・体験

扇子と手ぬぐいという限られた小道具を「お箸」や「筆」、「帳面（ノート）」や「おいも」など様々なものに見立てて表現します。

手ぬぐい ×1,000セット
扇子
を利用して

全員体験

Point（体験）

扇子、手ぬぐいを各1,000セット用意。
持ち込みます。
⇒全員一緒に落語の仕草（そばを食べる仕草など）体験。
体育館中に響き渡る「そばをすする音」は圧巻。

全員一緒に体験できる！

落語のホーム、寄席。老舗の寄席を覗いてみよう

4．動画『ようこそ寄席へ 老舗寄席・末広亭をご案内』

影向舎が新宿末広亭ご協力のもと、オリジナルで作成した特別動画

工夫point

古き良き寄席の雰囲気を残す末広亭で
オリジナル動画を作成いたしました。

寄席って何？どんなところで何をしている？
普段見ることのできない裏側をナビゲート。

- 客席、舞台（高座）、楽屋の様子
- 前座さんのお仕事
- 下座音楽（太鼓、三味線） など

寄席を構成する上で大事な要素。プログラムの箸休め的存在

5．色物のおはなし

色物（いろもの）＝寄席でおこなわれる落語以外の演芸のこと。

動きや見た目で楽しい芸。色物の解説。本公演出演者のご紹介。

寄席を盛り上げるBGM、下座音楽をご紹介

6．下座音楽のあれこれ【解説・実演】

寄席ではかかすことのできない下座音楽の解説。

下座（げざ）＝
寄席で演奏されるBGMの総称。大太鼓、締太鼓、三味線で構成される。お囃子とも言う。

Point（体験）

・太鼓が物を言う？入場時 一番太鼓は“ドン、ドン、ドントコイ”
終演の追い出し太鼓は“デテケ、デテケ、デテケ”

・出囃子＝出演者のテーマソング。

・落語の効果音も太鼓で表現。「風」「川」「海」ってどんな音？

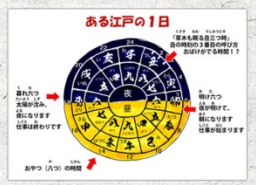
前座班、おはやし班になった代表の**児童・生徒さん**には**公演終了後**、本公演に向けて、**太鼓や三味線のレクチャー**をいたします。

クイズを楽しみながら、江戸時代を知ってもらう

7．お江戸クイズコーナー ～江戸時代へタイムスリップ～

工夫point　プロジェクターを使用（影向舎オリジナルイラスト）

1両は今の**お金**でいくら？



江戸時代の**時間**の感覚について

当時の**職業**（商い）について

落語の噺の主な舞台である江戸時代。その時代の人はどんな暮らしをしていたのか？
また、江戸時代では、どんな職業があったのか？
お金や時間の噺をクイズを交え、お話いたします。

よせもじ

読みづらい？寄席の世界の独特な“寄席文字”の秘密

8．寄席文字を書いてみよう！【解説&実演】

解説・実演
橘紅樂（寄席文字書家）

寄席の世界で使われている寄席文字の書き方をお教えします。
文字の特徴や込められた意味を、書いている様子をライブカメラで投影しながら説明します。

Point（工夫）

寄席文字を書いているところがよく見えるよう、手元を映したライブカメラでプロジェクター投影いたします。

寄席文字（よせもじ）＝
寄席の看板やポスター（ビラ）などで使用される文字。寄席文字の独特な形は、紙を客席に見立て、お客様が一杯入場し、会場が頭で黒々となるようにとの願いを込めて、余白が無いように書く。
デザイン的要素が強い為、一般的な書道では禁止されている“二度書き”も自由。

Point（体験）

ワークショップの時間の関係により、全員参加（パターン①）、代表者が参加（パターン②）を選択できます。

《パターン①》全員参加 ※ワークショップ公演時間＋２０分
全児童・生徒さんにご参加いただく、寄席文字教室。
普通の書道と異なる、特徴の有る書き方に挑戦してみよう。
〇準備するもの：半紙、書道セット

《パターン②》代表児童・生徒 ※ワークショップ公演時間内
５名程度の代表の児童・生徒さんに寄席文字の書き方にチャレンジしていただきます。
〇書道セットなどはこちらでご用意いたします。

Point（創作）

本公演に向けての宿題、寄席文字でポスターを作ってみよう。
寄席文字の書き方のコツを伝授。
⇒本公演当日、皆さんに書いてもらったポスターは会場を飾り、体育館中を華やかに彩ります。

めくれ寄席

プロがしっかりと教えます（おはやし班・前座班参加者対象）

公演後】三味線と太鼓のレクチャー

前座班・おはやし班に参加の児童・生徒さんにはワークショップ
終了後に、一番太鼓の叩き方やお囃子の演奏のレクチャーをいたします。

【ワークショップから本公演までの間】ワークショップで覚えたことをふまえて

本公演までの間の宿題

※ご参加は自由です。授業などの関係でご参加が困難な場合はご相談ください。全てに参加されなくても、一つだけの参加も可能です。

Point（創作）

〇小ばなしの作成
作成いただいた作品の中から、優秀作を選定いたします。優秀作に選ばれた６名の方には、本公演プログラム「大喜利コーナー」で発表をしてもらいます。

〇ポスターの作成
作成いただいたポスターは、公演当日、会場班の児童・生徒さんに、飾り付けてもらいます。

Point（体験）

〇一番太鼓・お囃子の練習【前座班・おはやし班】
レクチャーを受けた内容を、本公演に向けて練習をしてもらいます。しっかりと練習をして、公演当日は元気よく演奏をしましょう。

ワークショップ 実施形態の意図	**工夫 ワークショップと本公演の意図（性質）を変えました** **「ワークショップ（体験）」→「公演日まで（創作）」→「本公演（鑑賞）」** と徐々に、多角度から『知る』工夫をしています。 **ワークショップ**（体験） 目的＝『とことん学ぶ』→『知る（学び触れる）』 効果＝①寄席芸能を知る ②寄席芸能の楽しさを知る ③寄席芸能のなるほどを知る ④寄席芸能の楽しみ方を知る 動画やイラストを多用し、実演を交えながら。ショーとして楽しみながらも学ぶ工夫がなされています。もちろん落語体験・寄席文字体験・クイズに参加など参加体験も豊富に盛り込まれています。 ワークショップを経て“寄席”への興味が芽生えます ↓ **ワークショップから本公演まで**（創作） 目的＝『考える・作成する』→『知る（向き合う）』 効果＝ より理解を深める ワークショップで学んだことを、じっくりと向き合い体験することで、より理解を深める。また本公演に期待がふくらみます。 ↓ **本公演**（鑑賞） 目的＝『とにかく楽しむ（鑑賞、体験）』→『知る（体感する）』 効果＝①寄席芸能は楽しい！面白い！を知る ②子供たちの心に種を蒔く。こんなに楽しい（笑える） 芸能が日本にあったんだ！ ③体験をすることにより、面白さを重ねて実感する ④みんなで何かを準備（共同作業）をすることを経験する。 第一線の出演者による熱演！本格的な寄席舞台。 「本物」をとことんお楽しみいただきます。 寄席芸能の笑い・迫力・凄み、その魅力を存分に体験していただきます！

特別支援学校での実施における工夫点	実施校との事前の打合せの際に、実施上の注意点についてヒアリングを行います。 その上で、出演者との内容調整、児童・生徒さんの体験参加内容の調整をします。 実施校からのご希望に臨機応変に対応します。
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。

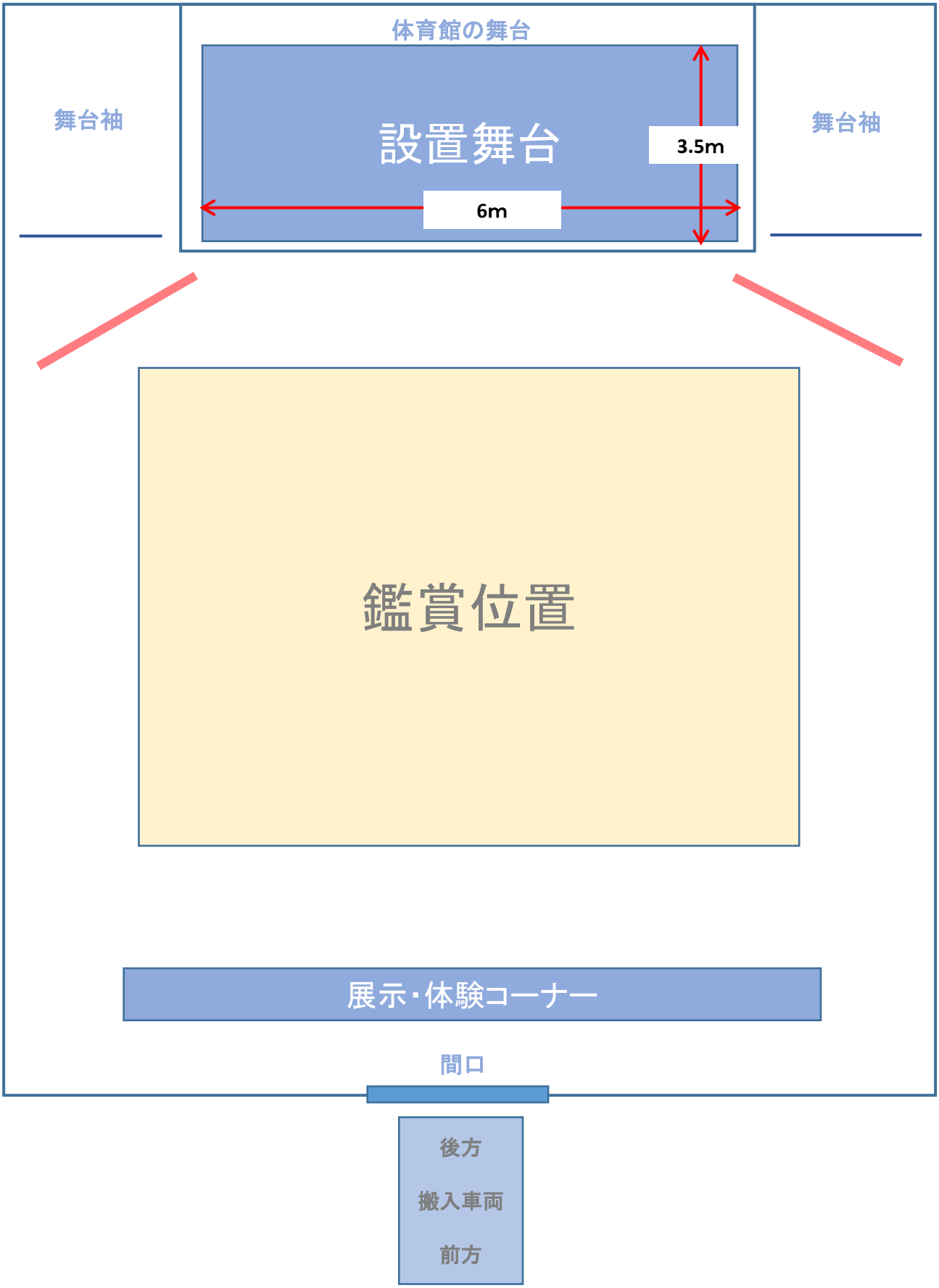
【令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	1306	分野	伝統芸能	種目	演芸	ブロック		区分	A区分
公演団体名	めばえ寄席「〇〇亭」				制作団体名	株式会社　影向舎			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数＊	1室	条件	1室の場合は、女性の着替え用の仕切り（衝立）があると望ましいですが、無くても対応可能です				
搬入について	可	来校する車両の大きさと台数＊			バン　2台				
	可	来校する車両の内，横づけが必要な車両の大きさ							
	―	搬入車両の横づけの要否＊			不要				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離＊			なるべく短いことが望ましいですが、距離が長くても対応可能です				
	可	搬入経路の最低条件			雨に濡れないこと、階段が無いことが望ましいですが、それらの条件を満たさなくても対応は可能です				
		理由			寄席舞台等を搬入するため				
	―	設置階の制限＊			問わない				
	可	搬入間口について 単位：メートル	幅	1.3m	高さ	2m			
WSについて	可	参加可能人数			700名程度まで				
	―	学年の指定の有無＊			なし	指定学年＊	なし		
	可	所要時間の目安 単位：分			60分程度				
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安を御参照ください。				
	可	鑑賞可能人数			700名程度まで				
	可	舞台設置場所＊			体育館のステージ上				
	可	舞台設置に必要な広さ 単位：メートル	幅	6m	奥行	3.5m	高さ	指定無し	
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保＊		要				
	可		舞台袖スペースの条件＊		着物を着た状態で通り抜けられる程度に、荷物が無い状態				
	―		緞帳＊	不要	バトン＊	不要			
	―	遮光(暗幕等)の要否＊		不要	理由				
	―	ピアノの調律・移動の要否	指定位置へのピアノの移動＊		不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。			
	―		ピアノの事前調律＊		不要				
	―	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況＊						
	可	公演に必要な電源容量		30A	※主幹電源の必要容量				
		その他特記事項							
	可	舞台に必要な広さは目安であり、上記より狭くても実施可能です							

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	1.3m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否		不要		
横づけができない場合の搬入可能距離		なるべく短いことが望ましいですが、距離が長くても対応可能です。		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

落語の鑑賞

落語は決して難しい芸能ではありません。今までの“落語は分かりにくい、古臭い”という先入観を全て捨てて、十分にお楽しみください。また落語は落語家一人が様々な登場人物を演じ、様々な場面をお客様に想像していただく、いわばお客様とのコミュニケーションで作り上げる「笑い」の芸です。肩ひじを張らずに、世界最高の話芸「落語」をたっぷりとご堪能ください。

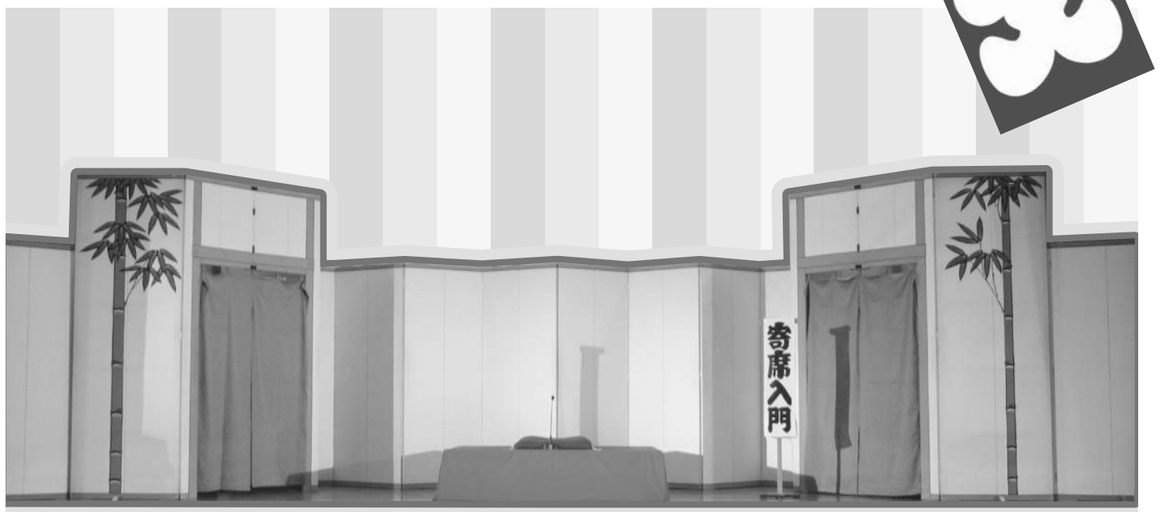
知っていますか？　～10月1日は「国際音楽の日」です～

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることにしました。
日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

令和2年度

文化芸術による子供育成総合事業

― 巡回公演事業 ―



制作：影向舎

文化芸術による子供育成総合事業　－巡回公演事業－

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。

文化庁
Agency for Cultural Affairs, Government of Japan

落語とは

オチのある噺「落とし噺」から生まれた。

落語とは、庶民の生活や、お伽話などを滑稽な内容として語るもので、噺の結末にオチがつくのが特徴です。東京（江戸）で発達した江戸落語と、大阪・京都の関西圏（上方）を中心に発達した上方落語があります。

寄席とは

演芸が専門に行なわれている劇場。

落語に興味があったら、ぜひ寄席に落語を聴きに行きましょう。でも、寄席で演じられるのは落語だけではありません。講談、漫才、漫談、音曲、手品、曲芸など、バラエティーに富んだ番組（プログラム）になっているのです。前座（若手）の落語から始まり、漫才や手品などの色物と呼ばれる演芸と、二ツ目（中堅）の落語がテンポよく進んでいき、最後に真打ち（ベテラン）が登場します。寄席という小さな演芸場の中では、お客様の笑い声やかけ声が絶えず聞こえ、どことなく非日常的な、江戸時代にタイムスリップしたかのような時間が流れています。

「落語の小道具」
・落語で使われる小道具は扇子と手拭いだけ。
・扇子と手拭いを色々なものに見立てて、落語の演出効果として利用します。扇子がお箸になったり、手拭いがサツマイモになったり、、、。
落語は見ているお客さんも一緒に想像する芸です。落語家が使っている小道具が、今何になっているかをイメージしながら聞いてみましょう。

上方落語

江戸落語

東西(江戸・上方)の落語を楽しもう!

上方落語はお家の外で行われる大道芸から発達したので、みんなの注意をひきつける為にとても賑やかに演じられます。対して江戸落語はお家の中のお座敷で演じられてきたので、じっくりと聞かせる、粋な雰囲気。違いを楽しみましょう。

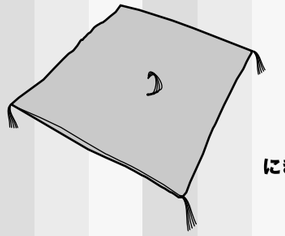
※プログラム内「３．上方落語」「６．落語」では上記出演者の中から各１名ずつ出演します。

めばえ寄席
プログラム

めばえ寄席

1、落　語
まずは若手のイキイキとした落語を！

2、色　物
色物とは寄席で行なわれる、落語以外の演芸！



3、上方落語
にぎやかな関西圏中心に発達した上方落語でお楽しみ!!

-お仲入り（休憩）-

4、大喜利

～こばなしグランプリ（体験コーナー）～
それぞれの感性で作成した作品の中から優秀作を厳選。
作成した生徒さんが発表します。結果はいかに？

まえ

5、色　物
寄席の看板は落語は黒、その他は赤文字で出演者を書いていたため
色物と呼ばれる。さてどんな芸人が現れるかお楽しみ!!

6、落　語
いよいよトリです。看板真打ちによる古典落語を披露!!

※プログラムは変更の可能性があります。